

舞台芸術に携わる全ての人の 実態調査アンケート

演劇緊急支援プロジェクト

ArtsWorksJapan

舞台芸術に携わる全ての人のコロナ第7波の影響に関するアンケート

調査対象： 舞台芸術に携わる仕事をしている全ての方

調査方法： インターネット

回答数 ： 872回答

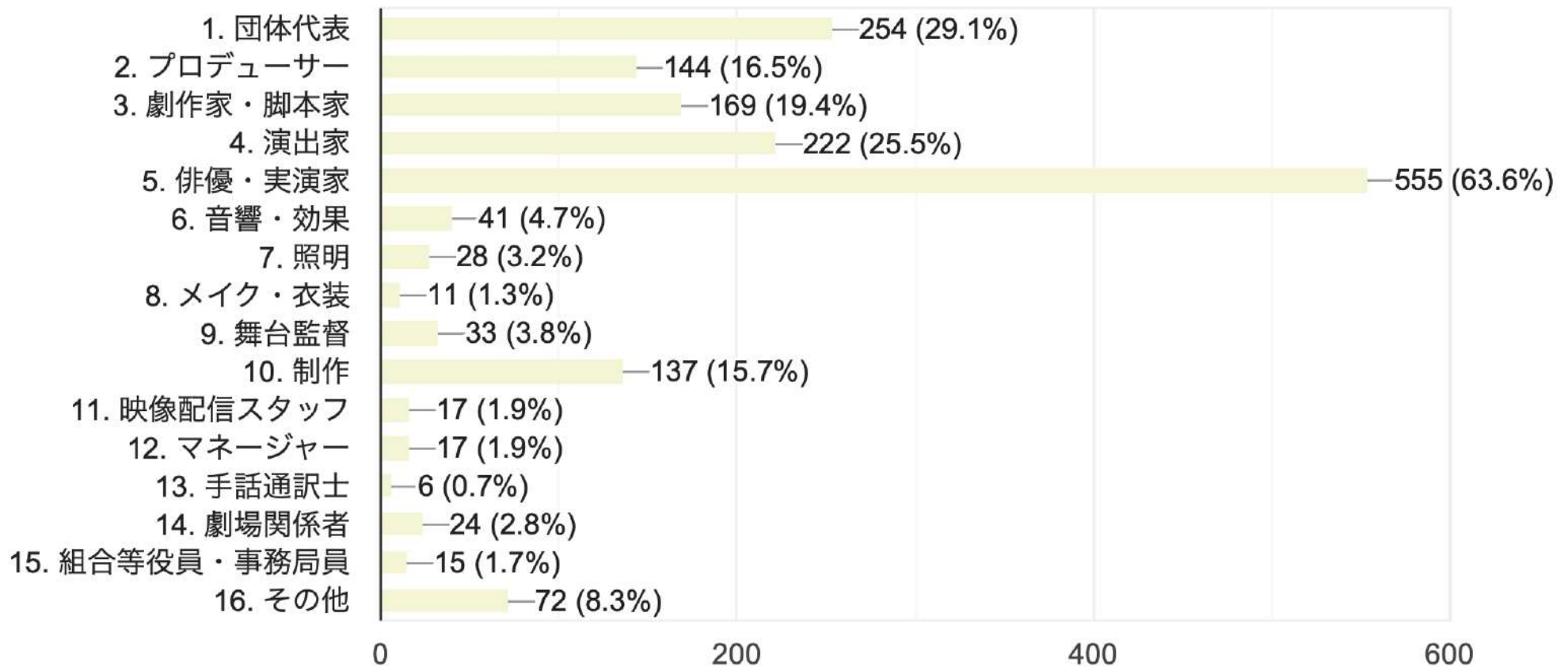
調査期間： 令和4年8月18日～9月14日

調査主体： 演劇緊急支援プロジェクト

調査協力： 日本芸能従事者協会

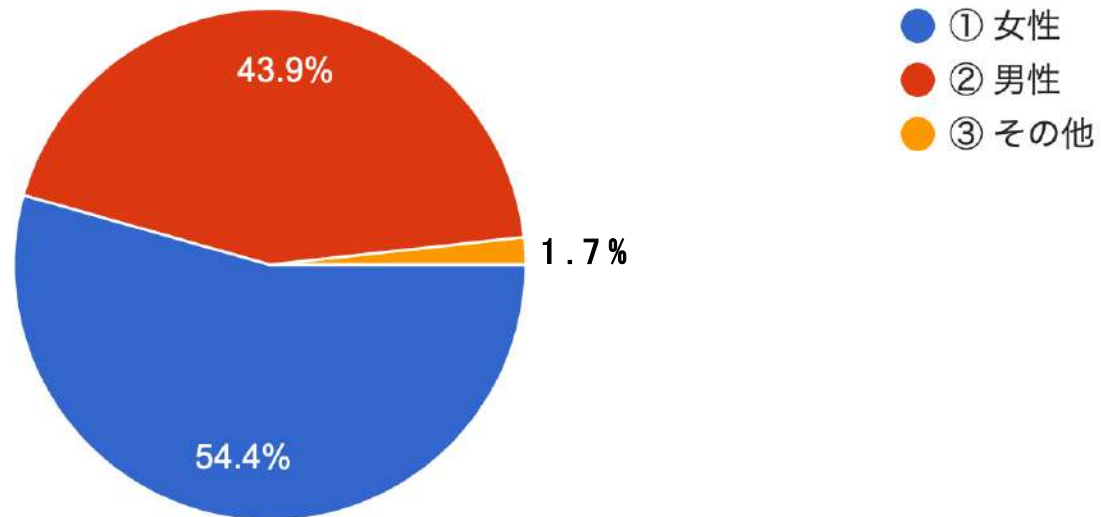
Q1.あなたの職業は？（複数回答可）

872件の回答



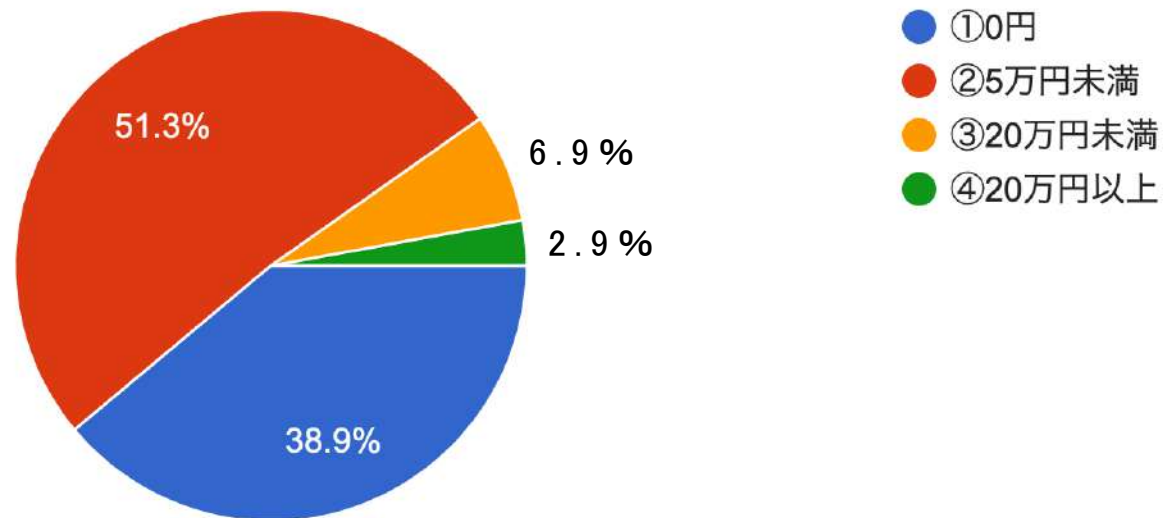
Q1-2. あなたの性別は？

868 件の回答



Q2. これまでのPCR検査の個人の負担額は合計いくらですか？

871 件の回答



Q2-2. PCRについて思うことは？(1/13) 647件の回答

重複回答は割愛しています

1. やらなくてすむならそれに越したことはない。
2. 面倒 結果が遅い 何故無料で無いのか？
3. 公演前にやるといのがなかば義務になり、無症状の陽性者まで炙り出して公演中止になってしまうことが不満
4. 現状を確認するにはいいと思う。
5. 身近に偽陽性の人が出て、正直信用できるかという点と難しい。
6. 症状がなくても陽性だったりするし、まず高い。
7. もういいんじゃないか。
8. 無料又はなしにしていただきたいです。
9. 必要でないものも含まれると思う
10. 即日結果が出るタイプの検査費が高
11. 都などの無料PCRはいいのだが、結局医療機関のPCRが必要なためかなり微妙と思っている。
12. 自分の現状認識ができるのは有難
13. 現在は、民間のセンターでの抗原検査のほうが早く、それなりにちゃんとした結果が得られるので、PCRは時間がかかるのでそこまで
14. 一般疫病として扱うべき時だと思えます
15. 舞台前に検査を行い陽性であってもどこからも補償がないことを考えると、そもそもやらないという選択肢が有効であると感じる。
16. もっと無料枠を拡大してほしい。そして期間限定でなく多くの箇所で行ってほしい。
17. PCRを中心に行う現場と抗原検査を中心に行う現場があり、それぞれの方針があるが、いまだにいずれがいいかわからないし、ウイルスの変異によっても方針を変える必要を感じている。実際、自分自身、周囲の人が無症状でもPCRを受けてくれて陽性が判明したおかげで、自分が感染せずに済んだ。現場でも、被害を最小限に抑えるために、やはり検査は重要なのだと思う。頻度、タイミングはどのようがいいか、検討や更新も必要。
18. リスク回避のために公演をするにあたってはまだ必要だと思う
19. 頼るしかないのなら頼るしかない。
20. 正確なのか疑問
21. 今のPCR検査を事前に行えば大丈夫という風潮には、少し疑問がある。
22. 安全に公演を行うためには必要なことだとは思いますが、1人出てしまうと公演中止にせざるを得ないため、ネックな部分はあると思う。
23. 検査できるところが少なすぎる
24. 価格が高い
25. 毎回緊張する。自分のせいで公演中止になるのは耐えられない。でもやらなければならないもの。
26. 感染していないことを証明するために必要。でも金銭的に気軽にできない
27. 即日結果のものが増えてほしい最も信憑性が高いのであれば、必要なものと考えます。劇場入り前の検査に関しては発熱時だけで良いと思うようになりました。

Q2-2. PCRについて思うことは？(2/13) 647件の回答

1. 感染者のあぶり出し。他人に移してしまったらというリスクを考えると必要性も感じるが1人でも陽性が出た際に公演中止にする程のものなのか疑問。
2. もっと気軽に簡単に出来たら有難いと思います。
3. 望んだ時に検査できるといい
4. 街中の無料PCRは予約が取れず結果も遅いため、市中のクリニックで高額(2万円等)のPCR検査を受けないと仕事に間に合わないのが負担。
5. 衣装製作会社で事務をしています。劇場へ入って仕事をする外勤スタッフは頻繁に検査を受けていますが、内勤で事務をしているため、これまで会社からの要請で検査を受けたことはありません。
6. 無症状者の陽性判明での中止勧告の違和感。
7. ない、迷惑
8. 適切な運用をしてほしい。
9. 無料検査場が更に増えて、身近なところにあると良い
10. いつでも手軽に受けたい
11. あまり意味がないように思える
12. こわい。無症状なのにやる意味が分からない。PCR検査の会場で感染しそう。
13. お金も時間もかかる
14. 体調が悪い人だけ受ければよい
15. 今月、検査は任意という文化庁からの周知があったので、今後弊社では行う予定はない
16. 必要性を感じない
17. 感染症を広げない為には必要なもの。これを無くしてさまざまな社会活動はあり得ない。
18. 一人でも陽性なら…と思うとお金をかけてる上に恐怖しかない
19. 検査はすべて無料にしてほしい。
20. 無料でできる場所をもっと増やしてほしい。
21. もっと安価になってほしい
22. もし公演直前に陽性になったらといつも怖い
23. 重要
24. 正確性が7割前後と言われている中で、どこまで信用して良いものかと。ただ、世の中の的に「PCR陰性」が安心材料になっている以上は、現状で必要なものなのでは。正直に言えば、毎日やらなければ意味がない気もしています
25. 抗原検査くらい気軽に受けれると嬉しい
26. 結局その場での結果なので意味が無いと思う
27. 恐怖でしかない
28. 国が推奨する検査を団体全員に課すことは必要な措置とは思う。その反面、一人でも陽性が出た場合における公演中止等の判断・金銭的負担が各団体の主催に降りかかるのはおかしい。国及び自治体は団体への保護をすべき。
29. 何かあった時に簡単にパッと受けられるようにしたい。
30. 2022年5月は、東京都の無料期間に検査を受けられて助かった。

Q2-2. PCRについて思うことは？(3/13) 647件の回答

1. 検査の拡充。確実性の高いPCRを無料で何度も受けることが重要。
2. もっと簡単にいつでもどこでも無料PCRが受けれるようにして欲しい。劇団負担で稽古前、本番前に受けているがかなりの金銭的負担である。
3. 芝居稽古入りや劇場入りでの検査は国からの義務では無いのに、暗黙の義務化になり、その費用を捻出する負担は主催団体が負うため、生活を圧迫し、借金となっている。
4. とにかく面倒、
5. もういい加減やめた方がいい。
6. 郵送PCR検査キットを常備しています。一先ずの判断材料としては良いですが、PCRで陰性だったから安心しきっている人を見かけるので、PCR検査とはどういうものなのかを今一度各々把握する事が肝要だと思います。
7. やるべきだが、無症状なら気にしなくてもいいのでは？
8. 予算逼迫とそれによる
9. 定期的なPCRに本当に意味があるのかは疑問。1人出ただけで公演が止まってしまうのは負担が大きすぎる。
10. 無料検査ができるようになってよかった
11. 検索結果まで1日掛かってしまうことと、偽陰性の場合があったり等、正直あまり信用できないかもしれません。
12. やらなくてもいいかと
13. 複数の取引先から同時期に検査の依頼を受ける時があるので、一本化出来てるとお互いに効率的かと思えます。
14. 最近無料スポットが増えて助かるが、そもそもの正確性(偽陽性など)に疑問はある
15. 「陽性」になれば公演中止の可能性があったとしても、今後の信頼や証明として受けた方が良い。
16. 症状が無いのに検査をしなければならない疑問。検査は正確では無い事。
17. 結果がすぐに出ないのが不便。無料で実施している検査場は予約が即日でなかなかとれない。
18. 無症状ならやらなくてもいいと思う
19. 必要な時に、はやく検査を受けらる、結果が出るシステムがほしい
20. どこでも条件を設けず無料で検査ができ、かつ結果がすぐにわかるようにしてもらえたらと思えます
21. 現場によって検査したりしなかったり、自分で手配したり差があって面倒な事が多い。検査すること自体は良いと思う。
22. 世間と演劇界での印象にズレを感じる
23. 現場が違うたびにやらなければいけないし、時期によっては結果が即日じゃないこともあることが、少し手間に感じる。
24. 本当に意味や効果があるのか
25. もっと早く受けられて早く結果が出ればありがたいです。
26. 無くていいと思う。あることによる損害の大きい。
27. 体調に異変を感じた時のみ行き、定期検査はすべきじゃない
28. 無料でもっと早く結果が出るようにして欲しい
29. 無症状者に対して行う必要があるのか疑問。
30. 普及と低価格化。感度の低い抗原検査を無症状の確定診断として使っている現状は問題がある。
31. 誤陽性がある検査とは？
32. 懐疑的

Q2-2. PCRについて思うことは？(4/13) 647件の回答

1. 症状が出ていない人間にする必要はない。
2. 現状、安全確保の為に現場ごとに都度確認が必要だと思う
3. 必要だと思うが、費用の負担がきつい。
4. より時間をかけずに受けることができれば良いと感じる
5. 症状がないならいらぬ
6. 必要だと思う
7. 毎回書類を記入するのが面倒。
8. 無料の検査が増えてほしい、現状陰性の証明にならないもの、保健所と連携していないものもあるので、その辺りのフォローが成されるとありがたいです。
9. 日本のPCR検査のCT値は40～45と世界の中でも最も高い数値となっている。最近では47に設定されている。海外の標準とはかけ離れている上、偽陽性者を出してしまうシステムになっている。PCRをすることで、陽性になることで誰が得をするのか？それを考えれば、このイカサマについて怒りしかない。
10. 検査、必ずしも絶対でないことを踏まえ、受けなくてもいい状況も選択できるよう。
11. 未発症者・軽症者には不要と思う。
12. 一定の根拠はあると思うが、無症状の炙り出しの為に実施する必要はない。抗原検査での陽性や体調不良があった時のみ活用すべき。
13. 公演が無事に上演できるため、必要と思います
14. やらないと責められる。やれば誰かが引っかかる。正直者が馬鹿を見ます。
15. 検査後、座組の人以外の人との関わりを断絶することは出来ないため(ほかの仕事など)、何度も検査するしかないが、それも意味があるのか疑問が残る。そのため、現場によって検査体制も様々。
16. 無料で受けれる場所もあるが正確な情報でない時もある。どこで受けたとしても正確に陰性陽性が判別出来ないと、今後公演を続行するのか中止にするのかの判断出来ない。
17. 企画の開催の判断材料として必要。無料検査場を維持してもらいたい。
18. 検査結果が届くのが以前よりやや早くなったような気がしています。
19. 毎日しないと意味がないと思うが、予算がない、手間がかかる、で、公演直近のみに限られてしまう
20. 採取から結果が出るまで5日前後かかるので、結局実施してもその後かかったら意味ない気がする。
21. 団体によっては公演前に受けろと言われる事もあるが、症状がないなら受ける必要はないと思う
22. 症状がある場合は速やかに受けるべきだとは思いますがそれ以外の場合はあまり意味をなさないと思っている。
23. 面倒だけど今はやらなきゃいけないかなと思う
24. 結果が出るまでラグがあるので、検査して即日公演再開などができない。
25. 弊社としては発熱者が出た時以外は実施しないつもりでおります。
26. 簡易キッドよりも確実性が高いのが嬉しいです
27. 無料検査ができたので、無料を使えないときに余計に有料が高く感じる。
28. まだ必要だと思う
29. もはや誰かは陽性になるだろうから、できれば受けたくない
30. 他に方法がないので、観客のためにはやるしかない。

Q2-2. PCRについて思うことは？(5/13) 647件の回答

1. 実感としては無症状では陽性が出ません。少しでも症状がある人は勿論受けてもらいますが、無症状での検査は、万が一の対外的なお知らせのために受けてる状況です。
2. 毎回検査しているとその費用の補助がないのがきつい。AFFも対象外とのことで完全自腹。
3. 表面上の形だけになりつつあるなと思います。
4. 本当に必要なのか、正確なものなのか
5. 以前のコロナ菌を検出したたり、誤りも出る不安がある。
6. 実施のルール設定が非常に悩ましい
7. もっと頻繁に受けられるように。もっと迅速に結果を。
8. 相互監視による現状安全と思われる活動許諾の仕組み
9. 結果が出るまでのタイムラグや精度が、科学的根拠と公演実施のボーダーラインとせめぎ合い
10. 都民無料になったのはいいのですが三日に一度やるか、はたまたやらないのか、毎日のように議論になっています
11. 公演を行う上での根拠としての効果はあまり強いと感じない。
12. 毎日検査をするのであれば意味も見いだせるがそこまで許容出来る団体がどのぐらいあるのだろうかという疑問あり。稽古前に一回、小屋入り前に一回とかの検査としてもそれでよいのか。
13. 大事ではあると思うけど、検査した時点での陰性しか保証できないからなあ
14. 検査機会の拡充を希望。薬局などで手軽に受けられるように
15. 大きなカンパニーでないと受けることもできず、医療の逼迫を見ると予約を躊躇い、かといってお客様を危険に晒すこともできない。抗原検査はあくまで発症後に結果が出るものだが、これで対応するしかない。
16. 使い方を間違えてる人が多すぎる。確率でしか検査出来ないなら、そろそろやめれば？
17. そこで線引きできるのは(大変ですが)かなり心強いです
18. 検査をして陰性であっても、5分後には感染する可能性があるので、無意味。
19. 費用が高い
20. 無症状でも陽性者が出れば、たちまちに公演中止にしなければいけない。この基準をどうにかできないかと常に考えています。
21. 検査結果が出るまでのタイムラグがあり、検査時点での確認に過ぎない。本番期間中の安全を保証するものではない
22. 座組に誰も体調不良者がいない状態での、安全確認の為みたいな目的で行うPCR検査に果たしてそこまで意味があるのだろうか、と思う。
23. 対面での稽古開始時や小屋入り前に行ったが、コロナウイルスの症状は罹患してから早くも2日後に出るので、陽性だからといって安心はできないと思う。公演直前に行く場合はいつもヒヤヒヤする。また、やや高額な医療機関でなく、市販の格安検査キットでの結果に信憑性が無いように感じてしまって、結局やや高額なものを選択してしまう。
24. 偽陽性で仕事が出来なくなったらたまったもんじゃない
25. 最近進化していて無料で当日わかるのがありがたい
26. 本番中発熱者が出て早く結果が出れば休止する回が少なくなるなあと思ってます
27. 世間の目が厳しいのでまだ実施した方が良いと思う。
28. 症状が出た人だけ検査すればいいと思う。事前一斉検査はやらない方がいいと思う。

Q2-2. PCRについて思うことは？(6/13) 647件の回答

1. 行わなければいけない回数が多い
2. 即日結果の無料を増やしてほしい
3. 新型コロナ専用の検査ではないのに、思考起点とし過ぎている。
4. お客様の為にやっています。
5. こんなにPCR検査しなくていい気がしてます。
6. 定期的に受けなくては仕事にならない
7. PCRは、演劇中止を左右する通過試験のようで、非常に印象は正直悪い。
8. するコト自体にまだまだ不便を感じる。
9. 主催者、クライアントともにPCRについての知識が不足しているように思う。偽陰性や偽陽性について特に。PCRと交代検査の区別もついてない方も。
10. 体調の良し悪しに関わらず何度も受けさせられるのはもう良いのではないか
11. コロナ以外のウイルスも検出されることから、あまり意味がないように思う
12. 自己満足
13. 症状が出た、濃厚接触者の場合のPCRがもっとスムーズに受けられるとよい
14. 信憑性がわからない。金額がかさむ。
15. どの団体も受けさすので、それを辞めてほしい。
16. 検査をしてくださっている方々を圧迫しているのではないかと申し訳ない気持ちです。
17. 何回受けたか覚えていませんが舞台前とか必ず検査をうけました。また撮影に入る前PCR検査をした組もありましたがそうでない仕事もありました今のところ十分検査をして仕事をしていると思います
18. 過去3公演、都のPCR無料化事業で団体の経費補助に繋がっている。しばらく続けて頂きたい。ただ、頻繁なる団体側の検査も如何なものかと思う。
19. 安心を得るための検査ではないので不毛と思いつつ、対外的に実施しないと不誠実とみなされる空気が出来上がっており、科学的な対応、ガイドラインが必要と思う。
20. 舞台上演において感染対策として必要だと思う。撮影現場などでも感染対策として必要だと感じる。ただ、助成を頂けなければ、今後も各団体や個人の負担はとてつもない事になり疲弊してしまう……………
21. 公演前に全員受ける。それが定番とされ、していない劇団は白い目で見られる。それをSNSで発表しなければならない風潮にはストレスが溜まる。
22. PCR検査含め医療現場の方はいつも迅速に対応していただいて感謝です。
23. 稽古開始の頃から、最低週1回、公演関係者全員が受けられる体制への支援(経済的に大変なため2~3回しか受けられない。実演家への無料での現物支給、もしくは実費の支給)を望む。また、無症状での陽性の場合、近日中に全員が複数回、検査を受けられるように支援してほしい。
24. PCRを受けた後にコロナに感染するリスクもあるためコロナ早期発見には少し物足りなさを感じます。
25. 稽古開始前や小屋入り前など、早く検査しても何の意味もない。
26. 私の場合、個人で負担する額は少額で済んでいるが、そうでない方も多いと思う。そしてとりあえずの検査で、無症状で陽性になった場合の事を考えると恐ろしい。
27. 私の場合、かかりつけ医によって、スムーズに受けられました。助かりました。

Q2-2. PCRについて思うことは？(7/13) 647件の回答

1. もはや「受けたら公演中止の確率が上がるイベント」だと思っている。無症状でも人に移してはいけない、その先に何が待っているかは理性でわかっている、こんなに舞台の公演中止が相次いでしまっている以上、なるべく受けたくないなと思ってしまう。稽古中、一切外出しなくてもいいほど補償が出るなら別ですが。
2. どこも検査場が混んでいる
3. 感染者が分かる、安心できる、と言う意味では必要だと思うが、無症状なのに陽性になり身動きが取れなくなるのは良くないと思う。
4. 結果が出るまでの時間が長い。医療従事者さんに感謝です。
5. 陰性証明になる部分もあると思いますが、あくまでもその時点までの証明なので、良くも悪くも目安の一つなのかなと思います。
6. 公演の経費としての負担が大きすぎるなと感じます。
7. 科学的根拠がなく、開発者自身も反対している、決して受けるべきでない。
8. 無料になったことと、色んなところに場所を設けてもらったことで受けやすくなった。
9. 正直受けたくない検査。もっと気軽に唾液検査が出来るようにしてほしい。
10. 検査自体は必要だと思っていますが、無症状の感染確認が必要な場合は自費検査となるため、感染を拡大させない目的とは言え矛盾を感じています。さらに無症状でも感染が確認されれば公演が出来なくなるのもリスクが大きいです。
11. 体内には必ずたくさんの菌がいて、中にいるだけで陽性が出るPCR検査は信憑性が低いので体調が悪くない限りは行いたくない。
12. スクリーニング目的の検査はあまり意味がないと思う
13. 抗原検査ではなくPCRを無料で気軽に受けられるようにするべき。
14. 最初何故検査代金があんなに高価だったのか？
15. まるで炙り出しのような感覚がある。
16. 半ばルールなのでやっているのと、感染していた時の行動抑制につながるのも強い反対はないが、全員検査やゼロコロナ論者の言動には辟易する。
17. タイミングによっては意味をなさないと思う。
18. 少し過剰に思います
19. 感染防止のために必要だと思う
20. もっと結果がすぐに出てほしい
21. 初期よりは無料検査などあって利用しやすくなった
22. 演劇公演は休止だったので、何もしていない。
23. 制作の判断で、必要に応じて迅速に使えればありがたいが、実施することや陰性証明が上演の条件になってしまうのは困る。
24. 手軽にできるようになってはきたが、無料ではないし陽性の際の対応や制作さんへの負担を思うとなるべくしなくていきたい
25. 検査することで安心感はあるが、結局公演期間のいつかかるかわからないので、意味があるのかわからない
26. 無症状が増えている以上する方がいいと思います。
27. 検査回数やタイミングに見直しの必要があると感じる。時差で陽性となるパターンが時折あり、結果の精度も最近気になる。
28. 証明書発行の有無を統一してほしい。。

Q2-2. PCRについて思うことは？(8/13) 647件の回答

1. 早めに陽性であることに気付くとその分早く対処ができる。また、ウイルス対策が必要な状況で行う公演であるという共通認識を確認できるので、検査を行うことに一定の意味はある。
2. 中止のきっかけを自ら積極的に作るような事はやめたい
3. どこでも迅速に簡単に受けられるシステムを
4. 陰性証明書も無料にしてほしい
5. 受けやすい場所に多くあり助かります
6. 「(検査時の)その瞬間に感染しているか否か」が分かるだけのものなのにそれが正義のように扱われていることに疑問を感じる
7. 無症状で陽性出て中止はきつい。
8. コロナへの扱いを国が変えない限り必要であると思う。しかし、かなりの負担だ。
9. もっと正確にすぐ検査できてほしい。今は行っても予約でいっぱい受けられない
10. 周りで有症状でPCR自体を受けられない人が増えています。これに関してはPCRをやらない決断も必要だと思っています。
11. もっと大量に迅速にやるべき
12. 通過儀礼のような感じ。
13. 不要。すでにコロナ蔓延しきっている現在では、陰性だったとしても翌日かかる可能性が十分あり、感染拡大防止の効果は薄い。現場の足かせになるばかり。
14. やらないで済む限りはやりませんが、やりたい時にスツとできる環境があってくれれば・・と思っています。
15. 毎回、ロシアブルーレットの様な心持ちになり、心臓に悪いと感じています。が、同時にこまめなPCR検査を演劇界全体が積極的に行っていることは、社会的な信用を得る事に貢献していると思います。
16. お客様と自身のために当然のこと
17. 本当に正確なのか不明。また、稽古中や公演前に全ての関係者が何回も受けなくてはならない風潮が理解できない。
18. 果たして公演前に公演関係者が全員検査をする必要はあるのだろうか。そして真面目に検査を行っていた団体ほど中止に追い込まれるジレンマ。
19. PCRだけが安全の印籠ではないだろうに・・・
20. 無料での検査を受けられるのは助かりますが、1人でも陽性者が出たらアウト。こんなにもPCRを何度も受けるとは思わなかった
21. 抗原検査より信用している※7割の確率だけれども
22. AFF申請通った昨年は対外的な安心材料として助かった。しかし本年度はAFF申請を断念。関係者多数陽性者なるなど座組みでの検査は意味をなさない事態に
23. 毎日する予算がないので、症状がない場合、公演前の検査の意味は？と感じる。
24. 抗原検査よりやはり精度が高いと思うので重要
25. 徒労感がある
26. 検査した後に感染する可能性もあるので意味ないと思います。
27. 精度が心配
28. 不正確ではあるが、安心材料とはなる

Q2-2. PCRについて思うことは？(9/13) 647件の回答

1. 近距離で狭い会場の主要キャスト以外は不用なのではないか。
2. 検査所によって、対応のスキルにかなり違いがあります。せめて複数人数の係員を配置できることを望みます。
3. 毎回心配。検査の1時間前飲食、うがいをしないルールを守って検査されてるか不安に思うことがよくある。
4. 無料のキットなどを国が配布すべき。劇団の公演毎に多額の予算を使って出演者の検査を用意するのが本当にしんどい。演劇は、最低でも(最低です)1ヶ月は稽古をするので、稽古開始前、公演前の最低2回分×スタッフ含めた関係者全員の検査キットを負担しなければならない。感染者が出れば即公演中止だし、やりきれない！
5. PCR検査をしすぎることで無症状の陽性者をあぶりだして、必要のない公演中止をせざるを得ない状況はあると思う
6. 蔓延を拡げない為の手段としての側面がある一方で、陽性が出ると業務を停止せざるを得ないことはとてもリスクを感じる。
7. 現状罹患してるか、してないかの判断にはこれが最善と思える。
8. 製作費の大きな負担になってるとは思う。
9. 何か出演があるごとに受けなければならないその度に出演できるか不安になる
10. いつでも無料で何回も出来るかつ当日に結果が出るようにしてほしい
11. 都の無料検査を利用したいが、感染拡大により予約は全て埋まっている状態。無料PCRの拡充を早急に行なってほしい。
12. 信憑性に欠ける。陽性というだけで、公演中止を検討しないといけけないのは納得がいかない。
13. 本人の安心感の為には必要だと思うが、相手の安心感には繋がらないと思う。
14. 国や団体のガイドラインに沿うと受けることは仕方がないなど
15. mRNAにPCRを使うことの違和感
16. 気軽にやってくれるとありがたい
17. 精神面での負担が大きい
18. 公演当日に陽性者が判明した際の急遽の中止は、関係者にも観客にも心理的経済的負担が大きいので、何とか対策がないものかと思う。また、演劇の場合、座組の人数が多いほど陽性者が出る可能性が上がり、出演者がマスクを外して舞台に立つ公演中の検査は、関係者へのストレスが大きくなると思う。
19. 自分の居住地には検査場がなく、郵送のみ。検査時間がかかりかかるので即時的に検査ができないのが現場の運用としては不安。
20. 無料検査場や劇団の負担で実費は無いが、相当な負担になっていると思う。これが実費になると個人に負担がかかってきて金銭的にきつい。
21. 検査時点での陽性か陰性かがわかるだけなのに、検査後、結果が出るまでに陽性になる可能性があることは理解されておらず、形だけの検査で意味がない。本来なら医療行為であるはずなのに、医師から陽性かどうかを伝えられるわけではなく、自分で結果をみないといけけないことはかなりストレスである。陽性だった場合、受け入れられる医療的なサポートもはっきりしていない。劇場からほぼPCRをほぼ強制で受け入れるよう現在言われていて、大変理不尽である。
22. 検査を受けて陽性者になってしまったら収入を断たれてしまうため、絶対に受診しないようにしている。
23. 当日結果がでないもの次の行動がとりにくいので極力当日結果が出るモノを探した
24. 内部の安心感と言うより、対外的な口実の意味合いが強い
25. 値段が高い。結果が出るまで時間がかかる。陰性証明は別途お金がかかる。
26. 海外のように無料でどこでもだれでも出来るようにしてほしい

Q2-2. PCRについて思うことは？(10/13) 647件の回答

1. 予約なし、無料の所を継続してほしい
2. も抗原検査でむしろ振り回される
3. 上演に至るまでに必要な検査だと思いつつ、かかる費用をすべて劇団や個人が負担することはとても難しいと考えます。負担したうえで、検査後に陽性者がでた場合は最悪公演中止であり、負担した額がそのまま押し掛かってくることを考えるとやりきれない思いです…。
4. 確実に検査出来ない環境に疑問を感じる。
5. どこで受けると早い/遅い等のバラツキが無くなってほしい
6. 無料検査場の予約が取れない。判明するまでの時間がかかり過ぎる。
7. 受けた方が多少なりとも安心ができるが、陽性になってしまった場合、公演をつぶしてしまうのではないかと不安になります。
8. とても有効だと思う。稽古前、本番前、学校訪問前は必ず検査を受けるべき。
9. 精度性が未だに信用できません。
10. 矛盾を感じる。必要だが、上演を狭めていることも事実。だが、他団体を観るとき、PCRをしていない俳優が舞台に立っていると、観るのは怖いし団体のモラルも疑う。
11. 第7波のように拡大するとPCRで陰性でも、どこから感染するかわからないので公演の安全性の証明にはなりにくくなっている。
12. 今の状況下では行う方がより安全なので、必要と思えば検査することには賛成。ただ、舞台関係の仕事では頻繁に起こりうる状況の原因を早く突き止めて、そこに特化しての検査を優先することも必要かと思う。
13. 通常、舞台・制作主催者が、手配してくださっている。大事なことだと思う。
14. PCR検査費が高い。関わった公演はすべて抗原検査キットのみだった。
15. 無料になった事は、とても助かっています。
16. 症状がないのに一斉検査はやめて欲しい。病む。
17. 今後についても気軽にいつでも行えるようなシステムを作ってほしい。
18. 無症状での検査は不要
19. 健康管理の目安にはなりません
20. もっと安価に実施したい
21. 全員の陰性が確認できました！というのは宣伝文句としても聞こえがいいし、それでお客様が安心できるのならばやる意味は多少あるかもしれない。実際PCR検査を行わずに公演を行った団体から後日コロナ感染者が確認されていた。今しばらくは必要だと思いつつ、コロナによる国の危険度・重要度に合わせ柔軟に対処していくべきだと思う。
22. 感染拡大しているときに検査が必要で、そういうときに混んでいて時間がかかるのが難点
23. 今は無料検査所もあるけど1月公演の中止の時は全額で30万近くかかりました。必要かな？と諦めの気持ちになりましたね。
24. 4回目の接種券を取り寄せたが、接種するかしないか迷っている。
25. 保障もなにもないなか、陽性者がでてしまい公演中止に追い込まれている団体を見るとやりきれない気持ちになります。私も公演のために何度か経験しましたが、いつもドキドキして結果が出るまでがストレス。できればやりたくない気持ちが強いです。
26. 意味をなしていない
27. 無駄

重複回答は割愛しています

Q2-2. PCRについて思うことは？(11/13) 647件の回答

1. 陽性が出たことはないが、過去、食事を一緒にとった方が陽性となり、私自身にも感染症とみられる症状が出たが、検査はすべて陰性だった。これまでの検査や陰性という結果も疑わしくなってしまった。
2. 第7波において、濃厚接触者全員をPCR検査をする必要性を感じない。
3. 検査をするタイミング。頻度。
4. 時と場合には必要
5. すっかり受け身になってしまった、検査が立て込んでいる今のような時期は早い時期から検査スケジュールに追われていて、果たして有効な結果なのか不安に思うことがある
6. 大事な事だとは思いますがやる回数が多すぎてもっと上手かなと思っている
7. やる意味があるのかわかりません
8. 団体内で感染者が発生した場合にクラスター化させないために必須。無症状者を検査で早期に見つけ出すことこそが防疫の基本。なくすことはありえない。
9. 無料で実施してほしい。
10. 最低
11. 今は東京都民無料で受けられてありがたい
12. ある程度は劇団負担であったり、また、無料公共機関の検査場も増えてきているので、個人の経済的にはあまり問題はない。現ガイドラインにおいて「体調の悪いものが見いだされた場合に」とあるのに、定期的に全スタッフにふるいをかけるが如く検査を受けさせる慣習は如何なものか、と思う。
13. あまりにも主催者側にリスクと負担が大きい。これだけの負担を強いられている環境は、非常に歪な状況のように思う。
14. 偽陽性、偽陰性もあるし腑に落ちない部分がある。公演に関わる人は、真面目に頻繁に検査するから、陽性が出る確率が高くなるのも腑に落ちない。
重複回答は割愛しています
15. 高すぎる
16. 金額負担が大きい
17. 感染を確認する検査ではないのに、陰性確認を必須としている政府、自治体の考え方は納得できない。
18. やるべきだと思います
19. 安全な公演の為に必要だと思う！無料期間延長を！！
20. あまり当てにならない。
21. (個人)無症状で陽性が出そうで不安。(団体)検査をするタイミングや頻度に悩む。高いので抗原検査キットを選んでしまう。
22. 必要なのではないかと思います。無料のものを利用しています
23. どこまで効果があるのかわからないのでなんとも言えない。
24. 一応の安心材料だとは思う。
25. 個人としての負担はないが、主催団体の負担は相当だと感じている
26. お客様のことを思うと仕方ないのかも知れない。
27. 高リスク判定が出て、改めてした2回目の検査では低リスク判定になるなど、その検査結果の信憑性に不安がある。ただ、この検査で誤判定でも高リスクが出ると、出演や公演の続行可否に大きな影響があるので、結果が信頼できるものであって欲しい。また、あくまでも検査時における結果なので、判定をする意味合いにも疑問がある。

Q2-2. PCRについて思うことは？(12/13) 647件の回答

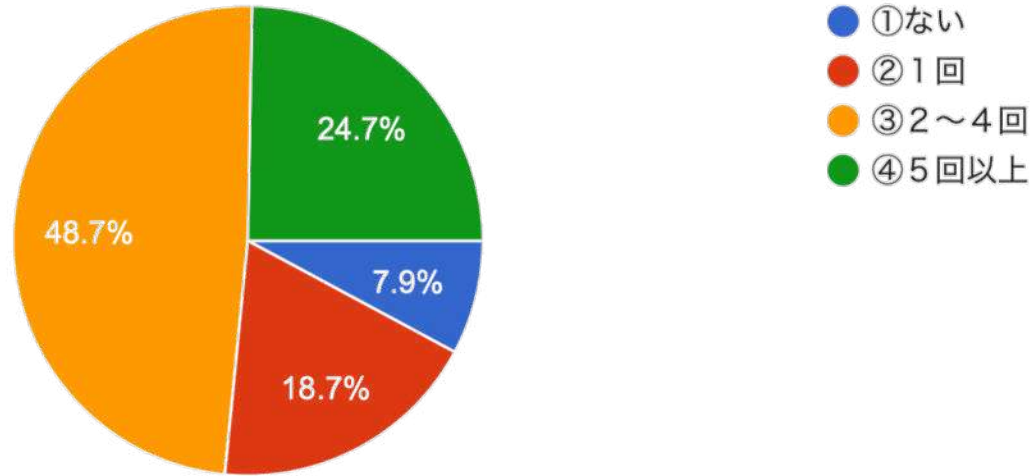
1. 本番直前に行っても結果がすぐに出ないため、検査後から本番までの時間に起きる感染は防げない。医療用抗原検査キットがもっと出回り、そちらの有用性と信頼性が高まれば良いかと現状では感じている。
2. 無症状の者に検査させるのは出演者にリスクを負わせる行為に思える。検査しておけば安心かのような雰囲気はなくしていく政策・公的対応・市民の意識変化を望む。
3. 抗原検査より正確な部分は良いと思う。現在、行政の無料PCRが受けられるので助かっている。
4. 感染が拡大してからは、高原検査ばかりで、なかなかPCRをうけられない。
5. 一緒に仕事をする上でお互いの安心材料ではあるが、お願いするのも、自分がうけるのも面倒
6. 必要なら仕方ない
7. 無料で受けられることで運営や個人の負担が減り有難い
8. 公演主催者から言われると実施せざるをえない。何らかの支援システムが必要かと。
9. PCR費用が高すぎるので、抗原検査のみ実施している。
10. 個人でも確実に出来る方法やキットがあると良い。
11. しょうがないと思う
12. いつも先方で準備していただいているのでありがたいです
13. すでに意味がない。
14. やりすぎ
15. 公演ごとに無料をお願いしたい。現状自費で抗原検査を行っている。
16. 安心材料です。
17. 特になし。舞台の安全のために、受けないといけないものは、しっかりと受けようと思います。
18. 無料PCR検査はとてもありがたく、お客様にも、演者同士の為に必須、継続を願います。 重複回答は割愛しています
19. 市民全員が、必要なとき無料で受けられることができるようにすべき。
20. 郵送の安価なPCR検査は、結果が2～3日かかるためその間に感染する方もいるため、すぐわかる抗原検査との併用が必要でそのように実施しています。高価なもので「団体の負担」が大きいです。
21. 分かりませんがやらないと開演できないので
22. 今、やっと無料で手軽に受けられるところが増えてきたが、当初は自己負担額も大きく、手軽には受けられなかった。今も発熱などの症状があったり、濃厚接触者の可能性が高い場合は、手軽に検査してもらえないので、自己負担で郵送などにより検査してもらえないところがある。
23. どの程度の信頼性があるのか不安
24. お客様への安心感の為に必要だと思う
25. 特に発熱等、症状がない場合は、必要ないと思う
26. イベントの主催者から検査を求められることがある。検査費用をどちらが負担すべきかにいつも悩む。
27. PCR検査の結果が出るのに時間がかかりすぎる
28. 不必要だとも判断出来ない状況がある
29. 治療薬が出来るまで、感染状況に関わらず、全国一律に無料にするべき。
30. 全て無症状で受けたが、ワクチンをみな接種させられていたため必要性を感じなかった。

Q2-2. PCRについて思うことは？(13/13) 647件の回答

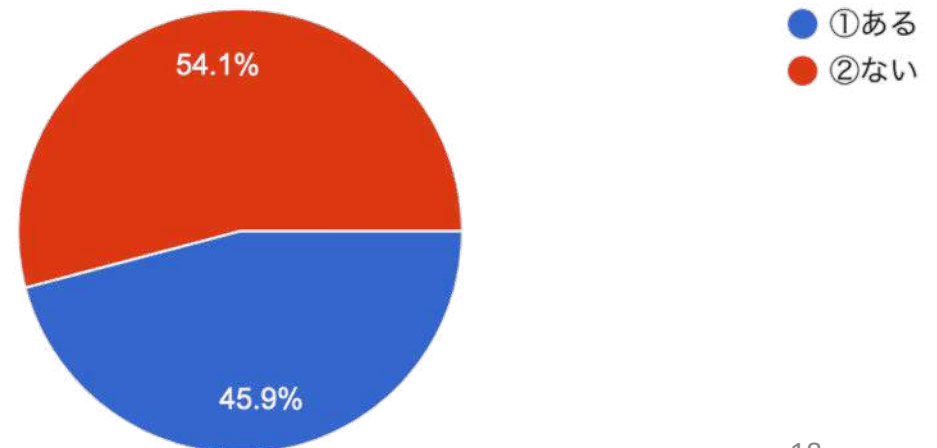
1. 結果が来ないことがあり、どうしたらいいかわからなくなる
2. お客様方に安心して観劇をして頂ける指標としては重要な役割をになっていると思う。
3. お金の無駄
4. やらないより、やった方が色々な意味で安心は得られると思うが、それに追われることがストレスではある。
5. 効果が薄いと思う。
6. 無料でもっと手軽に受けさせて欲しい
7. やった方が安心
8. 連日検査をうけて、4回目(4日後)に陽性になった実演家があります。陰性3日間は普通に生活していたのを悔やんでいましたが、悩ましいかぎりだと思えます。
9. 現状、必要とは思いますが、いつまで囚われるのか不安。
10. 信用ができない。
11. 面倒だしいちいち怖い

重複回答は割愛しています

Q3. これまでの公演などの中止や延期は？
866 件の回答

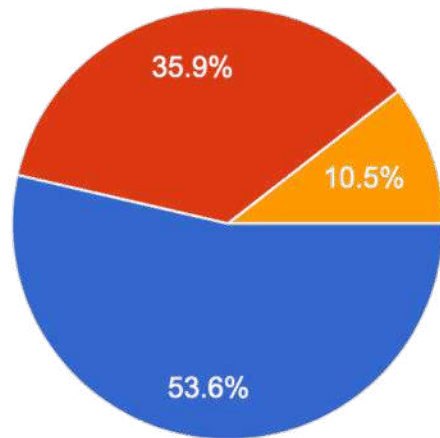


Q3-2. 第7波(令和4年6月)以降の中止や延期は？
865 件の回答



Q3-3. 中止や延期の理由はなんですか？

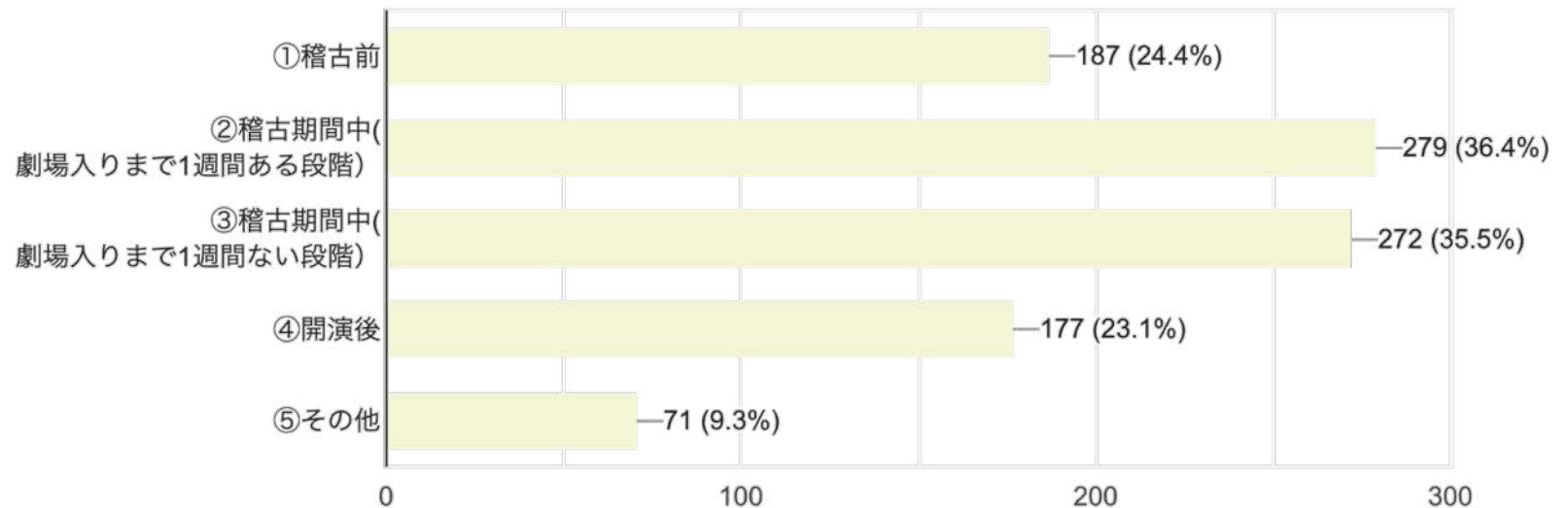
761件の回答



- ① 団体内の陽性・濃厚接触者
- ② 感染状況を鑑みた自主的判断
- ③ その他

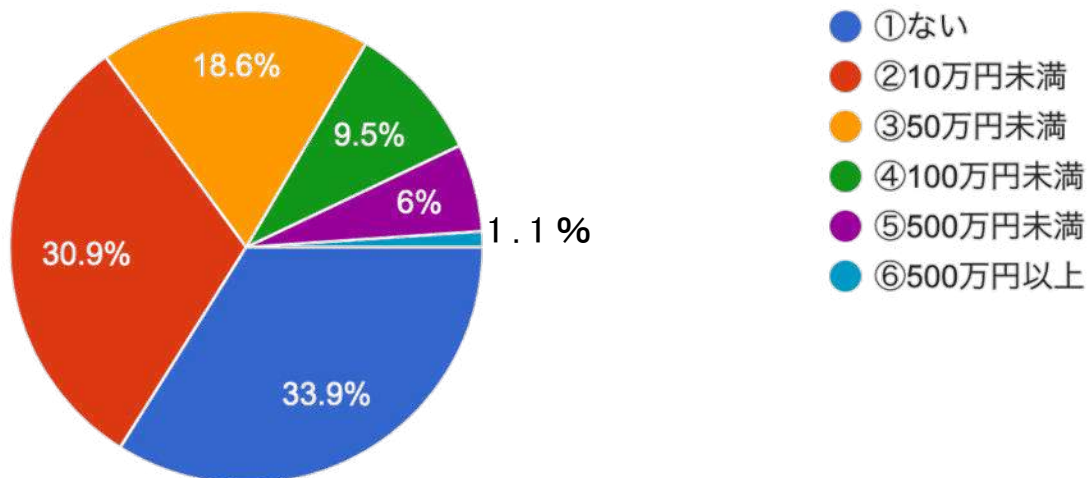
Q3-4. 中止や延期を判断した時期は？

766件の回答



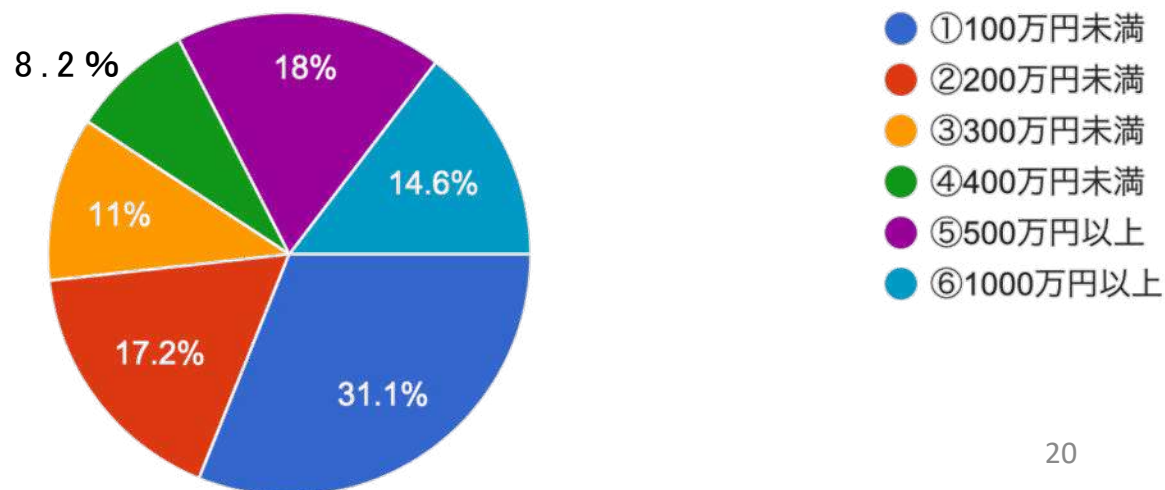
Q3-5. これまでの中止や延期による個人負担額の合計は？

834 件の回答



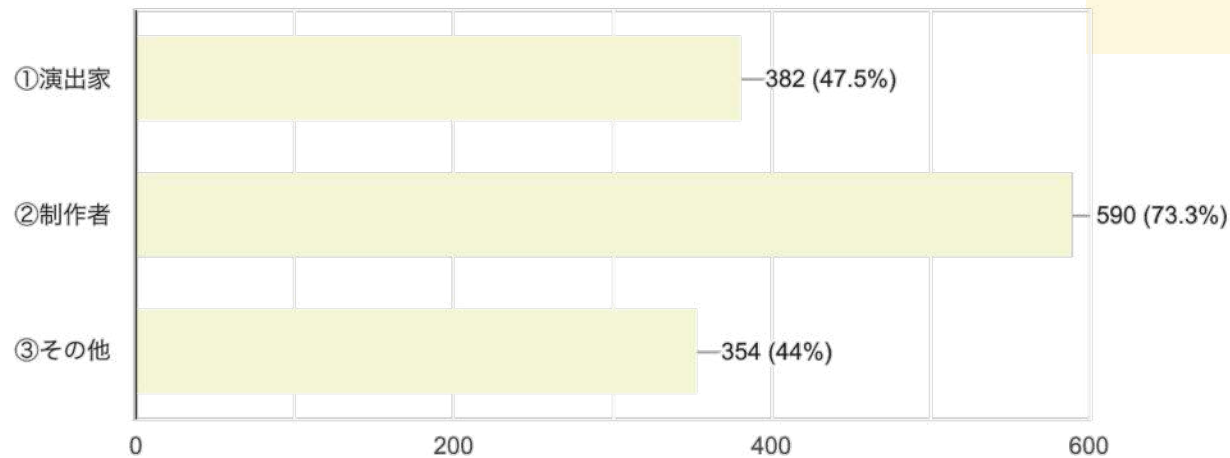
Q3-6. これまでの中止や延期で予想される団体負担額の合計は？

746 件の回答



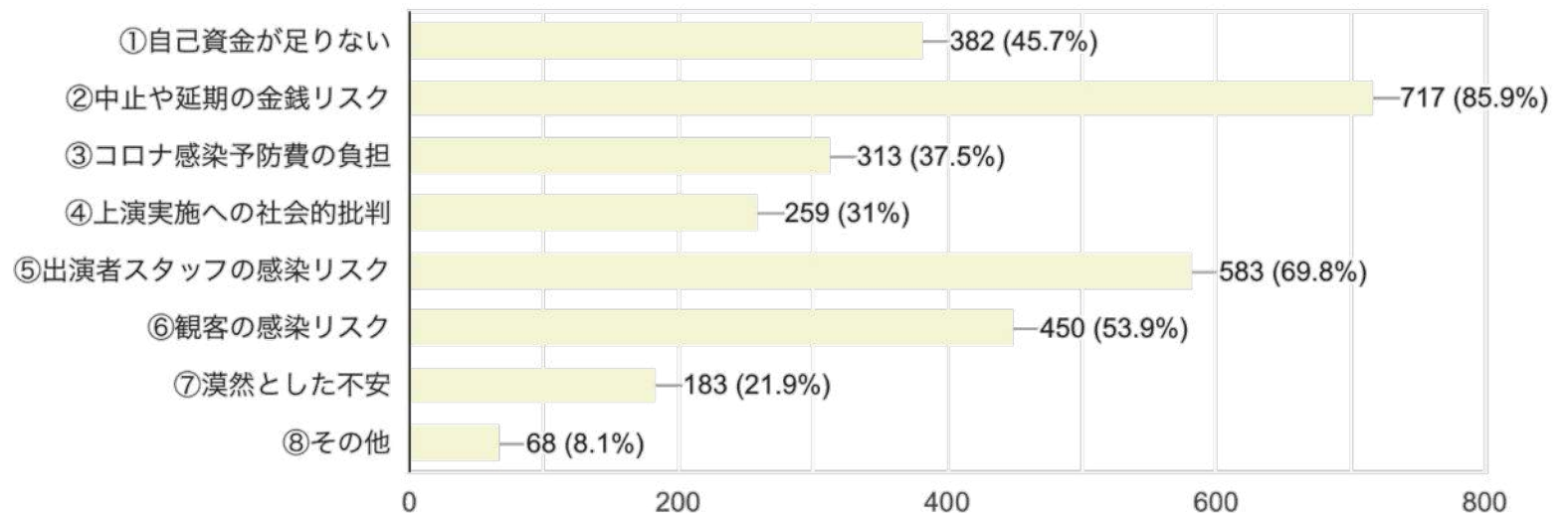
Q3-7. 中止や延期を決断した人は？(複数回答可)

805 件の回答



Q4. 上演の検討で躊躇する要因は？(複数回答可)

835 件の回答



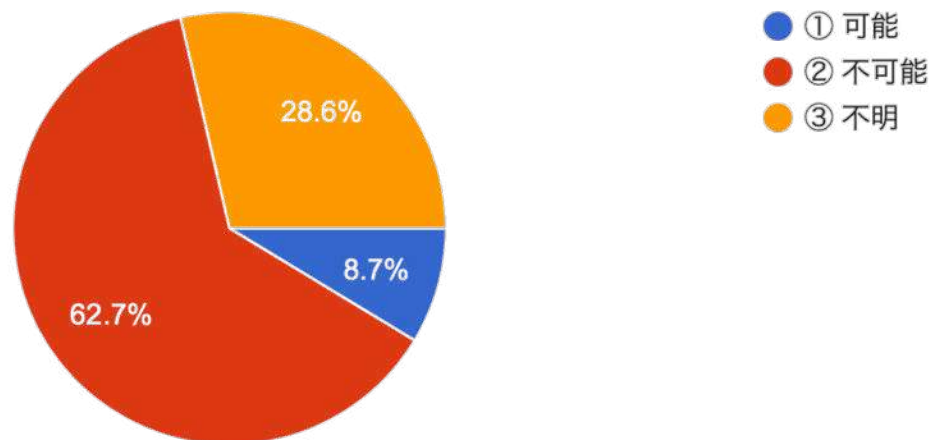
Q4-2. 中止や延期した公演の年内の上演は可能ですか？

796 件の回答

舞台芸術に携わる全ての人の
実態調査アンケート

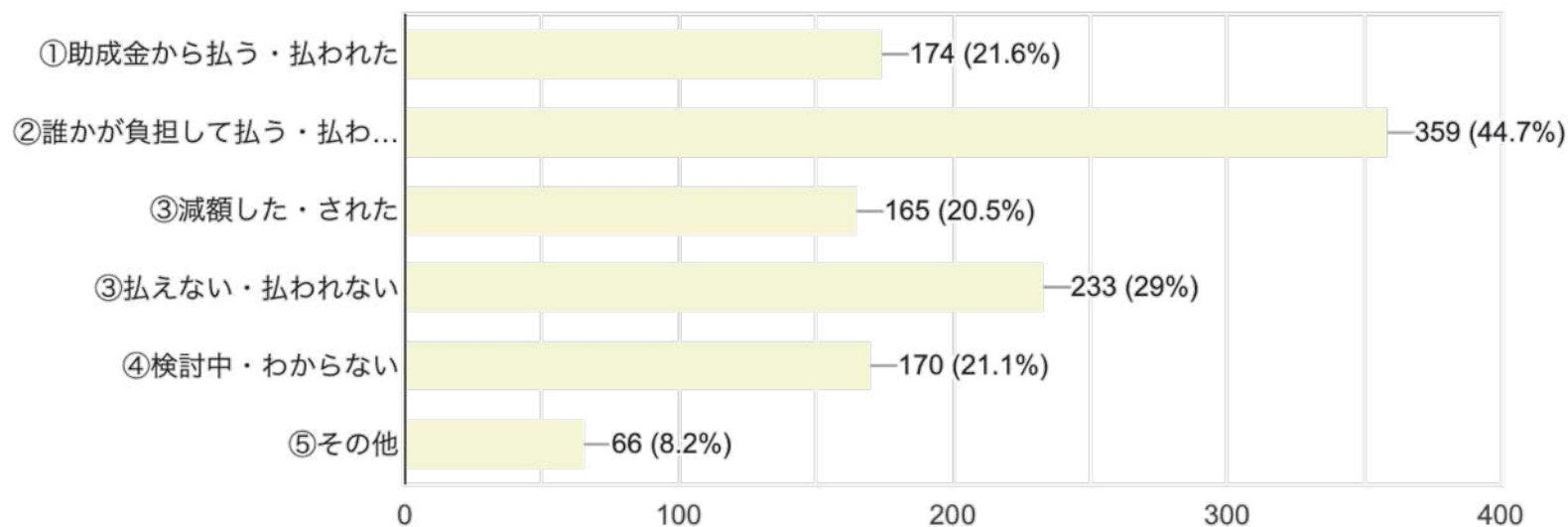
演劇緊急支援プロジェクト

ArtsWorksJapan



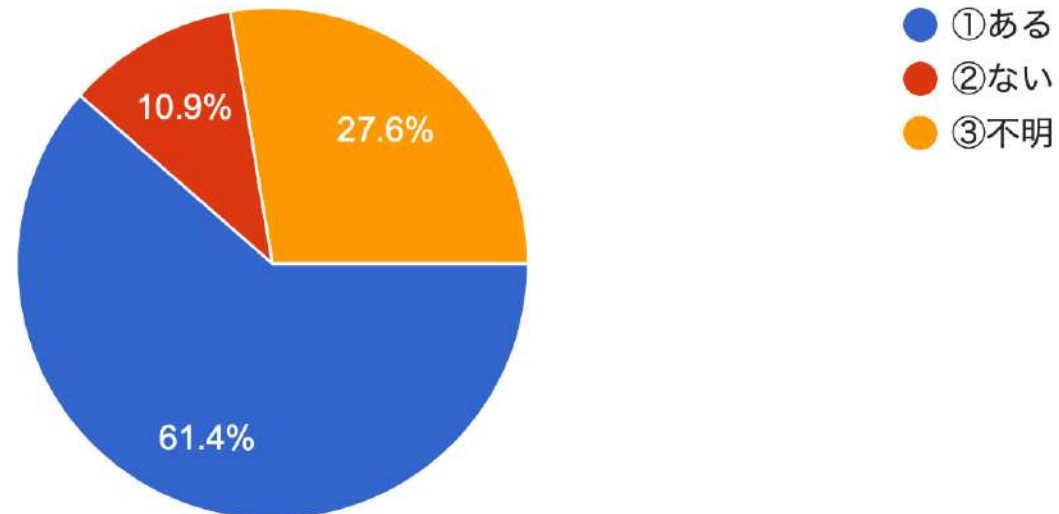
Q4-3. 中止や延期をした公演の劇場費、報酬、経費は？(複数回答可)

804 件の回答



Q4-4. 中止や延期によって来年以降の公演に影響はありますか

814 件の回答



Q4-5. 公演が中止や延期になった時の思いをお書き下さい (1/11)645件の回答

舞台芸術に携わる全ての人の
実態調査アンケート

演劇緊急支援プロジェクト

ArtsWorksJapan

重複回答は割愛しています

- 泣くしかなかった。楽しい舞台を作っていたのに、緊急事態宣言…。
- お客さまへの申し訳なさ
- これまでの金銭的、体力的、精神的な努力が全て無駄になってしまった気がする
- 悔しい。啞然。どうにか公演できないものか。
- もはや何も思わない。この国は文化・芸術に関わる仕事は無くてもいい前提で全ての政策や個人の認識がなされているのだなど改めて思い知らされたくらい。私は舞台が大好きで俳優を目指していましたが、ここまで業界が何も変わらないのであれば、もう諦めます。相次ぐ中止や延期もですが、蔓延るスター制度にもうんざりです。
- 不安。やるせない。
- 心が凍ります
- 本当に辛い、もう続けられない
- ワンステージ支払いの場合、出演予定だった分のギャランティが支払われるのか不安。そして中止が決まってすぐさま相談をできる空気でもないため時間をなるべく空けたくないが空気を読んでしまう。もう一度舞台をやろうと思う気持ちが薄くなる
- 残念だったが、やむを得ない
- 虚無。
- すべからず社会に不要不急のものはありません。文化的なものの役割、経済的な役割とが軽視され、また何もかもがなくても良い不要のものとされる未来は、不安です。もし多様で寛容な社会を目指すのであれば、建て直しだけでなく、生き生きとした社会は不要不急なもので、成り立つものであるということ。自由があることを理解するべきだと思います。私たちは映画を自宅でみることができそうですが、映画館は不要でしょうか？ それ以前にもう映画館はなくなっていたのではないか。現実は違います。政府や市民一人一人が考えるべきです。
- 劇場入りして、これからGPの時に感染者が判明。全ての経費を支払わなければならない、助成金だけではまかないきれず、赤字となった。何とか資金をとやりくりしたが、すぎるもののない絶望感は今も続いている
- 演者や観客の方に申し訳ない
- 言葉にならない。正直継続は不可能ではないかと考えている。
- 2021年8月の、最も医療が逼迫し、妊婦の方のニュースやオリンピックの話が世の中に溢れていた時期なので、正直、中止で安心もした。今やってどうしたらいいかわからなかった。だけど、入る予定だった報酬がなくなり、お金に困った。
- 上演が叶わなくなるように思える絶望感、先の見通しが一切出来なくなる不安。とりあえず負債を返済するための行動しか考えられず、次の公演実現へ向けて考える余裕がなくなる。
- スタッフが感染しても代わりを探せと言われる。属人性のある仕事である以上、コロナ禍では必ず中止になる。その際の補償がなければこんなものビジネスとして成立しない。
- 自身の公演が続けられないことへの悲しみや、負債への恐怖
- 様々な舞台で中止が続いていたので、覚悟をしながらの公演でしたが、やはり中止となるとショックが大きく、長期に渡る稽古期間も含めると、損害は大きかったです
- すごい社会になったなど…。
- 学校公演なので、児童生徒の安全、保護者・地域の不安を理由にされると仕方がないという思い。と同時に、出演者、予定をあけてもらっているスタッフへの補償を考えると胃が痛い。
- ある程度覚悟はしつつも、耐えられない。放心状態。

Q4-5. 公演が中止や延期になった時の思いをお書き下さい (2/11)645件の回答

1. またか。仕方ないけれどやるせない。
2. すぐに再演など不可能とわかっているのに世の中に生み出されない、なかったものとされることになる。やりきれない。
3. とても悔しい。しかたがないことだけれど、やるせない。
4. 返金処理に追われることが多いが、終わった後の虚無感も精神的負担が大きいです。業務量の増加に対して、請求がしづらい状況で非常に厳しいと感じています。
5. いつまでも変わらない政策やがんじがらめのルールに対する憤り。
6. 信じ切れない。ぼーっとしてしまう。
7. 無念。中止のきっかけとなったコロナ陽性の出演者が哀れ。主催者の金銭的負担が心配。
8. 本番ステージに出た回数×手当が報酬額のため、公演が無くなった段階で稽古場までの交通費や稽古期間の食事代も全て負担している。時間的拘束もあるため、その期間を無駄にした感覚が強い。俳優という仕事を全うできなかったというお客様や仕事関係の方への自責の念も強い。周りの俳優やスタッフさんがどんどん辞めていく不安もある。
9. その瞬間まで上演するつもりで準備したすべてが中止決定した一瞬でゴミに変わる。金銭面の負担だけではない虚無感。
10. 作品を世に出せない無念さと生活保障の心配
11. またか、という思いに慣れ始めていることが一番恐ろしい。毎回真正面から受け止めると苦しすぎることもまた事実。本当にやり切れない。
12. 千秋楽を迎えられない虚しさ・感染拡大の恐怖
13. 時間を割いて行ってきた稽古が無駄になった時の辛さはかなりきつい金銭面でも
14. 悔しい。残念。辛い。最後までやりたかった。
15. 最初の中止は出演者などには全く感染者はおらず、東京での感染拡大のため中止、誰が悪いわけでも無いのに中止にしてしまいすみませんと頭を下げる主催、プロデューサー。誰が悪いわけでも無いのに中止になりどこに怒りや悲しみを吐き出したらいいかわからなかった。
16. 絶望。もう本当に役者も舞台も辞めなきゃいけないかも。
17. 初の自主制作公演だったので思い入れもあった作品でした。出演者、関係者に感染者はいなかったものの、緊急事態宣言によりやむなく公演中止へと追い込まれ、悔しいでも悲しいでも無く、ぶつけどころの無い怒りが湧いてきました。
18. 演劇を続けられない
19. いつまで続くのだろう。誰かが感染しなければ止まれない業界の体質にも疑問。
20. こんな思いまでして活動する意味はあるのか？
21. 絶望的な気持ちになりました。経済的な問題で次の公演ができるのか暗い気持ちになりました。日本が物価高になっていくなかでますます次の公演の実現が難しくなったと思います。
22. 無念というほかなかったです。
23. 中止になった時の経済的損失を補填してくれる制度が全く整っていないこと。せめて劇場費のように明確な費用だけでも国が負担するなどしてほしい。
24. 制作した資産（有形無形とわず）が無駄になることへの「もったいない」感情
25. せっかく作ってきたモノガ世に出ることなく他の職業では援助が出るものもあるので演劇も枠を広げてほしい。
26. 仕方ないとはいえ苦しい
27. 目の前で梯子を外された感。呆気にとられた感じ。

Q4-5. 公演が中止や延期になった時の思いをお書き下さい (3/11)645件の回答

1. 1回目は「自分達は何も悪い事をしていないのに何故？完全なる巻き込まれ事故」という全く納得できない感情。それ以降は「やはり、またか。借金が増える。いつまで続くんだ。やらずして中止なら、やってしまった方が良かったんじゃないか」の繰り返しです。
2. 私は、中止になったのは一回だけです。ただ、その一回の影響はかなり大きい。エンターテイメントに対する情熱を無理やり鎮火させられたような状態が続いています。辛いです。
3. 舞台仕込みの日に中止決定。2ヶ月間の稽古が水の泡となりました。親が高齢で、これが最後になるだろうと思ったが、叶わず、未来に絶望感しかなかった。
4. 1人濃厚接触なだけで会場からNG。仕方がないが、やるせない。
5. 国は本当に何もしてくれないんだなと思いました。政治家はもうAIでいい、ちゃんと芸術をわかってくれる人がいない。
6. 出演者やスタッフの雇用崩壊。そして自身と家族の生活崩壊。借金をしなければ到底払えない額である。自殺することを真剣に考える。
7. 芸術家として作品を世に出せない、待っている観客に届けられない悔しさと、純粋に仕事(収入)が無くなったことの困窮。
8. 悔しい
9. 続ける自信がなくなりそうになった。
10. 「仕方がない」そんな一言では済まない現実が目の前に突きつけられます。責任、借金、信用、未来。どんなに収支を見積もって興行をおこしても、たった一人の感染者で全てを失う。法人も個人も、もれなく。一般の会社、飲食店、洋品店などは一人感染者が出てはどうって事はありませんが、舞台を生業にするものは、何十何百という人間、取引のある会社全てを巻き込み、大借金を負ってしまう。誰が責任を取れるのか？誰が負担し、誰が泣き寝入りをし、誰が処理を行うのか…。主催が感染してしまうと、もう悲劇です…。具合の悪い中、治療を後回しにして、関係者に連絡、謝罪、謝罪、謝罪。お金をかき集め、カード会社から満額の借金をし…。今まで、蔓防や宣言下での営業協力をすれば飲食店などには補助金が出たのに、舞台を延期にしても中止にしても、主催には何の助けもありませんでした。泣き寝入りです。この感染者が一人でも出たら中止になってしまう現状に対して、文科省でもどこでも良いので、国からの興行用の保険をせめて行なって頂けないでしょうか？ウィズコロナに政府が決めたのならば、それに対応出来るよう、一助を。
11. やってられない。キャンセル助成金在实际使えないのが腹立たしい
12. 共演者より感染したので、俳優はリスクな職業だなと思った。お客様が感染していないか心配。
13. いつまでこんなことが続くのか。
14. お金無くなる、借金かな
15. やりきれません
16. やはり仕方がないと分かっているけど悔しいし虚しい。それでもお金は動かさなければならない。健康を考えつつ経済的なリスクを考えながら判断を出していくのは非常に苦しい
17. 悔しい気持ちと、次の公演への不安
18. 劇場が潰れないように、自分たちで補填するか。
19. 収入が一気にゼロになるので相当きつい。公演中止まで行かなくとも、いつ中止になるか分からない状況でお客さんを呼ぶことがまず難しい。
20. 上演に至らなかった無念さ、報われなさ。生活費、支払いなどの心配。

Q4-5. 公演が中止や延期になった時の思いをお書き下さい (4/11)645件の回答

1. 悲しい 悔しい
2. 主催者側からの中止の判断の連絡を受けたとき、大げさではなく、息が止まる思いでした。
3. 無症状陽性者の判断でも本当にその方は降板にしなければならないのか？だったらPCR検査をそもそもやらなければいいのではないのか？インフルエンザも一緒ならインフルエンザの検査もしなければならなくなる。キリがない。
4. 悔しい。感染対策は万全だったと言えるほど消毒作業、手洗い、マスク着用等を実施していたのに防げなかった。限られた稽古期間で全力で創り上げてきたものをあとはお客様へ届けるだけだった。クラスターが発生してしまいキャストの半数が陽性になってしまった。まだ仲間が使う予定だったワイヤレスマイクのネームテープを剥がす作業はとても残酷で、申し訳なく、やるせなかった。配信映像もまだ撮影できていなかったうちに中止となってしまい楽しみにして下さっていたお客様へ完成形をお届けすることができなかった。
5. ゴールのロープが急になくなったように、どこまで走ればいいのか、立ち止まればいいのか行き先がわからなくなる。とても悔しい苦しい。世の中の流れに腹が立つ。
6. 虚しい、悲しい、残念、やるせない、申し訳ない、悔しい
7. 公演そのものに関しての思いや負担はもちろんながら、中止や延期・まして感染者が出たとなると、そのほかの仕事やスケジュールへの影響・経済的負担も大きく、また信用も失うため、仕事として続けていけない上、生活も苦しい。さまざまなほかの業界でも制限や負担はあると思うが、自粛だけでは保障が足りない。
8. お客様に楽しんでいただけないのがショック。また収入がなくなる不安が大きい
9. 先が見えない中で延期とは言えず中止、となったときは、やり切れない気持ちになりました。
10. この道に未来は無いと感じています。
11. 陽性者判明のためしかたなしと思いながら、呼んでいただいた劇団さんの負担が増える結果が見えており、申し訳ない気持ちになりました。
12. 仕方ないなと思う気持ち半分、とは言え悔しいのこのままでは演劇を続ける団体が少なくなっていくことは目に見えているので、その中で賢く生き抜こうと固く誓いました。
13. 何のために演劇活動しているか分からなくなった
14. 関わる全員の生活への影響、その責任を(金銭的に)負いきれるのか不安が立ち上る。
15. 仕方がないと思うが、これまでの時間も労力も無駄になってしまって悔しい
16. 公演を打つと決めた時点で博打ではあったが、やはりという思いもありつつ、個人負担が大きいためのこれを機に将来の演劇活動も危ういと感じました
17. 絶望、虚無感。知り合いに演劇活動を辞めていく人達ができる度に明日は我身だと感じる。
18. 後援に教育委員会をはじめとした行政についてもらったので、仕方がない
19. 残念だが仕方ない、周囲や社会への配慮も必要である。
20. 色々鑑みて仕方ないと言わざるをえない。
21. どこにぶつけていいのかわからないやり場のない怒りと喪失感。
22. 罹患者に罪はない。仕方がないこと。ただ、ガイドラインに沿ってまじめに対応していても何の補填もなく、1人の罹患で全体が休演や中止になる。こんな産業は他にない。スポーツは代替りの選手でしのげる。店舗は1人罹患したからと休業にはしない。演劇だけが最後まであらゆる場面で許されないと感じる。

Q4-5. 公演が中止や延期になった時の思いをお書き下さい (5/11)645件の回答

1. いつまでこんな事を続けなければならないのかという怒り
2. ただただ悲しい。そして生活は苦し
3. 大きな絶望と、いつかできるはずという僅かな希望
4. ちょうどコロナ感染者が増える時期に公演期間が重なってしまったので、自分も含め公演関係者の誰でも、いつ感染してもおかしくないという恐怖が四六時中ありません、そこから解放されたことである種の安心感があったかもしれませんが、押さえられていたスケジュール分のギャラが支払われない可能性が高く、空いてしまったスケジュールと、見込んでいた収入が無くなったことで、生活への不安が一気にのしかかってきて、中止になっても赤字。無理やり開催しても赤字。これだけメディアが感染者数拡大を煽っている中で客足はこの3年で従来半分の半分以下の動員になってしまった。現在も「コロナが落ち着いたらまた行きます」と言われるたび、もう公演には足を運べなくなった人が増える一方で悲しい。そしてキャンセル費用は国も全く補填してくれない。八方塞がりです。
5. 舞台は人に見てもらうために、時間と労力をかける。それがなくなったときの落胆は筆舌に尽くし難く、これからもこの思いを味わう可能性が怖くなる。
6. 東京から演出家を呼ぶことができたせつかくの機会だったので、今も悔しさはあるが、当時の状況からしてしょうがないと思った。
7. これまでも地震や食中毒、怪我、さまざまな困難においても対処できてきたのに、感染症の持つ強烈なイメージが厄介。悔しい。
8. どれだけ予防を徹底していても、感染者が出てしまう可能性はあります。なので陽性になった人が悪いとは思いませんが中止にしなければならない状況には何とも言えない怒りややるせなさが残ります。一人でも陽性になると公演自体中止にしなければならない状況なので延期の事を考えるがやはり中止のリスクがどうしても先によぎる。今後舞台を続けていくのは難しいんだろうなと絶望しました。
9. 劇場さんが負担なしで開催期間変更を了承してくださったので負担は比較的小さかった。が、変更に至るまでの議論、葛藤は少なからずあった。
10. しょうがない。withコロナの時代に実演を続けていく以上、受け入れなくてはならないこと。感染しないよう心掛けるが、大所帯になればなるほど避けられないのがつらい。
11. 関係者それぞれの価値観があるため、公演中止の判断が難しい
12. スタッフも含めて同じメンバーで同じ演目をやれることはおそらくもうない、と思うと、公演できないことがとても悔しかったし。楽しみにしていた方々に申し訳なかった。
13. 言葉では言い表せないです。場当たり直前に中止になったのです。もう2度とあんな気持ちは味わいたくないし誰にも味わってほしくないです。
14. 政府、行政の不首尾のツケを払わされている気分
15. 死にたい
16. 仕方ないと思うと同時に、1人発熱したらすぐ中止になってしまう制度に、無慈悲だと感じた
17. 金銭負担やスタッフ、キャストのスケジュールを考えると暗澹たる思いでした。
18. 稽古期間はギャランティは発生しません。そのためまず本番を迎えられないことは1つの失業です。金銭的に痛く、報われない気持ちになります。

Q4-5. 公演が中止や延期になった時の思いをお書き下さい (6/11)645件の回答

1. 無になります。作り上げたものがなくなるので。
2. 私は、第一波の時だったので、今はしょうがないという思っただけでした。第7波で中止になった方と比べると苦しさは軽いと思います。
3. 残念。このような状況への怒り。
4. 命がけでやってきたものを取り上げられた気持ち。
5. 心が折れそうになります。そして関係者のメンタルが心配です。
6. 本当に精神的に苦しかった。延期公演は可能でしたがスタッフ、出演者にかなり無理のあるスケジュールを課してしまった。補助金も中止分は出ない。年内延期なら公演分の補助金はあると言うけれど、そのための調整はかなりキツかった。
7. だろうな、と思った。感染することよりも社会的に興行することに対する批判、マイナスイメージへの恐怖が強い
8. 中止で公演が打てない悔しさはとてもあるが、それ以上に今後本当に公演が打てるのか(金銭面で)が恐ろしい程不安になる。
9. 悔しいし、配信があるからと言いつつも中小劇場での会話劇は同じ空間にいてもらって完成するものと思っています。最後のピースが揃わなかったのが不完全なものになってしまった、という印象は拭えません。
10. 精神的苦痛で鬱を発症しました。
11. 直前のことで精神的なダメージを受けた。
12. 悔しい、ただひたすらに悔しい。
13. せめて補償があってほしいと思う。感染リスクも金銭のリスクもあると、どんどん活動に消極的になっていってしまう
14. 以前であれば回復を待っての再会時間が短かったが、定説とされる期間が長く、とても短期間で再会する目処を持ってない
15. お金の問題が本当に大変です。劇場費も他にかかった経費も、一部報酬も、中止になった出演者のギャラをどうするかと、特に7波は何の宣言も無いので中止になっても補助金等が出なそうなので、とても辛いです。
16. ステップアップのタイミングでの中止だったので、今後の自分のキャリアへの不安が2年間。悔しくてやりきれない。
17. やっても叩かれやらなくても叩かれる、辛いです。
18. 悔しさはあるが、命には変えられない。経済はしんどい。
19. 最初の緊急事態宣言時の影響で延期を決めたのですが、その時はやむを得ないという認識でした。100人を超えたぐらいの感染者数だったと思いますが、対応するにも情報が足りなすぎてやることは適さないと判断しました。今もその判断は間違っ
てはいなかったと考えます。金銭的には70万程度個人負担するしかなかったのですが、その後に助成金があって助かったという事実もあります。また中止や延期になるかもしれないと思いながら台本を書き続けることも辛かったことも思い出します。
20. 正直中止になっても、またか、と慣れてきてしまった。だがこのままでは舞台が維持という職業は成り立たない。元々芸術文化に投資するお金が少ない日本、いよいよこのままだと活動を辞めざるを得ない。悔いしか残らない。
21. やるせない。溢れる涙を止めることができなかった。
22. まだ稽古始まった直後で、お会いしてない共演者(予定)の方がいた
23. 仕方がないが、同じことはできないのが無念。資金的、メンバーの精神的にも今後の活動に悪影響がある。
24. コロナではなくて過去のと捉えたのですが、劇場内に本番中にシロアリが大量発生をして中止せざるを得ない状況でした。お客様は優しく『続きはいつ見れますか?』と言ってもらえたとし、続きを見てもらいたいとも思いました。後日の公演で急遽DVDを作り無料で送付しました。

Q4-5. 公演が中止や延期になった時の思いをお書き下さい (7/11)645件の回答

1. 早く解放されたい
2. 中止の決断については、お客様に胸を張って届けられる状況でない以上仕方ないと感じた。俳優として中止の連絡を受けた際は、判断のプロセスを承伏した上で受けたため受け入れることができた。制作者として判断をつける際は、客観的事実を提示して、座組内のヒアリングも行った上で主催に上申した。だが、演出家からは感情論をぶつけられ、心苦しかった。
3. その時のメンバーでやるはずだった作品はもうできない。コロナで集団から去っていった人もいます。
4. 外部演出家として、招かれた公演で中止や延期を経験しました。劇場に入り、2週間の公演をやる予定でしたが、情勢を鑑みて最初の1週間で中止にし、後半1週間のみの上演になる予定が結局は、最後の1日を無観客で配信するというにまで、ずれ込みました。稽古場は取れていないので、劇場に入ってから15日間、観客に見せることなく稽古、稽古、稽古の毎日。本当に上演できるかわからない不安に俳優たちはストレスの限界を迎え、それを見ているのが何よりも辛かったです。また、演出家である自分も、当初予定の上演初日がずれ込み、次の現場への合流が出来ず、抱えていた執筆作業にも多大な影響が出ました。上演中止による影響は金銭面をはじめ、計り知れませんが、延期もまた金銭面だけでなく、多くの演劇をプランニングする人間たちに影響を及ぼすと思います。心情も体力も非常に辛い思いをしました。
5. 劇場入りの翌日、テクニカルリハーサルの日に中止になりました。これまで各セクションが創り上げて来た公演が開幕直前でストップしたやるせなさや無念という気持ち、そして、公演が打てないことによる金銭的打撃(かなりあった)、その両方がダブルパンチで押し寄せ、かなりしんどい日々でした。現在も当時の金銭的なしわ寄せの影響が続いていて、なかなかしんどい日々です。
6. 延期と言いつつも、上演期間の目処が経たない上、出演者、そのほか関係者のスケジュール確保も難しいということで、実質中止だという諦観があった。さらに、脚本の内容が新鮮ではなくなるのでは無いかという不安があった。
7. 今までは稽古前に中止、延期だったが、
8. 同じ座組で復活公演をやるのは困難。次の企画を立てるのが怖い。陽性者が出るかは運次第で、出た場合助成金が出なくなるから梯子が外されると思うと、公演に力を注ぐのはリスク
9. 以前中止になった時はまだ企画段階でしたので、いずれまた出来る時がくれば、と自分を納得させられましたが。今ちょうど稽古中で本番二週間前、この公演が上演できなくなった場合を考えると、劇場費、ここまで頑張ってくれているキャストスタッフへの申し訳なさとギャランティの一部保証、これまでに払った稽古場代、お客様への返金作業の手間など、どうしても金銭的、精神的、時間的リスクが付きまといまいます。そうなると、経済基盤の立て直しに時間がかかり、次の公演が打てなくなります。どうしてもそれだけは避けたいですし、そういう状況に追い込まれている団体や個人が実際に多くいることを理解してもらいたい。フリーランスも多い業界なので、生活できずに業界から去っていく才能が出ることは、この国の文化の損失です。
10. 正直、陽性者が出たら無条件に全てがなくなるというのはやるせなさすぎる。もう少し何か条件を細かく臨機応変に対応はできないものかとおもう。
11. 地獄
12. いくら予防していても感染してしまって、そのために今まで築き上げてきたものが一瞬でなくなってしまう喪失感や罪悪感言葉に出来ないほどの思いです。延期になってもスケジュールが空いてるわけではないので同じメンバーが集まることはありません。
13. キャンセル料がちゃんともらえるなら仕方ないと思うが、貰えない時は理不尽に思う。
14. やりきれない
15. 症状が出た場合は仕方ないと思う。無症状や情勢での中止は仕事を奪われて未来が見えなくなる。

Q4-5. 公演が中止や延期になった時の思いをお書き下さい (8/11) 645件の回答

舞台芸術に携わる全ての人の
実態調査アンケート
演劇緊急支援プロジェクト
ArtsWorksJapan

1. 最早、公演する事が非常に難しい状況
2. 俳優としては1回でも多くの舞台に立ちたい。出演料がもらえればいいとかの問題ではなく、たった1人の陽性のために全公演中止とかやめて欲しい。延期になっても出られるとは限らないのだから。
3. やるせない
4. 金銭的にその事業を来年できるか見通しが立たない
5. とにかく主宰(及びお金を負担する人間)のことを考えると、どうか死なないでとってしまいます。自身の公演を延期にした際は、関係者がコロナになってしまっていたので、体調と安心を優先させ致し方ないという気持ちでした。
6. 残念な気持ちと、ほっとする気持ちと、今後の団体経営への影響
7. 悔しさ。と、誰にも文句言えない無力感。
8. それぞれが自己管理が行き届いてない 憤り。
9. あまりに多いので、無心になる様に心掛けている
10. 7月末の公演中止の連絡が止まらなかったときの判断だったので、私たちもか…という落胆の思いが大きかったです。直前まで一緒に稽古していた人が陽性という連絡で恐怖も感じました。直前だったため、お客様への連絡、対応が追いつかず本当に申し訳ないことをしました。
11. カンパニーの収入源が絶たれたことによって報酬が支払われるかの不安。
12. 補償が欲しい
13. 辛いがやむを得ない
14. 挫折
15. 準備してきたものが公演出来ないことへの虚しさや悔しさ。悲しさ。理不尽にやってくる苦しみに耐えられませんでした。
16. 感染してしまった人への同情、心配。収入がなくなることへの不安。犠牲が出る前に立ち止まることはできなかったのかという疑問と不信感。
17. 何もできない無力感。手足をもがれて、深い穴に落ちてしまったよう。
18. 中止・延期が当たり前になってきていて、いずれ補償もなく、ただ中止を言われるのではないかと不安になる。
19. 劇団から陽性者やそれに準ずる者が現れない限り、劇団から中止や延期を要請することは極めて少ない。大抵、売りや共催事業における先方からの申し出によるものである。コロナに対しての捉え方は各個人及び団体様々なため、致し方ない、という思い。
20. 心がぼっきり折れてしまうような心境。状況がずるずると停滞するなか、新たに心を奮わせるのは難しい。
21. 喪失感、残念、自己否定
22. 劇場としてキャンセルポリシーに則って対応してきたが、今年はキャンセルリスクを恐れ、公演控えが続いているため、劇場自体が存続の危機に陥っている。上演団体の中止、延期に際しては、できるだけ譲歩してきたが¹、もう受容できるレベルではない。

Q4-5. 公演が中止や延期になった時の思いをお書き下さい (9/11)645件の回答

1. コロナ禍動員の見込みがわからない。
2. 誰に不満をぶつけていいかわからない
3. お腹の中で大切に育ててきた子供をこの世に産み落としてあげられなかったような思い。
4. 最初は悔しさ。回数が増える毎に虚しさと徒労感。あとまたどんどん貧乏になっていく恐怖
5. 仕方がないと思った。公演をしても、集客できるかという恐怖感の方が勝った。
6. 負担がきつい。
7. 金銭的な負担へのプレッシャーは勿論、観客とキャスト・スタッフの想いを考えると哀しい。しかし捲土重来の想いであらゆる手を使って乗り越えていこう。
8. 出演予定の舞台が延期になりました。緊急事態宣言が出る直前だったので仕方がないという気持ちと、お客様を感染の危険に曝さずに済むという安心感がありました。主催者側は苦渋の決断だったと思いますが、中止の判断がされた時には延期した公演日程が決まっていたので「ホッとした気持ち」の方が大きかったです。
9. 非常に辛く出演者にも申し訳ないとおもいましたが、我々も社会の一員である事を鑑み、中止が妥当であると判断した。
10. 本番前のPCR検査による無症状陽性による公演中止はさすがに辛い
11. 感染拡大がひどいのでやむを得ないが、実演家としての発表の場がなくなったこと、売上も上げられないことを悲しく思う
12. ただでさえないお金と時間がいたずらになくなった
13. どの舞台も、だいたい半年前にはスケジュールを押さえているので予定が狂いまくるのと、その間にお断りした案件にも申し訳ない気持ちになる。劇場入り後に中止になった時は虚無感に襲われた。私の場合、ステージギャラメインなので、直前の中止が1番経済的にキツイ。
14. 正直、第7波における中止や延期は、またか…という諦観の気持ち。感染者がなく公演を終えられる団体は奇跡に近く、もはや毎回がリスクすぎる博打になってしまっている気がする。そしてその博打を打ち続ける余力は団体によってはもう残っていないと思う。
15. その日生まれるはずだった劇物語の世界が生み出せないこと、その日出会って劇を楽しんでもらうはずだった人たちと出会えないことの寂しさ、やるせなさ。文化芸術は生命維持に最低限必要でなくても、人間の生活には絶対に必要なものなのに、それが理解されていない虚しさ。感染リスクが次第に解明されても、対策が更新されないことへの呆れと怒り。
16. 本番に向けて続けていた稽古期間中の人件費、その間止まっていた通常公演の売り上げ、完売していたチケットの払い戻しなど、一瞬で事態がひっくり返る恐ろしさを感じました。
17. 仕方がないといった諦め
18. 主催者から中止を言い渡されたときは「なんで!？」と思うし、劇団員の感染で中止になった時はやり切れない。
19. 悔しい。その悔しさのぶつけどころが明確にないところもなお悔しい。

Q4-5. 公演が中止や延期になった時の思いをお書き下さい (10/11)645件の回答

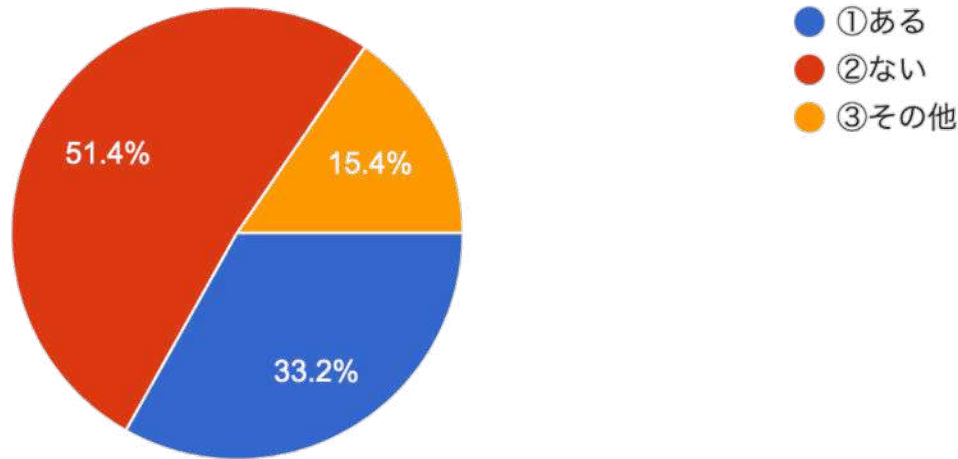
1. 無念の極み
2. お客様に申し訳ない気持ち。生活や目標がなくなり、精神的におかしくなる。
3. やるせない。自分の存在価値の否定
4. プロデュース公演では劇団外の俳優さんを数十名呼び出す事もあるため、スケジュールを合わせて再演する事は非常に難しい。
5. 楽しみにしていた子どもたちや観客の皆さんに申し訳ない。
6. コロナ禍で仕方がなかった。劇団側からは何も要求出来なかった。それを契機に次年度以降の取組みが廃止になる取引先もあり、それが最大の懸案。
7. ギリギリの中止決定だったので信じられず。
8. すぐに延期後の日程が決まった為、特になし。
9. くやしい。これからどうしたらよいのか見当がつかない。
10. 呆然としました。
11. 他の業界は側から見ると、だいぶ通常運転に戻りつつあるが、演劇界だけはずっと打撃を受けたまま。お客様の安全を最優先することが大事なので、繰り返される公演の中止など、我慢することも突出して多い気がする。ただ、演劇人は日本社会全体から見るとマイノリティーなので、厳しい状況が政府に届きにくい。第七波の影響は、特にひどい。2022年も2020年、2021年と変わらず厳しいのに、支援が激減して生活が苦しい。
12. 現状を考えると致し方ないが、収入的にも精神的にも残念でならないです。
13. 演劇文化が消えないように、この状況下でも公演できる可能性を探ろう。
14. 稽古も終わり出発の時の陽性者がみつきり、とても残念でした。陽性者の方も責任を感じて辛そうでした。団体としても残念だけでなくお金の問題等、途方にくれました。
15. 幼稚園・保育園や学校など、この間、コロナ禍の中でも何とか公演を実現しようと取り組んでくださったのに、感染の広がりによって中止・延期にせざるを得ない判断をされた場合は、公演主催者も公演をする側も残念な気持ちでいっぱいです。子どもたちにとってはその時しかない貴重な時間がなくなってしまうので。また、自主公演を中止・延期せざるを得ない時は、かかった経費が戻ってくることはなく、経済的にも大きな損失です。
16. 行政機関発表の緊急事態宣言等に振り回された。マスコミの不安をあおる報道にも振り回された。
17. 誰でもいいから助けて欲しい
18. 今度こそはと3度目の打ち合わせのあと、すぐ中止の連絡。市主催の見通しの甘さを感じます。
19. 3年も続くと慣れてきて、麻痺します。
20. 予算が増額されれば上演回数を増やす等して、上演が可能になる場合もあるのに残念
21. またか…という無力感 コロナそのものの恐さはあるが、それ以上にコロナにまつわる様々なルールの方に振り回されている
22. 出演者の殆どが泣き崩れていた。

Q4-5. 公演が中止や延期になった時の思いをお書き下さい (11/11)645件の回答

1. 中止や延期は主催者側の責任ではない。だからこそ公的支援がひつようなのに、それが行き届かないことへのものどかしさや怒りが絶えません。
2. 補償などがなく社会に認められていない疎外感。
3. 誰も恨めないし、この時期に公演をやるということはこういうことだ、と覚悟はしておりました。負担することや減額することなど、人のやさしさを感じるとともに、負担する人や場所がバラバラなので、例えば一手に劇場に支援する、などしてくださればいいのにな、と思いました。
4. 脱力感が大きかった。本番に向けて溜め込んだエネルギーのやり場が突然失われた感覚。
5. 情報の仕入先がまちまちで皆のコロナに対する感覚がバラバラ。主催も夜ふかしや徹夜、無理をする人で、コロナ期間にもかかわらず俳優に無理を課して抵抗力をさげるようなことばかりで、全体的にはコロナだけでなく、人間として社会人としての振る舞いの足りなさを団体に感じた。
6. 痛み分けのようになっている。ギャランティ自体も下がっているしキャンセル料も払われない
7. 学校側の判断によるものなので、何とも言い難いですが延期してくれる学校はありがたいです。
8. これだけのスタッフ、オーケストラ、演者さんがいるのだから当たり前。
9. 毎年続けているものが中止になってしまうのは本当に残念
10. 稽古期間中アルバイトを休みにしていたが公演が中止になって報酬がなくなり、消費者金融を探さないといけなくなってしまうという精神的不安が押し寄せた。
11. 次同じメンバーで同じ場所で、できるのか。
12. やっぱりか、と思いながらも悔しい気持ちはぬぐえませんでした。
13. とても悔しい上にこれからの不安が押し寄せた。
14. つらいけどつらいと言えない
15. とても悔しかったです。やり切れなくて、モチベーションをなんとか維持しようと必死でした。世間の声も厳しく、メンタル部分との戦いが大きかったです。
16. 2020年に5公演、出演するものがコロナで中止になり、2021年も映画は延期・舞台が中止に。そして2022年の今年も4月の舞台が中止に。どれも金の保証なく、収入が無い。その間にコロナに感染、重症化し、入院3ヶ月、入院ひさは借金して払う始末。メンタルも生活も、そしてコロナの後遺症に悩まされながら(酸素マスク装着生活)仕事への先が見えない不安も抱え、死にたい気持ちで一杯です。コロナはただの風邪じゃない！軽症が多いからと重症患者を軽んじて欲しくない！

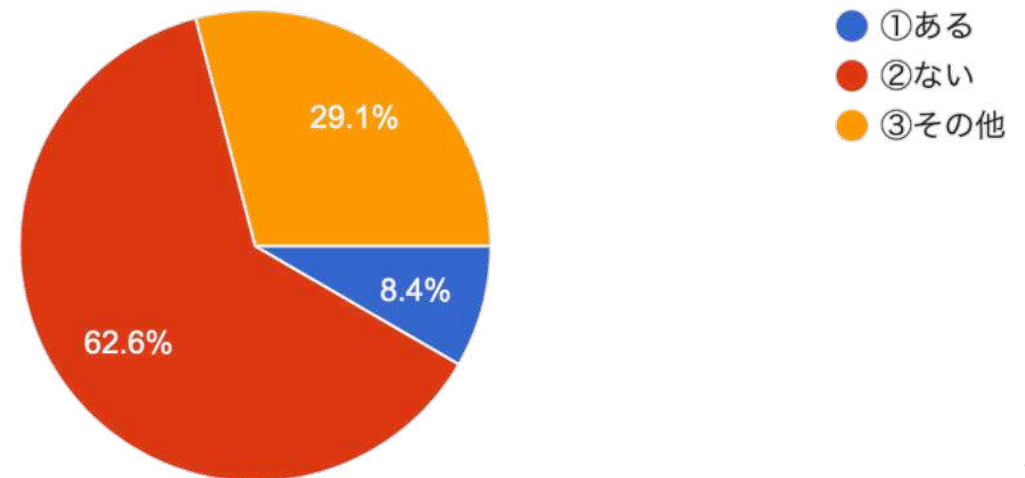
Q4-6. 第7波以降のワークショップや授業の中止や延期は？

805 件の回答



Q4-7. 中止延期になったワークショップや授業の報酬の支払いは？

681 件の回答



Q4-8. ワークショップや授業の延期中止について 思うことをお書き下さい(1/7) 335件の回答

舞台芸術に携わる全ての人の
実態調査アンケート

演劇緊急支援プロジェクト

ArtsWorksJapan

重複回答は割愛しています

1. 生徒はコロナ終息まで家から一切出なければ良い
2. 講師の側に非がなければ事前に契約した報償費は支払うべきと思う
3. しかたない
4. そろそろ仕方ないでは済ませられなくなってくる。生活がかかっているのが厳しい。
5. 対策をしっかりとしていれば開催はして良いと思う。
6. 舞台や芸術は増々衰退します。
7. 感染者が出たのが理由だと仕方ないが、コロナ前と同じ状況での実施がいつできるのか見通しが立たず、いつまで延期中止を繰り返すのかと、うなだれます。
8. 子どもたちが機会を奪われる状況、かわいそうでしかたない。また、小規模な団体から依頼されていたワークショップは中止になり支払いがなくなっても要求しづらい。
9. 仕方ないとはいえ、時間が止まる感じ。成長を阻まれている。
10. ワークショップは受けてこなかったが、スクールや養成所に通わない人達の学びやスキルアップの機会が奪われていると感じる。またそれに伴うWS主催団体や個人活動家の収入源でもあるため、仕事として成り立たなくなる人も見てきた
11. 迷惑
12. リスクを考えると出来ないが、リモートでは限界がある
13. もう芝居なんてするなって言われてるのかなって。
14. もう仕方が無いと割り切っています。国にも国民にももう何も期待していません。
15. 仕方ないこととは言え、収入減になってしまうので、正直言って苦しいです。
16. 講師が陽性になったのであれば止むを得ないが、社会情勢を鑑みてという理由であれば、過剰反応だと思う
17. 仕事(収入)が無くなったことの困窮。また社会的に意義がある取り組みなので、受講者に対して申し訳なく思う。
18. 補償も何もない。事前準備、打ち合わせが全てなかったことになるのが虚しい。
19. 保証がないので、団体の善意に任せるしかない。
20. 延期になった分の報酬が減額されるのは役者としてはやはり苦しい
21. 学ぶ環境は明らかに減っている。そもそもマスクや感染対策によって普段通りの授業とは言えない。
22. 学校へ訪問するアウトリーチが、学校側の感染症対策として中止。「またか」という気持ちです。
23. 実施されないと報酬が支払われないのは主催側からしたら当たり前だが、準備して予定を空けていた分の時間は帰ってこない。ただ無駄になり骨折り損になってしまう。必要なものを用意しても経費で落とすことはできず、請求だけが自分にくる。生きるのがつらい。
24. 悔しい
25. ワークショップや授業の場合は公演以上に、個々の契約書を交わしているケースも少ないので、またコロナと言うやむを得ない事情で中止になったときに呼ぶ側の主催者側も支払い用がなく、結局仕事が飛んだ状態でこちらに負担がかかります。コロナによるキャンセルで支払い元に支払い能力がないケースでは何らかの保証を国なりが負担してくれたらと思います。大々的には大きなキャンセルはまだありませんがこれまででたくさんのワークショップや授業が飛びました。
26. 判断基準が曖昧な事が多い。

Q4-8. ワークショップや授業の延期中止について 思うことをお書き下さい (2/7) 355件の回答

1. 学ぶ事すら出来ないのかと思いました。
2. その時間を既に空けていたことに対する補償がないことに疑問を感じる。
3. 非常に残念。
4. 生活に関わることなので、とても困る。
5. 社会情勢を鑑みると仕方がない。
6. 正直、今はリスクが大きすぎてやらない方がいいとさえ思ってしまう
7. 興業がうてない、講座で勉強もできない、となると、本当に仕事として成り立たなくなってしまった、と思った。
8. 準備に時間がかかっている場合は、補償をしてもらいたいです。
9. 若い人を育てられないことで、業界の未来への不安を感じています
10. 今しか体験出来ない大切な機会を失った方が大勢います。
11. 対面であることが前提の仕事が何故何も補償されないのか。
12. 予定を抑えられて、かつキャンセルで仕事がなくなると収入減に直接的につながるため厳しい。
13. 延期ならまだいいです。中止だとゼロなので生活もきついです。
14. こども達の体験学習が減った事に対する、身体的文化資本への影響は計り知れないと思う受講生の機会損失が大きい。公演もそうだが、今ここでしかできない、というのは、どんな状況でもある。再開しても再度受講できない人たちがいる。
15. 可能性の障害
16. キャンセル料払ってほしい
17. 学ぶ機会が損なわれていくのは、演劇全体の損失だと思います。開催者、参加者、両面への支援が必要だと思います。幸い、後日に振替という形で対応していただけたので、金銭的損失はありませんでしたが、誰か陽性者が出るたびにスケジュール変更の連続で、先の予定が立てられないという不安定さは感じています
18. お金が無い
19. 報酬面を、少しでも補填してほしい
20. マスクを使用しない開催を目指したい。
21. どうしても狭い空間での形式が多くなってしまおうが、オンラインよりも対面でのクラスの方が理解度もあがると思うのでなんとか延期、中止の道を選ばなくて済むような対策(2日前にPCR検査を受けて陰性を確認等)を講じて開催する方向で考えられるといいように思う。
22. 仕方がないがかなしい
23. 俳優にとって絶対に必要なこと。だが、経費の面でも健康面でもどうしたらいいか悩むことばかり。せめて文化庁の初年度のような個人に対する補助金だけでもあってくれれば・・・と思う。コミュニケーション中心のエクササイズ中心なのでやはり無理なのかなと思う。
24. 仕方のないことと割り切る気持ちと、なにかもっと開催するために出来ることはないかと思う。
25. レッスンが定期的に行うものとしてカリキュラムを組んでいます。中止が相次ぐ中、どのようにカリキュラムを組み直すべきか迷います。また、講師料もレッスンが行えないと頂けないので収入が非常に不安定かつ減額しており困っております。
26. 開催しないと支払いがないのは、事情もわかるが、辛い感染予防のため、とは言え、経済的に辛い
27. 劇場に比べ稽古場は狭く、どうしても密を避けられないのでリスクーだと。

Q4-8. ワークショップや授業の延期中止について 思うことをお書き下さい(3/7) 355件の回答

1. 今は特にはない。公演中止の額に比べればと思うと少額は麻痺している。今は仕方ないと思えな。
2. 生活資金と関わっているので困窮する原因のひとつになる。また、一番はじめに切り取られる分野であることはわかっているが、こうも捨て置かれると立て直しも難しい。ただ、ひたすらに耐えている
3. 人が集まるリスク(特に第7波)を思うと仕方ないが、それならば、国には矛盾しないコロナ対策を徹底してもらいたい。
4. とにかく人が集まらない。参加できないという気持ちもわかるのでどうしたらいいか本当に悩んでいる。
5. 生徒たちもスケジュールが狂って気の毒だ。なかなかコロナに対してどこまでの行事が許されるのか判断しづらい
6. 参加を楽しみにしていた人たちがいたとしたら、公演が中止や延期になると感覚的には変わらないと思います。
7. 生徒達が持っていた、いい緊張感がリセットされてしまい、辞めてしまう人が増えました。演劇業界にとっても大きな損失で感じました。
8. 50回以上中止になりましたが、主催者からの支払いはそのうち1回のみです。
9. 育っていく場なのでどうにか続けていきたい。
10. 生徒の安全を優先しなければならないが、講師の生活があるのも事実。
11. 今はやるべきではないと思う。
12. 決定している仕事に対しても、いつどうなるかわからない漠然とした不安がある。
13. 感染者ベースで延期中止を決めるとなると現状の状態となるねえ。
14. 都立高校の演劇授業を担当しているが、去年は1時間、一昨年は4時間授業が減らされたけれど、何の補償もないのは納得がいかない
15. 演劇に関わる学習が出来ないのは、不安に思う。
16. できれば中止したくない
17. ただでさえ学びの場を選ばないといけない現状、やっとの思いで行こうとしても中止に延期。オンラインでは学べないものもあります。
18. 事前に中止を想定して引き受けている。
19. まだまだ時間が掛かる気はしますが、学校側はやはり生の体験やワークショップを生徒達にさせたい気持ちは強いと思います。コロナ前に比べて
20. 形を変えて、できるだけ接触しないように、普段出来ない戯曲を読んだりしてますが、とにかくまだ続いているので、これから続けられるか不安です。
21. 世論的に、やると非国民のように取られる風潮が問題
22. 生徒が演劇離れする可能性が大きく、残念です。
23. 業界全体が育たない
24. Zoomではわからない、その場に行かないとわからないものがあるのは確か。それが無くなるのは非常に残念に思う。
25. 実際に活動している私達もではありますが、育成生徒の負担は相当なものです、大学生や専門学生に限らず未来を支える人材への補助をお願いしたい
26. WSも開催するのが難しく、物理的だけでなく精神的負担となっている。
27. これはどの業界もそうですが、特に演劇というライブエンターテイメントに関しては対策を講じないと未来が無い気がします。

Q4-8. ワークショップや授業の延期中止について 思うことをお書き下さい(4/7) 355件の回答

1. この三年間、結局政府は何もやっていないに等しい
2. 自分たち自身の活動(資金面など)への影響はもちろんですが、その授業などを受けたいと思ってくださった方の無念を思うと、心苦しいです。その主催者自身が決断されたことであっても。
3. 感染者がでたらそれこそ続けられなくなる。
4. やりづらいのは骨が折れる。
5. 今のところ延期という判断なので、その場合は報酬があるが、中止になった場合は支払いがないので、その場合の生活費については不安を感じています。
6. 受ける側への保証は主催以外はしてくれない現状
7. WSであれ、授業であれ、たくさんの準備が必要で、中止や延期によってたくさんの人に影響があり、心が疲弊してしまうことが心配です。
8. 授業はやっぱりいいと思う。公立校がやってるわけだから。
9. あきらめムードがあるのと、どのくらい続くのか見通しが立たないので危機感を感じている
10. 周囲ではむしろ、もうやってしまえという空気が強く、感染対策が不十分なまま強行、体調不良者がいて苦言しても、不安なんですか？と馬鹿にされる経験もしたので、意識が高くない団体・実施者にも共有しやすいガイドラインがほしいです
11. 感染対策をしっかりしていない事務所等でのレッスンがあり、精神的に不安
12. 学校関係や高齢者施設での対面での授業が出来なくなってしまいました。沖縄へのワークショップも、コロナ禍になってから毎年ずっと中止・延期を繰り返していて、未だに実現出来ていません。
13. 仕方ないと思う。強行よりも感染者を出さないことの方が大切だと思う。
14. ワークショップは、基本的にはキャンセルに対し全額返金。コロナ感染拡大でキャンセルが多く、安定した収入を得られない。
15. 平時なら受けたいワークショップに感染リスクを思うと足を運べなくなった
16. 感染者あるいは、感染の可能性が疑われる場合の延期、中止はやむを得ない。公的援助の拡充が望まれる。
17. オンラインに変更になった講座を、当初の金額のまま行うことはできないし、金額を下げざるを得ない。大きな損失
18. 教育機関は特に慎重になるのは仕方がない
19. 生きてる心地がしない。
20. 中止して運営が回るのか心配
21. スケジュールや、収入予定に大きく響く。不安定な状態なので対策が取りづらい。
22. 補償がないから支払いもない、そこは国から何とかしてもらいたいところ
23. 学びの機会が後回しになってしまっていることに対して、演劇界の衰退を危惧。
24. ワークショップなどは実施後支払いになることが多いのですが、実施直前、あるいは当日に中止になる可能性も高く、1年前から担当者と打ち合わせし準備してきたものがなくなってしまう辛さと(ほとんどが延期ではなく中止中止)、実施されないことによってこれまでの全てが無償労働になるという辛さに心が折れてしまいそうです。
25. 実行できてないのでギャラはなしが多い。先方から連絡が絶え、契約内容通りのレッスン数行われぬ。安全面の確保を主催側が率先して行ってくれず、現場対応する講師で備品等用意負担することがある。参加者はもちろん、講師側の安全面も確保してほしい。オンライン対応など。

Q4-8. ワークショップや授業の延期中止について 思うことをお書き下さい(5/7) 355件の回答

1. 真綿で首を絞められている感じ。大きな影響はないがジワジワと何かが削られて行く感覚
2. 仕方ないと思うがスケジュールを開けていた分きつい。
3. どうやって生きるのか
4. ワークショップ受けたいが感染の危険もあり、稽古期間は無理。レッスンは必要なものだがなんとも言えない
5. 演劇関係者でない、一般の受講生にとって、演劇ワークショップのハードルは一層高いものと思われる。採算という意味では開催が難しい現状だが、なるべく継続はしたい。
6. いつになったら安全にできるのか、確証がないだけに判断が難しい。
7. 絶望
8. 感染者を絶対に出せないということ、また公共施設の使用条件が厳しいことが負担です。
9. zoomなどでオンライン授業も行ったが限界がある。
10. 個人事業主なので、収入減になり、生活が苦しくなるが、保証はない。
11. 小中学生中心なので、子供たちが努力してきた成果が無駄になる可能性もあり、辛い。
12. 人命と健康が最優先なので、やむなし。
13. 参加者が不安になっている場合は、やむを得ない。
14. 感染症対策が厳しすぎる。物の接触による感染はほとんどないはずなのに使い捨ての器具や毎回の消毒が必要になったり、出入口を分けるなど、ルールのためのルールになっていて何のために？というようなルールも多い。
15. 演者の仕事へのチャンスが失われる
16. 授業料を支払ったけれど受けられない、という話を聞くので、なんとか補填があるといいなと思います。
17. 第7波以降では、私の身に起きていませんが、前々からスケジュールを組んでいたものがなくなったり、支払いの関係で問題が起きたり、長期の学びの場において機会が失われ、課程のほとんどを通常通りに行えなえず学びが不十分だったなどの声を聴くとやり切れない気持ちになります。
18. 仕方ないことだとは思いますが振替授業が増え、スケジュールがめっちゃめっちゃになった。予定が立てられない。
19. 当初は「中止」「延期」でしたが、2年目からはそもそも「仕事として発生しない」ケースも多く、その場合は中止や延期に対する補償という概念自体が発生しません。その影響は大きいです。
20. 当日のスケジュールを確保し準備をしていたが直前に中止が決まり、収入も減って生活が苦しくなった。中止の際のセーフティネットがない。
21. 学生、若者を制限するのはもうやめてほしい。感染したくない高齢者は自ら自宅待機してほしい。
22. 学校現場は、不特定多数を対象としていないのになぜ中止とするのか。学校現場は、社会の状況が変化してもなお、それまでのガイドラインを見直すことなく、とにかくすぐに中止や、人数の制限などをする傾向にある。
23. ただ闇雲に中止の判断を下すのではなく、開催する方法を模索するべき
24. 中止経験はない
25. 途中まで参加してくれた皆様に何も提供できない
26. 学びの機会を損失するのは本当に歯痒いです。また講師陣の収入源の補填もされないのが現状なので苦しいなあと思います。
27. やむを得ない
28. 何かはしたいが、難しい

Q4-8. ワークショップや授業の延期中止について 思うことをお書き下さい(6/7) 355件の回答

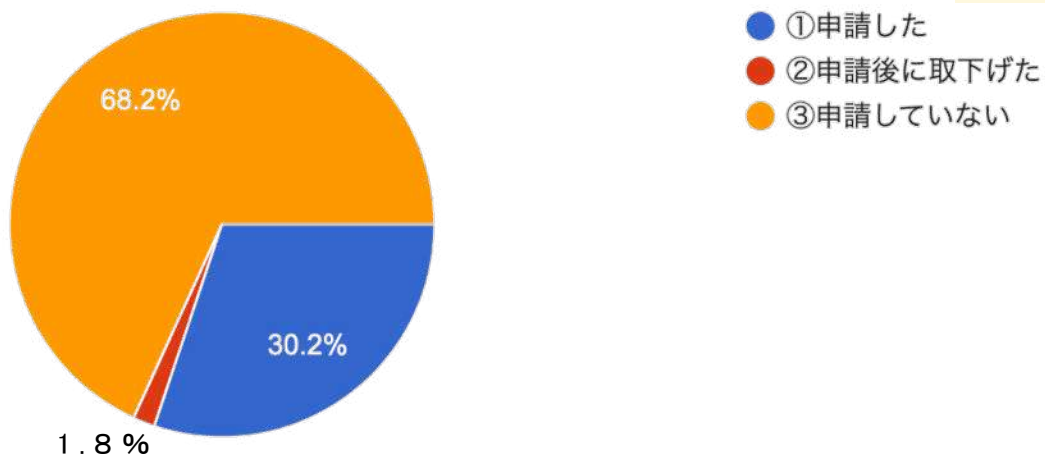
1. またか。打つ手なし。
2. 中止・延期が当たり前になってきていて、いずれ補償もなく、ただ中止を言われるのではないかと不安になる。
3. 劇団側が失うことばかり考えがちだが、現情勢、こちらからの問題発生にて中止をお願いすることになるリスクも同等に考えられる。その点については相見互いにてキャンセル料等は双方無し、と基本している。問題は行政判断の場合。コロナ禍はだれのせいでもない。よって、行政は中止を勧告する場合は保障を、保障ができない場合は興行に制限をかけないでほしい。あとは団体及び観客の自己責任。
4. 人が集まることに対して暗黙の拒否感はいまだに根強く、施設を貸している側として、中止に関して前日まではキャンセル料を課してこなかったが、施設を運営していく上で、中止や控える向きが広がることは施設存続に大きな影響がある。
5. 虚しい
6. 参加者が集まるか不安があったので、致し方ないと思った。
7. 辛い
8. 仕方ないと思う反面、もう少し積極的にやってもいいと思う
9. 中止の場合は報酬はないです。延期ならあります。現場に行き、中止になっても交通費も出してもらえないのが当たり前です。
10. リモートに切り替えができる場合とできない場合があるので、できない場合は準備にかけた費用と時間は戻らない。「やらない」は¥0ではなくマイナス。
11. 主催者(学校の先生)が参加者を守りたい気持ちはよくわかるが、行政関係はかなり慎重だと思う。対応の大変さ、批判への恐れが必要以上にのしかかっているのではないか。
12. 幸い、中止には至らなかったが、ワークショップ先の小学校から、クラスの人数を分けて複数回の実施にしたいという要望があり、受ける事になりました。
13. 収入が減る事が一番つらい
14. 仕方ない
15. 非接触のワークなども考えているので、相談してほしい。
16. 依頼者があっての公演なので決まれば仕方がない。
17. 参加者人数を減らして行ったため、講師料が減額になった。
18. 授業が無くなった時はテレワーク料をもらうことができたのもあった。。
19. しかたない
20. 政府のガイドラインに従っていれば延期や、中止する必要はないのではないかと思います。
21. 2000年から毎年、公開講座として外部から講師をお願いして行ってきたがコロナで2020年からできていない。劇団員の募集と観客のために行ってきた。中止になったことで劇団が弱くなる。
22. 学習機会が失われることは大変残念。
23. 感染対策を徹底すれば、延期の必要性はない。
24. 生徒のみなさんにも申し訳なく思いました。
25. 仕方がない
26. 主催者側に不安がぬぐえない状況なので仕方ない。
27. 予算が増額されれば、少人数にしたり回数を増やすなどして実施が可能なのに残念

Q4-8. ワークショップや授業の延期中止について 思うことをお書き下さい(7/7) 355件の回答

1. 悔しい
2. 複数回行うことができていた人形ワークショップを少ない回数で行うことになり、じっくりと中身をつめることが難しく慌ただしかった。
3. 延期、中止と共に企画をしないようにしたのもあると感じている
4. ワークショップなどのキャンセル料支援は公演の支援よりも行き届いておらず、早急に支援策を作って頂きたい。
5. 1日練習を休むと自分が、3日で講師か、7日でお客様が変化に気づいてしまう。継続の大切さは政治家には伝わらないのだと痛感した。
6. 希望者がいるならば、やってしまえばいいのではないかと、とも思ってしまう。不安な人に合わせるべきだと思っているからこそ、やりたい人の想いが無下にされていくのが辛い、という考えに変わってきている。
7. やってもよかったとおもう。来る人は来るので。
8. 国が見て見ぬふりをするのをどうにかして欲しい。
9. 学校側も学校だけの判断ではなく、PTAも絡んでの事だと思うので、今の状況では仕方ないのかな、と。
10. 楽しみにしていた気持ちと開催への不安でなんとも言えない
11. どうしようもない。

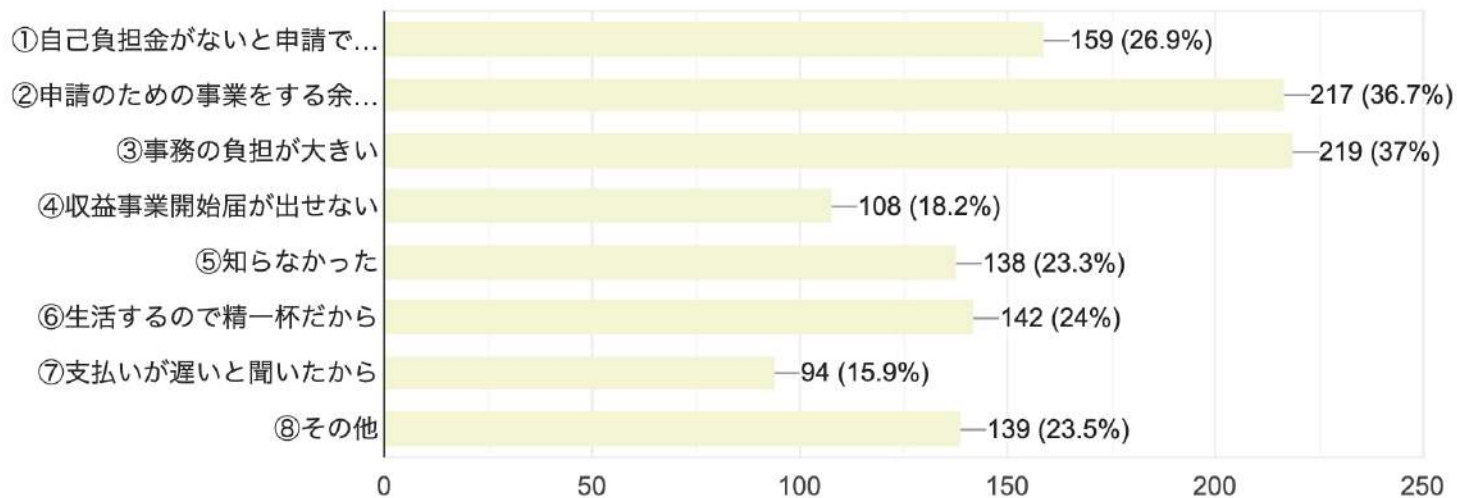
Q 5. AFF2 に申請しましたか？

839 件の回答



Q 5-2. AFF2 に申請しない理由は何ですか？(複数回答可)

592 件の回答



Q5-3. AFF2について思うことをお書きください(1/19) 476件の回答

重複回答は割愛しています

1. リアクションが遅い。
2. 消費税分のことを除けば私どもの団体には対応しやすい補助金であり大変助かっている。
3. コロナ感染者が出て公演中止になった場合でもある程度補助してもらえたら不安がかなり解消されると思う。または年内に公演出来れば中止になった公演も補助対象になるというのは、全く現実的じゃない。
4. 申請した公演が中止となった場合、年内に公演を行わないと助成金がもらえないというのはあまりにも厳しいと思う。
5. まず、団体ではないと申請できない、線引きがあまりにも支援や補助を目的としていないのが明らかである。我々若者に対して未来を託す気が毛頭ないことがよく伝わってくる。個人で活動している人やフリーランスの方、事務所に入っていない方にも支援してほしい。できないのであれば、このまま舞台芸術を衰退させればいいと思う。
6. ひとつの条件を満たそうと思って行動していたら他の条件も必要とどんどん出てきてやりきれない
7. 任意団体の収益事業開始届は完全に改悪だと思う。
8. 正当な理由で上演した公演に関しては助成金を出していただきたい。
9. 民間で職業人と観客が互いを助けるシステムや働きが必要でしょう。
10. 修正依頼や差し戻しが多すぎてスケジュールがたてられない
11. もっと手続きをわかりやすく、誰にでもできる形にしてほしい。生活しながらの申請が難しく煩雑すぎる。
12. 正直、調べていないのでちゃんとはわからない。そのことを考える間があったらアルバイトを地道にやった方がいいのではないかと思えてくる。
13. 申請に手間が掛かる話しか聞かない
14. 確認、支払いの迅速さがほしい。軽微な修正などの要求が、細かすぎる。一度に修正依頼をしてほしい。
15. 個人のプロデューサーが企画する公演も助成対象に加えてほしい。
16. AFF1に申請した経験から思うことです。AFF2も、申請から審査までの時間が掛かかっており、見切り発車で実施するにはリスクも大きい。感染拡大による中止延期などが起きた場合の予算が対象外ということ、決算時に減額の可能性もあるとのことで、安心して事業に取り組むことが難しい。これらが解消されない限り、ただただ、胃が痛い日々を過ごすことになりまったくクリエイティブな創作活動に結びつかないと感じる。
17. AFF2に申請した団体での仕事を引き受けたが、申請から随分経っても採択されず、ギャラの額を教えてもらえないまま経費を自己負担して準備を進めた。7月下旬、小屋入りしてからやっと採択された。数ヶ月も結果を出さないなんてどういうつもりか！！！同時期、文化庁の別の事業に別団体で関わったが、こちらは非常にスムーズに事が進んでいた。いかにAFF2が文化庁の中でないがしろに扱われているかを感じた。
18. 1に比べて審査が厳しくなったとお伺いしています。とても良いコトだと思えます。間口は広く、そして厳しくあって欲しいと思います
19. 説明、指示書きが難しいので、誰もがわかるような文章で書いて欲しい。
20. 公演中止時の団体負担額を補償してくれるのはありがたい。
21. 俳優として参加する舞台が助成金のおかげで延期後に再演することが出来た。公演事業ありきの制度なので、個人のWS等の小さな負担までは拾いきれないと思うが、それが塵積り廃業へ繋がるため、金額や規模の小さいものもあれば助かる。
22. 何かあったらという漠然とした過剰な心配はもう無しにしてほしい。
23. 簡単な申請が必要

Q5-3. AFF2について思うことをお書きください(2/19) 476件の回答

1. キャンセル部分の幅をもっと広くしてほしい、今ではお客様やキャストを守るために行ったキャンセルが対象にならないのはきつい
2. 申請が面倒くさい(差し戻しばっかり)と聞いている。もっと気軽に申請できたらいいのに
3. 緊急事態宣言以外での中止が対象外なのはおかしいと思う。
4. 審査結果が来るのが遅すぎるのと審査が厳しすぎて本当に支援しようとしてくれる気があるのかと思う。
5. 線引きはもちろん必要ですが、もっと対象者を増やしてほしいです。
6. 2020年の継続支援に戻してほしい
7. 文化庁で働く条件は文化に興味や関心があり、映画、音楽、演劇などの現場がどう言うものなのかある程度分かった人であることが必須にして戴きたい。
8. 使途が限定された支援金は本来の意味の支援金とは言えないと思う
9. ただただめんどくさい
10. 助成を受けるための手続きが多すぎて気持ちが萎える。そもそもの運転資金がないのに、助成金の前払いはないので公演自体ができない。前払いをしてほしい。
11. 後出しジャンケンのように、手引きをあとから修正するのは、おかしいと感じます。手引きに則って書類作成する側からすれば、信用できない気持ちになります。
12. 手続きが煩雑すぎる。出さなければいけない書類の多さで、なかなか手が回らない。
13. 公演ありきではなく、団体維持のための支援であってほしい
14. しっかりとした公演を打つが、旗揚げされた劇団ではないので団体としての定義に当てはまらず申請できない。中々に申請の枠が厳しいと感じる
15. 決定までに時間がかかっている間に公演が中止になり、その取組を取り下げた上で新規取組を検討している。難しい状況。書式が度々変わることや、審査基準が明確でないと感じる点も難しい。座組に陽性者や濃厚接触者がいることによる中止が増えている現状に対して、キャンセル料支援は対応ができていない。
16. 対応が遅い。特に基準が意味不明。中止や延期を決定してから、年内で再演の話を動かせると思っている点が机上の空論。ただの理想論。何もわかっていない。政府やAFF2の決定までも段取りがあったはず。舞台や映像の作品にも企画やスケジュールがある。もっと現場を理解してほしい。いや、無理だと思うから、もっと理解しようとする姿勢を見せてほしい。
17. AFFからの流れで同様に申請手続きが分かりづらく非常に煩雑。
18. 2020年のような、助成金制度もまたやってほしい。
19. 最初のAFFより団体の負担が大きすぎる。収益事業開始届は任意団体には負荷が強い上に必要性が分からない。
20. 公演コロナ禍における「上演」芸術の支援とはキャンセル費用の負担なくしてはありえない。
21. もっと簡単に
22. 記入例に沿って記載したのが差し戻しになったり、レスポンスが遅いのがしんどい。ただ、これがあるからうててる公演があり、スタッフや俳優にギャラを払えているのでありがたい。
23. 結局は…一番助けが必要な末端ではなく、演劇界の上層部うわずみだけですよね。これからの未来を向けて努めている弱小団体には関係のない助成です。

Q5-3. AFF2について思うことをお書きください(3/19) 476 件の回答

1. フリーランスへのトリクルダウンなんてあり得ない。収益事業開始届けというが、実際任意団体であろうと法人であろうと収益化できているところはコロナ前から数えるほどしかないし、実情に即していないことを要求してくるあたり現場の吸い上げがたりてない。そもそも論として、小さい任意団体から2500万円助成がとれるような法人や団体が同じ助成金で括られてるのもおかしい話。最大公約数になってしまうので対応できてないのでは？
2. とにかくややこしくて大変な上に、理不尽に通りにくいとの噂であまり関与しないでおこうと思っただけです。
3. 支援として必要とする人々の実態に届いていない
4. いま現場での中止リスクが一番高い関係者の感染による中止・延期が補助対象外ということに驚いています。
5. 事務の負担が大きいことと、申請受理までが遅く、支払いが遅いので不安になる
6. やりづらい
7. 分かりやすく助かる。不正が相次いで厳しくなったが、それで本当に必要な所へ届くのならいい
8. 予算の割に申請できる団体の幅が狭すぎる。目的である人員に対してのギャラが全く行き届いていない。申請して許可が得られるまでの期間が長い(予算組した上で劇場押さえ、人員確保をまず行うのに申請通るか分からない段階ではやはり弱気な予算組と木彫りになります)
9. 役者個人には関係ないのかなと
10. よく分からない
11. 小規模の公演に対して審査基準が前年度より厳しくなっている。
12. 申請する気をなくすほど複雑な事務手続きや、後々になって減額されたり、予定が異なるような結果になると聞くと、逆に怖くて申請できません
13. もう少し規模の小さい助成があると応募しやすいが現状では手間とリスクが勝る。
14. 制度を作る側が、演劇を創る側を理解していない。
15. 申請をもっと簡単にしてほしい。
16. 大変有難い制度なのですが、感染者が出て公演中止となった場合、一切助成されないのは厳しいなあと思います。誰もが上演出来るとして準備するため中止となった場合の金銭的負担が大きいと感じます。
17. 座組に感染者が出て、公演が中止になった場合の説明がまだ明確になっていないことに不安を感じる。
18. 事務局からの迅速な回答、早急な資金提供、曖昧な基準で縛りを設けるべきではない。
19. 非常に細かくて分かりにくい。
20. とても助かる制度だが、実際お金が支払われるまでに10ヶ月ほどかかり、その間は自己負担で関係各所に支払わないといけないため、かなりな負担になる。
21. 観客同員が激減するなか本当に助かる。有難い。
22. アマチュアの活動にも助成が欲しい。次の世代はもう育たない。
23. 申請してもなんども修正させられ、3ヶ月はかかっており、何のためにやっているのかむなしくなってきた
24. 自己負担金額が辛い。キャンセル料支援の仕組みを変えてほしい
25. 事務手続きの大変さと、審査期間の長さの負担が大きい。初期のAFFの時も気持ち的に振り回されてしまい、2への参加を踏み切れなかった。
26. 無理難題が課されているなとも思う。

Q5-3. AFF2について思うことをお書きください(4/19) 476 件の回答

1. 煩雑だがJ-LOD3よりよほどマシ
2. 手続きが煩雑で、そこまで労力を割くことができない
3. 少しでも何か補填を出来る制度があるのは助かります。今後無くなるのであれば公演リスクを考えて公演をしようという考えすら無くなって来るかもしれません。引き続き演劇界が動き続けられるように助けていただければ幸いです。
4. 演劇関係で個人事業主を対象外とされたことが不満。法人がokでなぜ？不正が多かったからの処置で有れば一律除外でなく不正防止策を施してほしい。
5. 団体を支援することでフリーランスにお金が周ることを目的としているので団体しか支援しない、というのが、そもそも公演中止になったらそのカンパニー全員がマイナスになる。カンパニー内陽性でのキャンセルも、キャンセル支援の要件に含めてほしい。
6. 基本的には満足している。ただ、公演中止、延期に対する補助基準を実態に則って現実的なものにして欲しい
7. 今のところ第七波で中止にしてないですが、10月公演をどうするか迷っています。実施しないとAFFがおりないのが困ります。せめて無観客公演でも実施扱いにしてほしいです。なので無理やり延期公演を年内にしようと思いますが、出演者やスタッフのスケジュールが抑えられるか。AFFには、延期によって収入がぐんと減ったり、客数や公演数がぐんと減っても補助金が降りるか質問したら、「総合的に判断します」との回答で、曖昧なものも不安です。
8. あまり舞台の事を分かってない人達が運営しているのかな？という感じ。もう少し理解を持ってほしい。
9. 審査の基準を明確にしてほしい。なぜ不備になるのか、不採用の理由は何なのかが分からない。そして中止した公演に対しても補償がほしい
10. 従来であれば法人化を検討しなかった段階の団体が申請のためにこぞって収益事業開始届を行っているが、団体維持に関わる経費などを捻出できるのか疑問が残る。特に首都圏でもないため一公演当たりの収入も少ないので果たしてどこまで検討して応募しているのか疑問が残る。身の回りでは20代の人間でAFF2を申請している団体も多く、ライフスタイルの変化も多い時期でそもそも団体(劇団)を何年続けるのか不明な段階で出すことに対しては疑問が残る。ほかの団体の動向を見て収益事業開始届の提出含め検討したい。また、今回のAFF2では特に助成金待ち払いをしている団体が多く、フリーランススタッフの負担が大きいため健全とは思えない。
11. 今は個人よりも「団体」が維持できるよう支援するのが大切な時期だと思っている。長引くコロナ禍で疲弊した団体への厚い支援をお願いしたい。
12. それはなに？
13. コロナ禍における文化芸術のダメージへの抜本的な解決とは言えず、従来助成を拡大しただけのようなシステムに思える。災禍によって被害を受けたものへの救済措置ではない。
14. 本当に感謝しております。
15. 現場に則した対応を
16. いつまでも回答をしてくれない。修正の内容がイタチごっこ。審査する人の私意により難癖を付けられている。払ってくれないとどうにもならない事が理解されていない。舞台公演の何も理解してくれていない。
17. もっと分かりやすい申請にして頂きたい。
18. もう少し簡単に、プロデュースするもの側だけでなく、俳優側にも保証がほしい
19. キャンセル支援の条件を緩和してもらいたい。出演者にコロナ陽性者が出た場合等。

Q5-3. AFF2について思うことをお書きください(5/19) 476 件の回答

1. エンタメ業界にとっては大変嬉しい制度です。
2. コロナ対策で30席限定でチケットを売った公演が、30席限定では劇場と認められないと言われ、その公演は採択されなかったことに納得できない。
3. 助ける気があるのか。
4. 大都市の劇場を基準とした制度設計になっていて、地域の小さな劇場や文化施設が視野に入っていないように感じる。
5. 申請するための条件なども含め、手続きが複雑。
6. 不正利用者がいる以上は要件が厳しくなるのは仕方ないかと思う。しかし本当に必要な人に届いていない。
7. 公演の準備や残務をしながらの申請はとても大変です。あと、不正の話をチラホラ聞き、憶測なので本当のところは分かりませんが、もし本当ならとても憤りを感じます。
8. ありがたいけれど、集客50人ルールは第7波にはかなり厳しかった。キャンセルはかなり多かったですし、感染リスクを高めながらも補助金申請のため、無理に劇場に間隔を狭めて客席を配置するのも心が苦しかったです。
9. 対象の幅が狭い。小劇場には厳しい
10. コロナによって公演が中止された団体にこそ救いの手をのべるのが国の役目なのではと思う。あと小道具と衣装が消え物以外経費対象外になるということに全く意味が分からない。
11. コロナ蔓延で作品創りも集客も2重苦の中でやりたくてもやれない。
12. 条件と申請方法が細かく分かりにくい。事務負担が大きいので、実質個人ではできない。不親切・不平等だと感じる。
13. 有難いと思うと同時に演劇の当事者が運営していないことへの煩しい面が山のようにある。
14. キャンセル補填の条件を増やしてほしい(コロナ感染のための中止でも出るなど)
15. ありがたいです。
16. AFFもそうだが貧困層の表現者に対する補助が必要だと思う
17. 詐欺があったからなのかよくわからない修正が多すぎて心が折れた。いっそ面談にするなり視察するなりしてくれた方がいい。よくわからない団体がさっさと通って、まじめにやってきたのになかなか通らず辛い。
18. ありがたい。来年も行ってほしい。
19. Twitterでも見かけますが延期・中止にした際の補償がされない仕組みは憤りはありませんが、不安には思います。中止/延期としても発生するお金はあり、公演が開催されない以上は誰かが負担する必要があるし、お金が払われない、我慢してもらおうというケースもあるかと思えます。その点はどう解決されるのかが気になります。また当制度についてはコロナが落ち着いたとしても引き続きあってほしい助成金ではあると思えます。
20. 自己資金を貯めやすい状態にしてほしい
21. もとより相手にされていない気がする。
22. 演劇を知らない人達が構築したシステムに翻弄され過ぎる。もちろんアートなんて言ったもん勝ちみたいな所があったり詐欺的な事を防ぐ為なのでしょうが、各地域に信頼出来る人達を置いて本当にプロとして成立しているのか、そこをジャッジして欲しいし、各地域ごとに相談員を置いて欲しい。マニュアルオペレーターとマニュアルしか話さないオンラインに経費を注ぎ込んでるのがクソだと思う
23. 現場の事を何も知らない、勉強だけやってきた偉い人達が考えたんだろな

Q5-3. AFF2について思うことをお書きください(6/19) 476 件の回答

1. 収益事業開始届を出さなくてはならないのが本当に苦。そして、支払いも遅いし、事務の負担が大きすぎてメリットがない。
2. 個人が無いので、フリーランスの人には届きません。申請内容等、現場を知っている人が作っているのか甚だ疑問です。
3. スピード感をもって申請許可、事務手続きをしてもらえたらいいなと思います。また申請が下りてから上演までのスパンが短いことに苦慮しています。AFF2は基本的に赤字補填なので、申請が下りるか否かで、公演の収支に大きく影響を及ぼしますので。
4. 遅い
5. 陽性者が座組内に出た時も助成が出るようにして欲しい、じゃないと、リスクを取って企画をしたのに陽性者が出た瞬間に梯子を外されて、助成金がないときより余計にひどい目にあうというという壮大な罠になる
6. 演劇人はこうした書類に慣れていない人が多いので、もう少し書類や手続きをわかりやすくしていただけたら申請のハードルが下がり、助かります。また、稽古場代、劇場費など、早い段階で(中止や延期に関わらず)必ず発生する費用を助成していただけるだけでも随分違うと思います。
7. 実演に関わる人が内部にいると思えない
8. 年内への延期は、正直厳しい
9. コロナ陽性者が出て公演中止の場合のキャンセル補填なしは、本当にひどいと思います。
10. 申請基準が厳しい。
11. 上演スケジュールと、年度内決算の足並みが合わない。
12. 公演が中止延期になった俳優まで助成金がおりてこないこともあるため演劇文化を守ること方法としては力が弱いと思う
13. 支払いが遅い
14. 昨年度のAFFに申請し支給していただいたが、申請やらなにやらの事務手続きも大変だったし、何より決定が遅すぎる。「決定ありきの事業ではない」という主旨はわかるが、現実問題せめて最終的な予算を立てる公演2か月くらいには決定していただきたい。
15. 公演中止になった場合、緊急事態宣言がなくてもホシヨしてほしい。制度はありがたい。
16. 助成金を得るための演劇はやりたくない。
17. 虚偽を見抜くのが大変でしょうが、あまりに厳しいとこれから活動していこうと思っている若手には難しい。
18. 感謝しかありません。これがなかったら確実に倒産でした。
19. 上限額に制限が出てきたことにより、小さな劇場で行う公演が厳しくなったと感じております。
20. 審査が厳しく採択されなかった もっと幅広い制度だと嬉しい。
21. 資金や時間に余裕のないなか、事務手続きの難易度、労力、申請を断念しました。延期や中止の場合補助はなく、年内に事業を完遂しなくてはいけないのは大変使い勝手が悪く感じます。
22. 補助金対象者に記載の「国内のプロの文化芸術関係団体」。「プロ」の基準がよくわからない。
23. 売り上げがあがったから申請できなかった
24. 中止になった場合も潔く支払って欲しい。
25. 予定していた公演が中止になった場合、公演中に中止になった場合でも当初の交付決定額を支給して頂きたい。
26. 規定が厳しすぎて、申請できない。

Q5-3. AFF2について思うことをお書きください(7/19) 476 件の回答

1. とてもわかりにくいシステム　もちろん国の事業なのでプロと呼ばれる人に、会社にしか出さないというはわかる。しかし、Aのようにアマでも世界に認められる音楽を作れるように。弱い私たちだって、そこを目指している訳だからその垣根は取っ払って欲しかった。余りにも間口が狭くなり対応しきれなくなった。
2. 突然の補助金額の繰り下げのため身近に何百万と借金を背負った団体があるのでそう簡単に申請し難い。
3. もう少し簡易だと思いたいと思う。
4. たまたま2020年度にコロナ禍でも工夫をして公演を実施したために、準備期間だった2019年度よりも売上がたってしまって応募できませんでした。非常に残念です。
5. とくかくもっと簡単に申請できるようにして欲しい。手続きが複雑すぎます。
6. とにかくもっと分かりやすく、申請しやすさを改善願う。
7. 感染のため公演中止になった場合に、助成されないという現行の制度はおかしい。そんな賭けのようなことは出来ない。支給が決定した演目については、感染のため中止になっても助成してほしい。更に実演家を苛めているとしか思えない。
8. 中止になって年内中に実施しなければお金が降りないのは厳しい。会場の確保も人のスケジュールも合わせられない。年明け早々に公演が決まっているので認めてほしい。
9. 任意団体に厳しい。電話対応の担当の理解が薄い。
10. 税務まで関係してくると、小規模団体は知識や知識を持つ人員が足りずかなり厳しい
11. 毎年やって欲しい
12. 実施自体にはとても感謝しています。ただ、前回のゴタゴタを避けたいのもあるのですが、少し詰めが甘いかもとは思いますが。
13. 小劇場などでは、各々の持ち出しで演劇をする劇団が大半です。それでも、演劇の灯を消さないように、そしてお客様に喜んでいただきたいという思いで向き合っております。前回の継続支援では個人への補償があった為、劇場の座席数を削減されても赤字の多くをそこでまかない、何とか公演を成功させることが出来ました。しかし今回のAFF2では収益事業開始届が必須となった為に、申請することが出来ませんでした。座席数制限をされている為、100万近くの赤字分は個人資金でそれぞれ補填するしかありません。私の周りの役者達も劇団も、そこで出た赤字を補うことが出来なくなり、廃業していった者が多くおります。演劇を続けていきたいくても、規制に潰され、補償もされず廃業するというのはあってはならないことと考えております。そして税の徴収の為に利用されていると知り、大変遺憾です。演劇の支援、文化の支援を第一とし、当初のように個々の補償と団体の補償を分けて、廃業する者が一人でも減るよう。演劇を続けていけるよう、お考えいただけることを願っております。
14. とてもありがたい制度で助けられています。概算払いが遅延するなど、利便性としてはどうなんだろうと思うことも多々あります。
15. 前回より、判断基準がしっかりしたことは良いと思うが、個人での活動が多い人には厳しくなったと思う
16. 上演前に中止すると助成金が出ないって聞いたが、事実なら酷い制度
17. 一役者としては興味はない。
18. もう少し使いやすくして欲しい
19. 団体でないが無理ですよね。

Q5-3. AFF2について思うことをお書きください(8/19) 476件の回答

1. 時間がない中で出来るだけの事をやっているとは思いますが、実際は出来るだけの事でなくできもしない事を短時間で不完全な制度設計で年の途中から募集して審査しながら制度を整えるというムチャにもほどがあるだろうという補助金となってしまって残念過ぎる。昨年と同じ轍を踏まないように審査人数を増やして申請件数も半減している状況で募集開始から100日程度たってようやく交付件数が申請件数を上回るなんぞ、不正防止>この補助金のコンセプトとなった表れだろう。申請者は目の前の問題として審査の在り方を問うているが審査する側も審査内容が確立されていない中で気の毒だと思う。来年AFFがあるなら1月~12月の募集期間で1月になってから事務局を委託する業者を選定して2月で制度設計し3月末より募集というスケジュールを改めないとい何をやっても改善にはならない。
2. 法人以外であるとか、都市部以外のアーティストの活動をもっとバックアップできるようにしてもらいたかった。
3. AFF1に応募したら、できないと聞いたけれど、それでは次の公演のリスクをおかせない
4. 支援を求める人に対して相応しい制度なのか疑問
5. 地方で演劇活動は、難しい
6. 小さな任意団体や個人の技術者、スタッフの救済策には全くならないと感じる。知り合いの団体が申請してくれているが、結局上演終了後も決定が出ず、個人への支払いは確定していない。
7. 知りませんでした
8. 取り下げされた団体への連絡が遅いと聞いた。その団体は大変ショックを受けていた。
9. AFF2申請開始前の都いわせ開始(確か今年の3月頭)時期から何度も電話で問い合わせし、説明会も出席しました。まず、問い合わせに関して、聞かれたことしか答えない(全員、何人かに同じことを聞いた)例えば、新規法人、新規任意団体どちらでも申請できるのか。できます。どの回答。その先が全くない。新規法人と新規任意団体とでは、どちらも申請できるが、給付額が全く違う。そこまでの説明がない。あまりにも不親切。こちらは作らなくてもいい営利法人を作ってしまった。それと申請に関して差し戻しが何度かある状況ですが、コールセンターでの対応のみなので、どこをどう修正したらいいかわからない。対面窓口を作るべき。もう一つ。現在のコロナ感染拡大状況を考え、公園関係者から感染者が出て中止になった場合も助成すべき。公演前にすでに発生している金額、そして小屋入り後の中止はかなりの金額(数百万円以上)の負担が生じる。そこを援助すべき。
10. 団体だけではなく、雇われる技術スタッフへの支援が欲しい。
11. 何故ここまで間口を狭める必要があったのか理解しかねる。
12. 基準がわかりづらい
13. ひどい仕組みです。誰が得をするのか破綻している。
14. 最初の頃は役者個人でやっている事を認知していたが、その後の情報は小さな芸能事務所にはなかなか入っこない。入ったとしても、規模的に小規模のコンサートやライブでは人員的にも予算的にも手続きを踏む余力が足りない。
15. 大手のための助成金というイメージで初期AFFの方がまだマシだった。地方都市の演劇文化の担い手はほとんどが任意団体だ。地方の実情がわかっていないし、自分たちの活動が端から支援される対象ではない文化なのだとなり、落胆した。
16. 申請の簡易化を求めます。
17. 実情をご存じなさすぎる
18. 支援があること自体はありがたい。

Q5-3. AFF2について思うことをお書きください(9/19) 476 件の回答

1. 採択までの差し戻しが不自然なほど多く、些末なこじつけとしか言いようがない修正も多く、大きなストレスを感じた。また支払いまでも時間が掛かることで、概算払いが実施されるまでに半年掛かることがとても辛い。自己資金が乏しい劇団主宰者として、非常に大きな負担を強いられている。また「収益化をしろ」という強い圧力を感じるが、そもそも演劇公演を収益化出来るモデルとして運用しているケースの方が日本では珍しいのであって、もっと根本的に興行としての演劇公演の不安定さ、脆さに立脚した手厚く親身な支援を検討して頂きたい。
2. 判断基準がおかしい。後だしの修正が多く困っている。
3. 致し方ないがプロを対象しているので縁がない
4. ばら撒きに見えてしまい、これに慣れると収束後が酷いことになりそう。
5. もっと手続き自体が簡単、簡潔になればいいのと思う コロナ禍の補助金の筈なのに、普段の申請のような考え方で精査されている気がする。しかも昨年以上に細かいし、昨年と傾向が違いすぎる。これではコロナ禍の補助金とはとても言えないし、特に地方都市などで芸術文化をするものに制度設計をしていると思えない。都市部の芸術文化の制度設計でしかない。これが一番強く思う。
6. 元々お金がない人には意味がない。
7. もっと簡単には誰でも申請できるといいと思います。
8. 出演者等のコロナ感染が原因で、休演となった際の補助が出ないということになっているようですが、それでは、ギャンブルのようで、公演がうてないと思います。
9. 来年の公演のための準備にかかる費用にも使えるようなシステムがあればなと思います
10. ある程度の応募条件等は必要だと思うが、AFF2に関しては助成額が売上げ見込みの1/2や、事業届など、ハードルが高くなり申請しづらい。また、申請システムが分かりにくい。差し戻し理由が、演劇等芸術に携わったことのある方からのものではないと感じる事が多い為、ストレスが生じる。
11. 申請できる団体の線引きが難しかったことは理解するし、全てをすくうことはできないと分かっているが、未来へつなげていく点からは、本当に支援が必要な人に届いていないのではないかと思う。
12. 小規模の公演では対象にならないが、そういう小さな団体こそが補助を必要とするのではないか。
13. 個人はその時点で足切りされるので辛い
14. 実質法人化がマストというのが個人団体としては事務処理的に難しい。
15. 修正依頼の際、何をどう改善すべきなのか問い合わせても明確な答えが返って来ない。毎回違う箇所の修正依頼が来て二度手間である。一度にまとめて修正箇所がわからないものか。
16. 事務負担が大きすぎる。採択されない団体があると聞く。その場合のリスクが大きすぎる。
17. もう少し迅速なご対応が望ましいです。これからも続けてほしい。
18. 日本は芸術に対する理解や扱いが低い。これまでなあなあで来たものを改革し、こういった活動を通じ、俳優活動等を専門性のある仕事として扱われるようになるように教育機関と俳優たちにも意識改革をしていくことを望む
19. 中止公演の今年中の上演は無理だと思った
20. 要件が厳しすぎる。支払いが遅い、審査基準が不明瞭、担当者によって異なる対応をされる等、利用しにくさ、制度的な不備が目立つので改善して欲しい。

Q5-3. AFF2について思うことをお書きください(10/19)

476 件の回答

1. 個人事業主として大きな公演事業をしてきました。きちんと確定申告もしています。なのに、AAFでは個人事業主の事業は認められず、任意団体として収益事業開始届出書を提出して申請しなければいけませんでした。なぜわざわざ、法人税を支払わせるような複雑なことをさせるのでしょうか。個人事業主としてもしっかりした公演をし、文化事業に貢献してきました。収益事業開始届出書を、担保にすると、説明会では文化庁の方が仰ってましたが個人事業主がなぜわざわざ法人税を納めなければいけないか本当にわかりません。不正を防ぐためにかは知りませんが、真っ当にやってきた個人事業主が申請がしにくくなるシステムにするのはやめてほしい。収益事業開始届出書の代わりに、事業開始届出書でOKにしてほしいです。あと、一つ腑に落ちないのが、申請をするときに「今まで過去にしたことの無い新しい事」をする事を求められますが、なぜ今までやってきた文化事業を「維持する」方が認められないのでしょうか。コロナで弱りきった私達に現状を維持する支援ではなく、新しいことをこの状況でさせて疲弊させるとはどういう支援なのかと思います。過去にやったことの無い公演ってなんですか？誰がこの規定を決めたのでしょうか。本当に現場を知っている人が規定を決めるならこんな規定になりません。本当に困っている公演事業者のための支援とはとても思えない所が多く見受けられます。本当に公演に関して、舞台、照明、企画運営者の声を聞いて内容を作ってるのでしょうか。机の上で決められたものと感じられます。
2. いち俳優でAFF2の事務作業には関わっていませんが、出来るだけ多くの人に門戸を開いて欲しいと思います。
3. 法人化などの詳細が書かれてないのは不親切。
4. AFF1と比べ審査がはるかに厳しく、これでは救済としての補助金の目的は達成されない。結局お役所の想定した限られた商業的な団体にだけ補助され、本当に補助が必要な小規模団体は次々と活動をやめている。
5. 結果的に何とか救ってもらっていますので、ありがたいとは思いますが、あまりに不明瞭なことが多くて、困惑しています。昨年のAFFの頃は、困難に見舞われた方々もいるのは承知していますが、私から見れば、対応可能な内容であった気がしています。ので、今年はより困難になってしまったのが、とても残念です。改善のために、それを申請する側として、何かできることがあるなら、したいのですが。本当に、したいのですが。
6. プロダクションへの助成金が、雇用されるスタッフ数やスタッフへのギャラに反映されているとは思にくいです。スタッフの労働状況は、悪化していると感じます。
7. 前回散々待たされた挙句、書類に不備との返答にその通りにすぐ再提出したものの不採択となり、原因も不明だった。余計な事務仕事が増えるだけなら必要ない。
8. AFF2以外にも当てはまるが、コロナが原因での上演中止の場合に、それまでの経費に対する助成は検討してほしい。チケット収入がない中で、関係者への必要最低限の支払い等を行うは不可能。年度内に再演できる可能性は極めて低いと考えます。
9. もっとわかりやすくしてほしい
10. 援助していただけるのはありがたい。来年申請可能であれば審査したい。
11. ナシ。
12. 現場を知らな過ぎる。人によって言うことが違う。緊急事態宣言等でしか補填されないのはおかしい。審査も入金も遅い。
13. 演劇会のダメージは大きすぎる。劇場から沢山のお客様が離れていきました。回復、建て直しも含めて、後3年は毎年行っていただきたい。
14. 大きなところを救っても、小さなところは救えない。

Q5-3. AFF2について思うことをお書きください(11/19) 476 件の回答

1. 詐欺防止のためもあるかと思いますが、規模の小さい申請が通りにくくなって、結果、キャパの小さい劇場に支援の手が届かないのではと心配です
2. 不正支給を防ごうとすることはとても評価するが、必要としている人々に支援が届いていないことを懸念する。また、電話オペレーターと審査部の認識に相違があり、誤った案内や不明確な案内には非常に残念。
3. 条件が悪すぎます。自己負担金然り、支払いの遅さ然り……何のための助成なのか、よく分かりません。
4. 特に小劇場で審査の基準に達する規模の公演を打っている団体の方が少ないと思うので、そこにも救済処置を作って欲しい。
5. ありません。感染者が減るということが全てです。
6. 個人の実演家にも申請できるようにして欲しい。
7. どんどん分かりにくく、事務作業等に詳しい人しか受けられなくなったイメージ。困ってる文化人助ける気ないでしょ
8. 演劇を知らな過ぎる。
9. 全体の集客が200人になるのに会場の収容人数が50人以下だと申請出来ないのが辛いと感じております。コロナ対策を兼ねて(少人数での公演)&空間演出がしたくて劇場ではなくギャラリーを利用した公演を開催することが多いので。来年も是非AFFがあることを望みます。そして収容人数が少なくても公演回数が多ければ申請できるようにしていただけるととてもありがたいです。
10. 有観客での公演でないと助成が降りないのがきついです。キャンセル支援は現状機能しないのと同じです。コロナ陽性者が出た公演中止や配信への移行など、半額でも良いので助成があれば有り難いのですが
11. もっと簡単な手続きだと手を出しやすい。
12. AFFの最初の方は申請しましたが、2は規定が厳しく、自分は条件を満たせないと感じたため断念しました。
13. 簡単に年内再演とか映像化とか言わないで！文化庁には芝居作りをしたことがある人間はいないのか？舞台を愛している人はいないのか？
14. 中止になった主催者から申請していると聞いたが、詳しくはわかりませんが公演途中で中止になってしまったから申請が通るかわからなくてギャラがそれにより全額払えないかもしれないと言われまだ返事も無いと。きっと沢山の中止になった団体から問い合わせもあり大変なんだろうなと思います。
15. 主旨とは関係ないが税で補填してもらったものに税を払わなければならない意味がわからなかった 基本的にはありがたいが、中止の場合も受け取れる様にして欲しい
16. どういう基準で審査してるのかが明確でない。
17. 煩雑
18. AFFより条件、審査とも厳しい。AFFでは実績報告で申請内容どおりの報告をしたのに減額されたが、AFF2 ではそのようなことがないよう願っている。資金と時間に余裕がある団体しか申請できないように感じるのでハードルをせめてAFF(1)レベルに戻して欲しい。会場、代行業者(土業)、電子チケット業者などあまり困ってなさそうな業者が、ノーリスクで潤っているように見えて不公平感を感じてしまう。
19. 少額の小回りの利く助成は効果的に機能していると感じる
20. あまりに詳細をつめるので交付までに時間がかかる。コロナの変容によって変化する社会状況についていけない。反面交付されると労働による対価が生まれるのは現実としてあるので感謝している。

Q5-3. AFF2について思うことをお書きください(12/19) 476 件の回答

1. なによりも、国からの緊急事態宣言下でないとキャンセル補助されないことが現状にマッチしていない。そもそも、『有観客で積極的な公演』を行う事が条件になっているから、申請して交付決定してもその事業の変更が困難。誰もやりたくないのに、この状況で、有観客で、やらないといけなくて、ホラーでしかない。陽性者が複数出て中止した場合、1円も補助されず、すべて負債となるので、中止できない。陽性者が出てることを隠して『とにかくやっておもう！』と思う団体が出てきてもおかしくない。だって何が何でもやらないと約束のお金もらえないから。この、積極的な有観客の公演のみに出す補助金というしくみを、そろそろ状況に合わせて変えないと日本は大変な事になるよね。フジロックでのクラスターでもわかる通り、感染者が出て安全に公演をやることなんか、不可能。なぜそれがわからないの。不正を防ぎたいなら、法人番号の提出必須や、演劇での確定申告を2020年以降必ずしている、など、規定を設けることはできるはず。本当にオカシイよ、なぜ、誰も疑問に思わないの？世界の笑いものだよ
2. いち技術スタッフにも申請できるのか不明
3. 感染者が発生してしまった時のキャンセル手当が絶対に必要。感染者が出ることを自業自得と見做しているようでは信頼のおける制度と呼べない。
4. どんどん使いづらくなっていく気がします。
5. 実績を見て欲しい。詐欺まがいな事もあるのかもしれないからなんとも言えないが、本気で演劇と向き合ってきたのに審査とかされて出なかった時が恐ろしい。元々演劇をするのは自己表現なので演出家として稼いだお金を劇団に注ぎ込んで、いい作品を作り、ソレを見てもらって仕事を勝ち取ってきました。予算とあってないと言われて驚いた。一つの舞台を作って、ソレを何度も再演して回収する作品もあるのに。演劇人は表現者として生きてきたので、少なからず書類を作るとか難しいですよ。演劇を選んだ時点で冷静な目をしたら人間として頭がおかしいと思います。ですが、ソレを挑戦してきたから今があるのに。助けようとしてくれる方々には感謝していますが、寄り添って欲しいと思います。
6. もう少し臨機応変に経費を考えて欲しい
7. 申請のハードルが高く感じる。
8. 制度は有難いことなのだろうが、首を絞められてる印象。申請する気持ちになれないし、そういう気力もない。
9. 何度も差し戻しが来て、不備の指摘が毎回異なり、きちんと作成しても不備が出るので要綱が分かりづらいと思います。5月に申請してまだ採択が出ません。
10. 申請者目線では設計されていない
11. とても使いにくい。すでに自己資金がある程度用意できるところしか利用できない。小さな団体は眼中にない。
12. 申請から採択に至るまでに時間がかかり過ぎる。採択に至らなければその公演をうてるかわからないため、俳優らのスケジュールをおさえるのにも苦勞する。仕組みは大変ありがたいが、演劇がどのようなスパンで創られているか、文化庁内部の方があまり良く把握されていないと見受けられます。もう少し知見を深めて頂きたい。
13. 陽性者が出て公演中止で交付取り消しとなるルールは全く実体に沿っていない
14. システムは大変ありがたいが、返答が遅い
15. 煩雑な手続きなので申請が大変。纏まった時間の取れる、事務処理得意なアーティストしか応募しにくい。
16. 有難い 来年も継続して欲しい
17. 申請が降りにくい、そこに至るまでの何回ものやり取りや書類準備など、負担が大きすぎる。

Q5-3. AFF2について思うことをお書きください(13/19) 476 件の回答

1. 存在を知らない。
2. だんだん複雑になる申請内容が辛いです。
3. 公演中止などで痛手を負っているのに新たに公演をしなければ助成されない不合理性。公演を計画しないと申請できないのだが、採択まで時間がかかるので採択されるかどうかの結論のないまま準備を進めなければならない不合理性。採択されてもコロナ感染などで公演中止になるとなんの助成も受けられなくなる不合理性。など、制度設計が不条理。
4. 個人に近い団体には負担が大きい
5. 対象内経費の満額負担など(上限はあるが)、大変ありがたいが、担当者がはっきりしないので、同じやりとりを何度も電話で繰り返している。担当をはっきりして欲しい。
6. 注目しています。ただ個人的にはコロナ禍以降、経済的にやむを得ず舞台の仕事中心の生活に一旦見切りをつけ結婚し派遣社員の仕事を増やしたため、時間と経済的にも余裕がなく乗り遅れています。
7. お金がないからこそその方針で、演劇人にとってあまり助けにならないことを本当はわかっているのではないかと考えてしまう
8. もっと小さな劇団に寄り添って欲しい
9. よくわからないので、もっと申請のハードルを下げしてほしい
10. 大変だという噂しか聞かない。
11. コロナによる中止に対しての補助がゼロなのが残念。延期するには通常上演の2倍近い予算が必要。
12. 助成があること自体はとてもありがたいことですが、申請がパソコンでないと難しい点や、自主企画のできない俳優等には敷居が高すぎるように感じます。
13. ハードル上がったけど、不正を防ぐためには仕方ないのかな。
14. 手続きが煩雑と聞きます。真面目な希望者にはきちんと行き届いてほしい。
15. 何でもかんでも通らないように複雑化していることは承知していますが、やはり、現場の叫びを何ひとつ分かっていない人たちが考えた助成なのだなと。
16. 審査はもっと早く！あと映画製作のハードル高すぎるし、負担も大き過ぎる！何故、演劇(舞台)やコンサートは会場費が出るのに映画は劇場代出ないんだ！！
17. まず、本当に内情を知っている方がルールを作られているのか疑問です。延期に関して年内での実施を求めるなど現実的ではないことを平気で求めて来られているので不信感を抱きます。不信感には個人的に個人的に他の理由もあります。我々の団体はAFF1の際、審査段階で「これは体験型演劇ではないか」という問い合わせを頂き、丁寧に説明し「体験型演劇ではない」と認められ審査に通りました。予定通り実施しましたが、実施/報告から3ヶ月一切連絡がこず、突然「この作品は体験型演劇なので出せる額は0円です」と通告され、大きな経済的ダメージを受けました。その影響で年内劇場を抑えていた公演、二公演を潰しました。体験型演劇ではないのにそこから対話ができなかったこと、体験型演劇が何故対象ではないのかというのにも疑問を持ちます。作品表現の選別を行って作家の可能性を狭めています。AFF2は団体から個人へという考え方だと思うのですが、フリーランスのスタッフさんなど、本当に必要な個人に行き渡っている感覚がありません。頑張っているのだとは思いますが、改良の必要はあるとは思いますが「活動継続のための」に戻して頂くことで何人もの人達が道を諦めずに済むと思います。
18. 手堅い助成
19. 個人で近年の実績がないユニットでは申請できない。コロナ前から定期的に活動をされていた規模の団体ユニット向けなんだろうと思う。今後も使うことはないだろう。

Q5-3. AFF2について思うことをお書きください(14/19)

476 件の回答

舞台芸術に携わる全ての人の
実態調査アンケート

演劇緊急支援プロジェクト

ArtsWorksJapan

1. もっとわかりやすくしてほしい
2. これは制作する側のシステムですよ？その末端の役者やスタッフにはお金が廻ってこない
3. 関係者の感染による中止に助成金が全くないため、自己負担が大きすぎる。今後の活動のための資金もなくなり、活動が出来なくなる不安が大きい。
4. 手続きを簡略化スタッフ欲しい
5. 本当に助けてくれるのか分からない
6. 手引き書と係員が言っていることが異なるのは本当に困る。キャンセル支援して欲しい。
7. 長く対応すべきです。
8. すごく心強いです。
9. 昨年度も申請しましたがリスクがある中で事業が遂行できとても助かりました。本当に有難い制度です。欲を言えばもう少し早い対応を望みます。
10. 個人事業主でも申請できる制度を復活させていただけるととても有難いです。
11. 本当にこの業界のことや問題点を理解しているのか甚だ疑問。
12. キャンセル支援の仕組みを変えて欲しい。ある程度資金がないと申請できない。支援事業になっていない。団体要件が厳し過ぎる。申請しても交付決定までに時間がかかり過ぎる。
13. 会社組織の大きな劇団に有利なものだと思っています。
14. 法人組織に有利な制度だと思う
15. 上演中止になった場合も助成をしてほしい。
16. 申請に対しての手続きが煩雑なことと、認可や支払いがスムーズでないことを聞いているので、自分も、とはあまり考えられない。
17. 助成金のプログラムを提供していただけるのはありがたいです。一方俳優(特にフリーランス)は個々でのプロジェクトや事業を全ての俳優が行えるわけではないので、どこか他人事のようにになってしまう面もあったと思います。
18. 自分は申請していないが、他団体の話を聞いて「感染者」が出た場合による中止がキャンセル保証の対象外なのは問題だと思う。
19. 本当に使いづらい。設計が最悪だ。おそらくは「不正利用されないこと」が第一にあって、困窮している芸術家たちの支援の在り方として大変に問題がある。そもそも依然としてコロナ禍が続いているというのに「コロナがひと段落した後の社会での芸術の活性化」という建付けになっているのがおかしい。いま一度、実情に寄り添うように制度を見直してほしい。
20. 公演関係者の感染による公演中止に関してもキャンセル料を支払ってほしい
21. 通常の助成金よりも基準が柔軟であるため申請しやすい。この種の助成金はとても助かっている。
22. 緊急支援なのに主催者への支援ではなく周りへの経済波及効果のための施策になっている。ベースの収入を補償するようなシステムが必要。
23. すでに5回6回とやりとりしている話をいくつか聞いている。その団体は、決して制作力の弱い団体とは思わないが、曰く、小さな団体を潰そうとしているのかと思いたくなる、という言葉が印象的だった。プレイヤーが数人で集まっているようなところは、本番があると急な事務には対応できない。
24. 困ってるのは個人事業主だよ。末端を支援しなければ、業界の活性化なんてありえない。コロナ以降靴一足も買えないんだ。
25. 個人ではあまり恩恵を受けられないので、俳優側には若干不利

Q5-3. AFF2について思うことをお書きください(15/19) 476 件の回答

1. AFF2は、大手の制作会社の為に作られているように思います。助成金総額の1/2の売り上げを上げることを義務付けた助成金はコロナ禍の小劇場の現実を理解していないと思えます。大劇場で年間を通して、同じ演目ができる劇団、あるいは制を上演する集団とは、比較できない。
2. 文化庁や芸文基金をとっているような、芸術性を追求するような団体のことは考えていないんだなと思います(申請額は収入の2倍まで要件など)。誰を救う為の補助金をはっきりしてほしい。
3. 事務局の対応がデタラメすぎて呆れ果てている。事務局と文化庁との間で意志の疎通がなされていないのか、事務局に問い合わせても電話口のスタッフによって正反対の回答が出てくる。
4. 小さな団体の資金源として機能して欲しい
5. アンケート記入時点-8月23日11:00-で音沙汰無し。仮に本日交付通知があったとしても概算払い申請にまた審査があり、その決定が本日の締切までに出るとは到底思えない。下請けの事務局に於ける判断基準と調査能力は分からないが、長年活動している法人には迅速な交付があり、困窮しながらも本助成金に継り付いた新しい団体は初めから不交付又は申請取り下げを目指しての細かい不備ループ(1,2回目には指摘されなかった箇所を問い質される等)省庁と契約した審査機関としては不満しかない。差し戻しに於ける次回返答までの期間が長過ぎてその間に変わる細目も出てくると言うのに。コロナ禍に於ける支援と銘打っていたからこそ資金繰りが厳しく困窮した生活を送りながら再起を図って誰もが本助成金に継った筈だが、概算払い締切当日でも申請団体の約半数が確認中の現状をどう説明するのか期待しているが、それを見たところで準備や公演で消費された時間と資金は戻らない。
6. 申請のハードルを上げることは大事なのだと思いますが、仕組みを作る時に現場の方々からの声をどのくらいの深さで聞き取ってくださっているのか、不安に感じました。
7. もう少し簡単に申し込めて、早めに採択の判断をしてほしい。
8. 採択が遅かった
9. 手続きが大変で制作の負担が大きい
10. AFF1もだが、結果が出るのが遅すぎる。
11. 形を変えてでも支援体制が継続されるとよい
12. SNS上でAFF2についての情報が流れてくると、大半が批判する内容のものだったなという印象です。
13. 個人の演奏活動の助成を行なってもらいたい。
14. 申請して苦労している人の話を聞くと、現場を知らない人が設計したのだと思う。審査に通って出ると思ってたお金が出ないのはおかしい。
15. この制度があるおかげで演劇公演の計画のきっかけになっています。コロナ禍によるイベント実施制限、自粛などのルールの中、この制度がなかったら中止による収入減少、費用の負担増などで絶対に公演を企画することは不可能です。
16. 使えない。ないものとして考えている。
17. 融通が効かない
18. AFF2の募集が始まった頃には第7波の感染爆発を想定していなかったのだろうが、状況を鑑みて内容を軌道修正するとか、もしくは新たな補助の枠組みを作るなどの動きが無いのが絶望的。AFF2事務局が解説動画をアップしているがわかりにくいし、事務費でいくら貰っているのか明らかにしてほしい。

Q5-3. AFF2について思うことをお書きください(16/19) 476 件の回答

1. 採択が遅いので、助成を当てにして実施したのに不採択になるなど、更なる窮地に追い込むシステムは変えてほしい。財政危機を救うシステムを作してほしい。
2. 今後、事業として成り立つ目途が無いので届を出せない
3. 初回のような支援金制度の方が申請しやすいです。
4. 手続きの簡略化と透明性
5. AFF2キャンセル支援があっても今回の7波では使えなく困っています。政府が緊急事態宣言を出さない方針の中、感染者が爆発的に増加していて、公演を中止せざるを得ない現状に対して悲しさがあります。
6. とても良いが、実態への理解がないための修正依頼や、書類作成、報告の負担が多い。
7. 個人でも申請出来るようにしてほしい。
8. 個人での文化庁補助は受けましたが、団体としての実績がほとんど無い団体には全く役に立たない制作だと感じてしまいます。新しい芽を育てる事にも目を向けて欲しい。
9. 申請手続きがやや複雑(専門的知識が必要)と感じる部分がある
10. AAF1の時に突っ込まれなかった細かい点で何度も差し戻しとなり最初の申請から2か月が経つが未だに交付決定が出ないため、見込みで公演を進めている。
11. 継続してもらえると今後も舞台芸術を続けていけるモチベーションになる
12. 1個人事業主としての申し込みが出来ないので。
13. 助けていて素晴らしいと思います。
14. 制度としてはブラッシュアップされており、関係者の想いを感じられる
15. 公演中止になった際の補償がないので、ハイリスクで申請できません。
16. 助かっています。先に半分支払っていただけることもとても助かります。
17. キャンセル支援を、プロダクション内に感染者が出た場合まで拡げてほしい
18. コロナ禍で苦しむアーティストを救済するための制度ではなかったのか。前年より申請のハードルを上げ、何度となく差し戻しをすることはアーティスト救済の真逆に行っているように感じる。一部の排除するべき申請者を除くためにハードルをあげて、善良な多くのアーティストまで除外していないか。救済、支援はそんなものじゃない。
19. 不正防止策だけをアップデートしていて、手続きの煩雑さや説明会や質問解答などの雑さが改善されておらず、直すところはそこじゃない感がすごい
20. もっと映画や舞台制作の現場の事を知っている方々に全体の仕組みを考えてほしい。あまりに使い勝手が悪く、せつかく援助してくれようとしてくれているにも関わらず、申請に踏み切れない人が多いのではないか。
21. 審査が厳しくなったことについては仕方がないが、審査がもう少し早くないと厳しい。
22. 認可時期と支払い時期、延期の場合の実施期間の縛りによって、2021年秋～冬に多数の団体の公演が重なったように思います。助けにもなりましたが、現場の人間に限られている以上、公演が集中することの集中することの弊害も集中することの弊害も大きく、日本の助成感覚はまだまだ現場から遠いように感じました。
23. 詳しくは知らないけれどとにかく悪評。判断が遅い。支払いを撤回される。
24. AAF1次、2次共に不採択で負債を負いました。AAF2にも不信感が多く、新たに事務的な負担を増やすより創作に時間を割きたいと思い申請を見送りました。

Q5-3. AFF2について思うことをお書きください(17/19) 476件の回答

1. かなり面倒だと周りからは聞きます。あと中々申請降りないとも。
2. とにかく返事が遅い、公演間近になっても結果が出ず困っている団体が多い
3. 採択の可否が遅いのは皆さん困るだろう。
4. 身近に取り下げた人がいる。まず自己資金が必要なこと、一定のチケット収入が求められること、認められない費用があることなど、まじめに申請をしても差し戻しもあり、申請から交付までの作業が膨大。
5. もう少し簡単に申請出来る方法を希望
6. 興行主にとっては本当に助かります
7. 最低金額枠に申請しようとしたが、今年度の仕組みでは小規模な公演は対象外になることがわかり申請を取りやめた。結局、小規模な団体が新しいことにチャレンジしようと思っても申請できない仕組みなのだと感じた。
8. 審査の不透明さと不安定さに不安を感じる。
9. 続けて頂ければ、と。
10. とにかくもっと簡単にしてほしい。
11. 助かっている。ありがたいです。
12. 会社ではない一個人には、なかなかハードルの高いなあと感じています。とはいえ、自身の周りにもAFFのおかげで公演を打っている人もたくさんいるので、有難いですし、来年度以降も引き続き実施されると嬉しいです。
13. 採択後でも本当に経費が支払われるのか、大きく減額されるのではないかという心配が常にある
14. 届出の書類が面倒、4度の書き換えで承認された。
15. 知らなかった。
16. そもそも公金を扱う団体、システムとしての体を成していない。再申請の度に、審査の人間が変わる事の必要性が解らない。事務局と審査する人間のコミュニケーションがとれていなく、一貫性がない。
17. ありがたい制度、基準を軽くしてもらいたい、収益事業開始届出書がきつい
18. 事務手続きや支払いへの動きは更に重く遅くなったように感じられるが、今のところ製作団体・個人における1番の拠り所になっていることは間違いないと思う
19. 難しい…資格のあるみんなが受け取れるようにしてほしい
20. もう少し申請までの敷居を下げてほしい。せめて説明を分かりやすくしてほしいです。
21. 感染症まん延時に、興行をうつための支援というのが意味がわからない。
22. 中止せざるを得ない状況になった時の補償があると良いと強く思います
23. 手続きが複雑。
24. プロにとって最低なシステム アマチュアが申し込むだけ
25. 不安は山ほどあるが、それでもないよりいい。
26. 頑張ってくださいと思っていると思う。
27. 申請結果の迅速化をもとめます。申請作業が複雑。
28. 採択が遅い。しかもこのコロナ禍が長く続いて助成されるかギリギリまでわからない状況で、上演する経済力がなくなっている団体が多くなっている。1/3負担か全額負担かではもう死活問題になっている中で、あまりにもものきな事業であるとか言いようがない。

Q5-3. AFF2について思うことをお書きください(18/19) 476件の回答

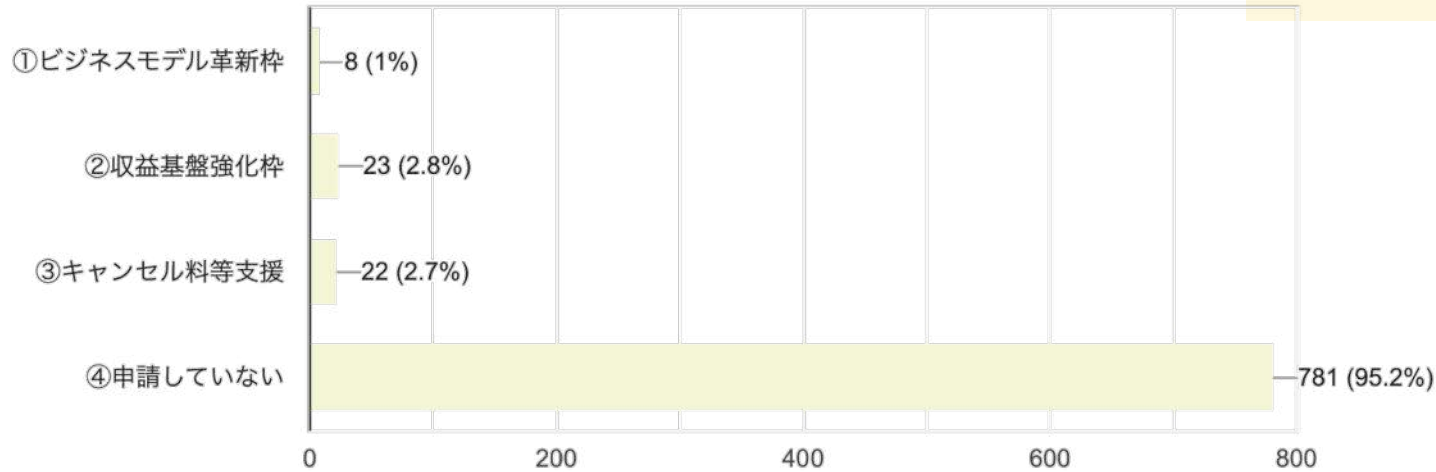
1. これは日経連だか、注意しないと来年の税金に負担がが加かる、任意団体からも税収を取るから精査して、申請しなくてはならないのか不安しかありません
2. やって欲しいが、単発だとあまり意味がない
3. こういう情報はもっとどんどん流して欲しい！
4. わかりづらい。
5. 認知されてない
6. 大変有難い助成ですが、結果に時間がかかるので、資金的なめどが立たないまま宙ぶらりんの状態が長いのはとても心理的にも運営チームの稼働においても負担がとても大きいです。
7. 代表ではないので申請したのは私ではありませんが、対応する方によって不備のポイントが変わるので何度も修正が必要になり手間取っていました。誰が見ても同じ結果になるシステムの構築か、同じ人に担当していただける方がお互い負担が減るのではないかなと思いました。
8. 書類作成、修正が頻雑で神経をすり減らした。不採択であった。公演中止になった舞台の劇場キャンセル金が発生すると役者が可哀想であった為、脚本を差し換え、舞台と他の場所を半々に組み合わせた映像作品いわゆる映画製作に切り替え、劇団制作作品として申請したが、映倫マークの付いた作品が過去に三作なければ、映画部門では却下と言われた。その事は事前に確認していたので、劇団事業として演劇の派生で申請したが、映画部門だと言われ、映画部門では映倫マークの三作がないから劇団事業で…といわゆるたらい回しになる度に書類の訂正追加も数回に及び、挙げ句不採択で非常に辛かった。次の舞台公演稽古と同時進行で、自己資金も尽きましたが、完成目指し予算もないので劇団員が一から編集を学び、出演協力をしてくれた舞台役者さんの気持ちに報いるため二年がかりで編集しています。当方の事情を汲み取って頂きたかった。知り合いのモデルアイドル事務所がロングCM的なショートムービーとアイドルイベント(観客はスタッフのサクラ)の抱き合わせで申請したら簡単に百万降りたと聞いたときには打ちのめされた。文化庁の考える芸術とは何なのだろうと腹も立ったし落ち込んだが、もう考えない事にした。
9. もっと周知をしてほしい
10. 事務局に専門性を持った方が少なすぎる
11. ありがたい制度ではあるが、売上要件等が追加されたことにより、団体のリスクとメリットが釣り合わなくなった。芸術家個人支援に戻してほしい。
12. 事業化の、ハードルが高い。税金が払えない
13. 窓口がひとつなのは良くない。公演規模に応じて複数の窓口や規定を設けて欲しい。商業舞台ばかりが援助を受けるのではなく、文化としての舞台作品への支援であるべき。
14. コロナが理由の取組中止は支援対象外というのは本末転倒ではないのか。
15. この状況で使える助成金がある事は本当にありがたいと感じます。
16. 採択未定での公演準備について、劇団員から不安の声が多く出ていたということはありません。
17. 来年以降も出してほしい。aff無ければ、舞台制作をやめることになります。
18. 事務的な指摘は小出しで行わずに、まとめてしていただかないと、時間的にどんどん遅れていく。審査担当者、コールセンターの担当者によって、指示や回答に一貫性がなく、これ程までに運用にブレのある補助金は、前例が無いと思われる。文化庁に大きな責任がある。

Q5-3. AFF2について思うことをお書きください(19/19) 476 件の回答

1. 収益事業開始届の提出、法人税の支払い、確定申告の提出は任意団体には負担が大きすぎる
2. わかりやすくしてほしい
3. 演劇団体を企業と同じ枠組みで考えていると感じる。利益がほぼ出ない小さな団体は年間の支出が伴う法人登録を躊躇してしまう。実情に沿った制度に改善してほしい。
4. 制作力がないと難しいと聞いています。
5. 申請要綱が難解で手続きが煩雑すぎる。交付決定の承認まで時間がかかり過ぎる。給付を先行し、事業後に調査を徹底するのがいいのではないか。
6. 伝統芸能を守ることに目を向けられていて、新しいことに応援する体制には思えない。ニューディール制作とは規模も理念も劣る。
7. 個人の実演家にもう少し寄り添ったものにして欲しい。申請へのハードルが高過ぎます。
8. 助ける気が全くない
9. アマで関係ないと思っている。
10. 大変ありがたい事業だと思います。ですが申請、報告、いずれも内容の提出が多く、それについて理解すること、作業共に大変な時間がかかり大変な負担です。
11. 大変助かります
12. ありがたいです。
13. 申請手続きがわかりにくく、複雑で面倒。事務負担が大きい。細かいところで差し戻された。
14. 舞台芸術業界に精通した、管理事務局(管理団体)に委託すべきだと思います。
15. 制度としてはとても有り難いのだが、例えば今回から衣装代や小道具代が「今後使えるから」という理由で経費計上できなくなった。今後使うというが、通常着るような衣装を購入していないし、小道具に関しても特殊なものは今後の使用を考えていない。こういったものも対象にして頂かないと、劇団や個人での負担が大きくなってしまう。すべてレンタルや外注は注できるような大手だけを対象とするのではなく、小劇場にも目を向けて欲しい
16. これから申請の予定だが、受諾されなかった案件が多いと知り心配です。
17. 度重なる修正依頼に疲弊した。システムや思想が実演団体の実態とかけ離れていて、残念に思う。
18. 新型コロナ禍の中で、困窮する劇団と観劇機会を奪われる観客(特に子ども達)を繋ぐ素晴らしい助成金制度と思う。是非今後も続けてほしい。
19. 申請手続きが大変
20. 助成が出るので大変助かっているが、手続きがややこしく、劇団で担当になった者は本当に苦勞して申請してくれた
21. 経理手続きが難しく、税理士を要する内容だと感じる。それでは、小規模団体は疲弊してしまう事となる。
22. 現場の実状に見合った制度設計にして頂きたかった
23. 文句を言っている人が多すぎる。確かに難しいところは多いかもしれないが、AFFがなければ公演を行わなかったのか？と思う。
24. 結局国が有利な方向になってしまっていて、申請に負担が多すぎる。
25. 新しい作品を生み出す助けになります。
26. AFF2を知らない

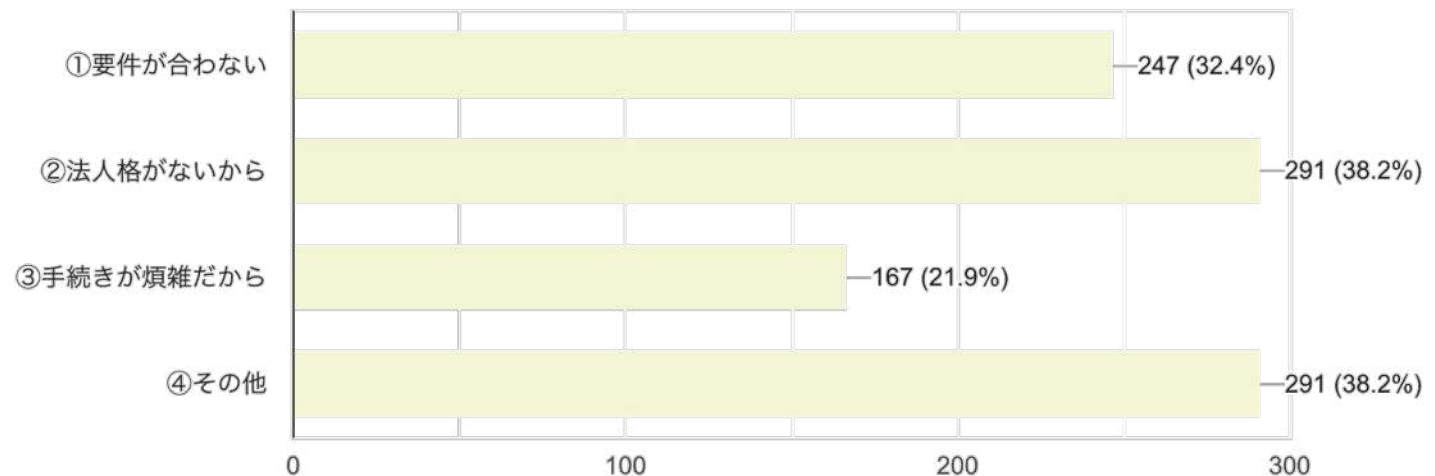
Q 6. 「J-LOD 3」のどれかに申請しましたか(複数回答可)

820件の回答



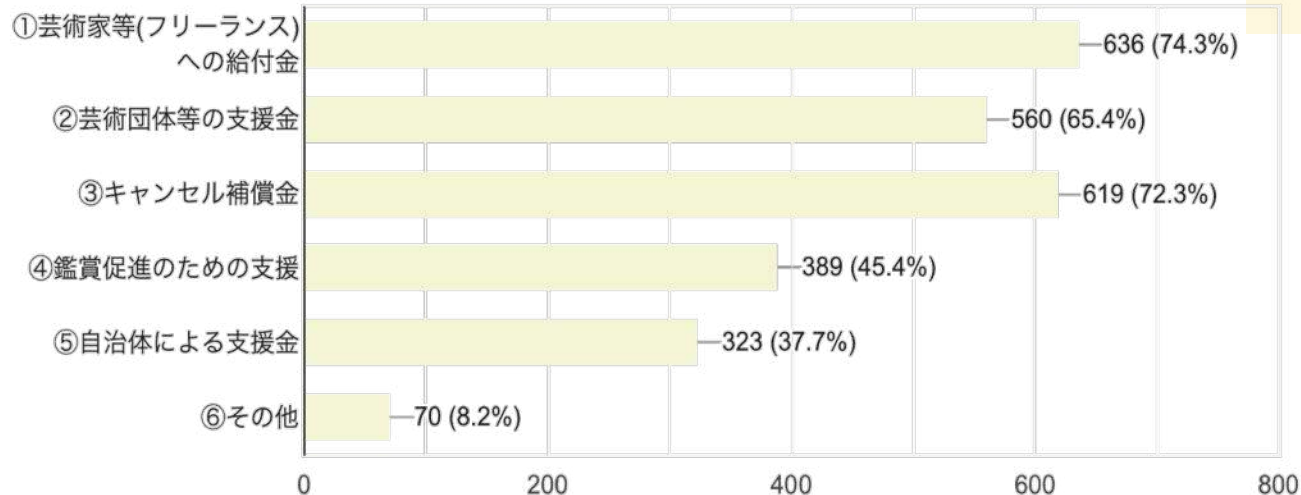
Q 6-2. 「J-LOD」を申請しない理由は何ですか(複数回答可)

762件の回答



Q 7. いま必要と思う経済的支援は?(複数回答可)

856 件の回答



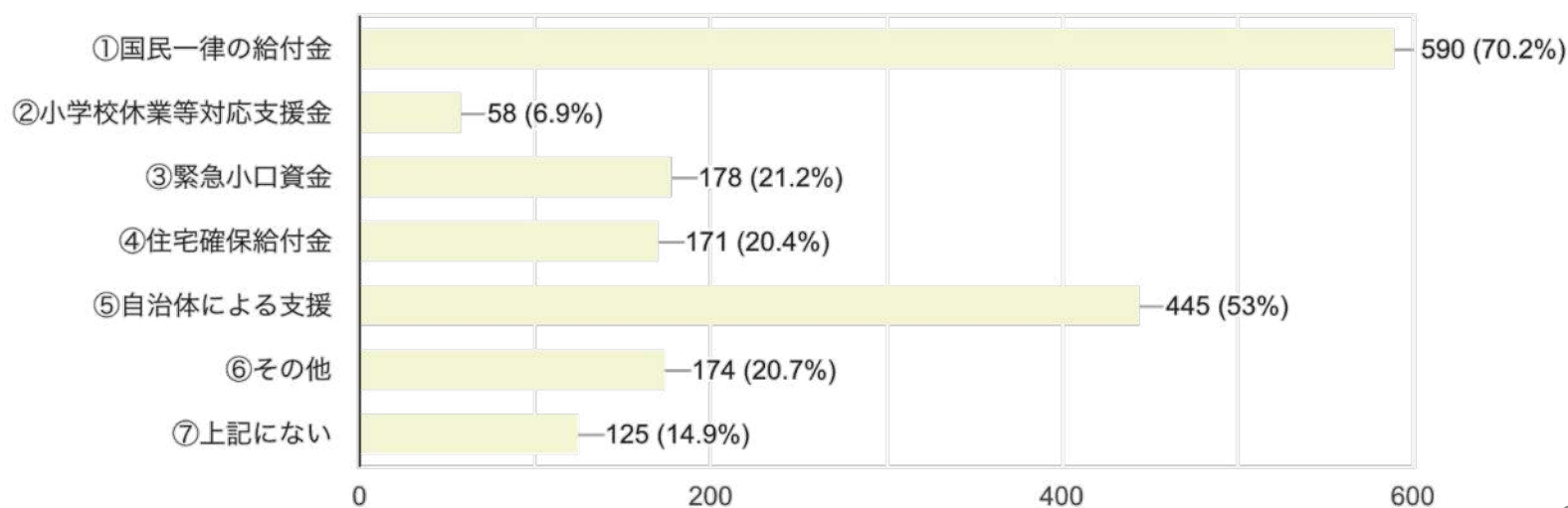
舞台芸術に携わる全ての人の 実態調査アンケート

演劇緊急支援プロジェクト

ArtsWorksJapan

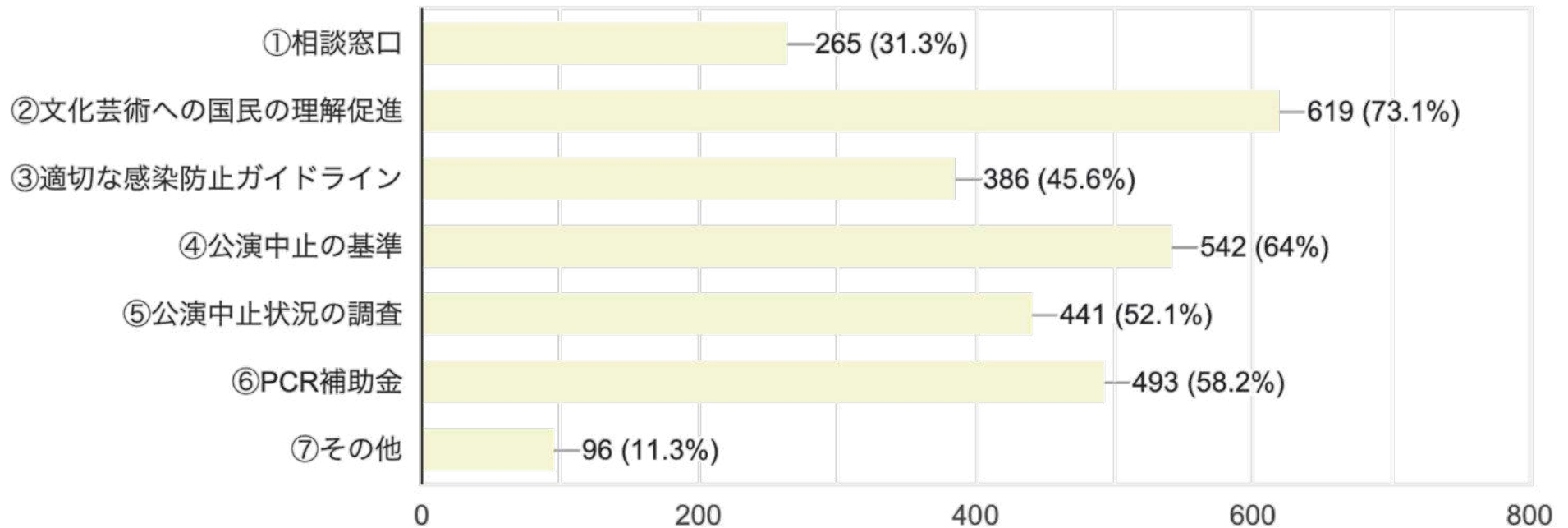
Q 7-2. 今後も利用したいコロナ支援は?(複数回答可)

840 件の回答



Q 7-3.その他に必要と思うものは？(複数回答可)

847 件の回答



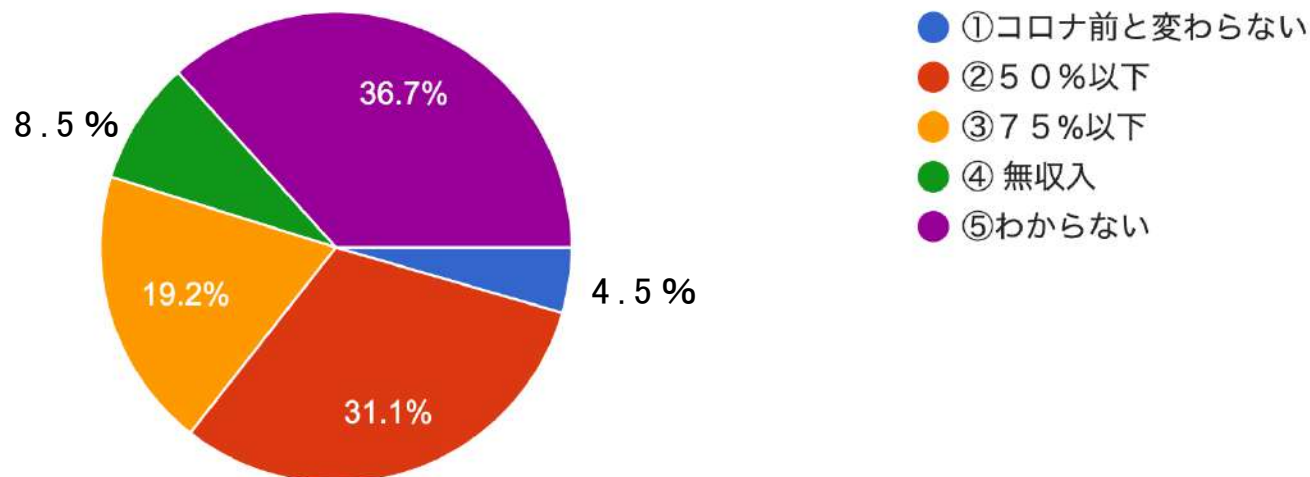
Q 8. 今後の団体収入は、どのくらいになりそうですか

826 件の回答

舞台芸術に携わる全ての人の
実態調査アンケート

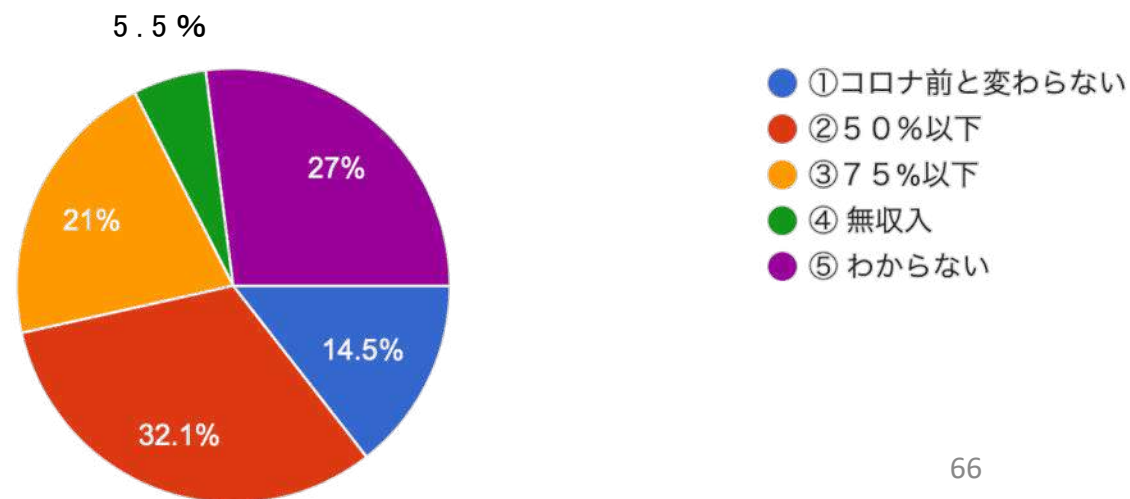
演劇緊急支援プロジェクト

ArtsWorksJapan



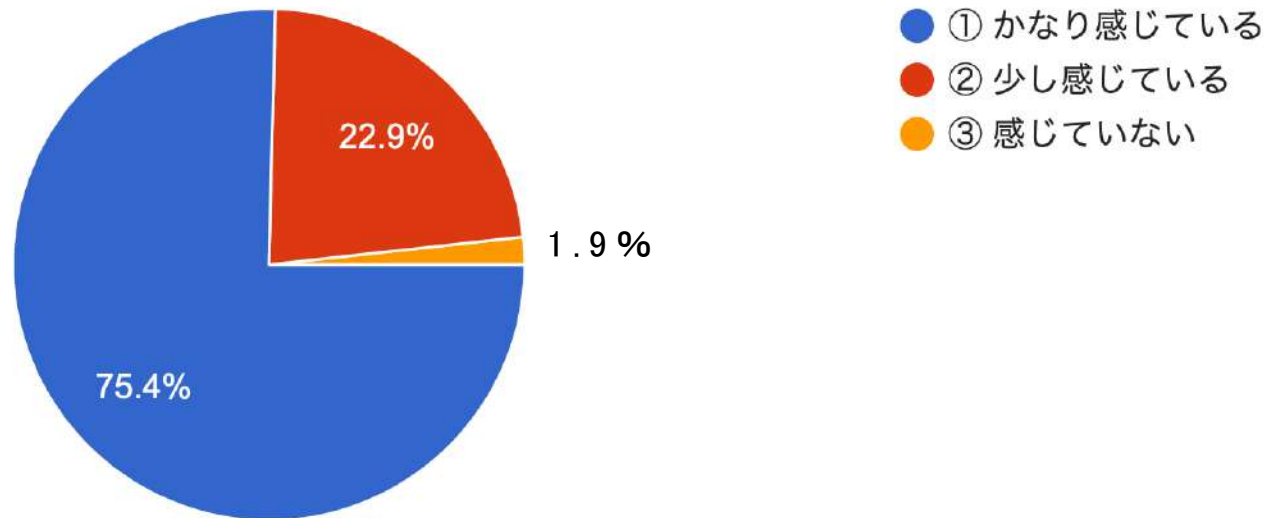
Q 8-2. 今後の個人収入は、どのくらいになりそうですか

858 件の回答



Q9. ストレスをどれぐらい感じていますか？

862 件の回答



Q10. いまの状況で思うことをお書きください(1/26) 566 件の回答

1. 不安しかない。
2. 公演中止になった場合、補償などがなく、マイナスになる不安を抱えながら「公演を素晴らしいものにする」という気持ちのみで稽古を進めていくのは死活問題にも関わり、あまりにも厳しいものがある。
3. 上記に書いた通り、もう国や国民、業界に何も望みません。このまま業界が衰退していっそ無くなればいいと思います。
4. しんどい
5. 辛い
6. 芸術活動が後回しにされている現状を変えたい
7. お客様へ作品は届けたいので届け続けているが、会社の資金も個人の資金も減る一方でどうしたらよいのか分からない。
8. 文化は不要不急でなく、かかせないものです。
9. 国は企業と癒着しており国民を助けない
10. 毎日死のうかと思うくらいには追い詰められている。
11. 第七波が来て特に、まともに公演できている作品の方が少ないほどに感じていて本当に心が折れる。自分も今稽古中だが、感染者が出て稽古が止まってしまったり、公演も走りきれないことを常に頭のどこかに置いている。そうなった時、どこまでのギャランティが保証されるのかもわからない。主催側も、ほとんどギャンブルのような気持ちでしか公演を打てないのではないかとすら思える。2020年ごろはアンダースタディを立てている現場も見かけ、定着するかと思ったが、今はわたしの周りでは見かけなくなってしまった。金銭的負担が大きいわりに、解決に繋がらなかったのかもしれない。ウイルスは無差別だし、ひとりに感染すればうつるものだから、対策をこうじるにも限界がある。とにかく、中止になってもお金の補償があるだけで、打撃が違う。またやれる。ひとまず続けられる。生活もできる。今はそれしかないのではないか。
12. 最低限の生活をやりくりするのに精一杯で、多額の自己資金を要する公演を実施する気になれない。
13. 実際は感染者が出たら人を差し替えて、すぐPCR検査して、無理な続行をするところが出てきている。補償がなければそうだろうが、現場の人間の神経は擦り減る一方である。
14. どれだけ気をつけても自分が感染してしまったら周りに多大な迷惑を掛ける事が怖い
15. AFF、J-LOD共に、現時点でキャンセルになってしまった公演への補助が皆無。これでは、リスクばかり大きくて、公演を打つことが難しい。それを改善してほしい。
16. 仕方ないことだとは思いますが、時代に則した働き方は大事だと思うので、考えていかなければいけないと思う
17. 今年に入り、助成金の募集が急に減ったように思います。昨年あった助成金が復活しないかなと思っています。
18. いつまでこの状況が続くのか、そして、今後、日本がより文化的に豊かな国になるのはどうしたらいいのか、芸術に携わるものとして自問自答しています。
19. 演劇はコロナと相性が悪く悪い芸術だと思う。でも、演劇はやめない。
20. AFF2事務局のいい加減さへの恨みがとてつもなく大きい。
21. 自分に今何ができるのか、わからない。一つでも多くの公演が安全にできるといい。
22. 未来を感じることができない状況で心の疲弊はかなりのものです。自分より若い人々を少しでも救っていきたい。
23. 日本において演劇は必要とされていないとすら思えてくる確かに海外諸国と比べると重視されていない文化ではあるがコロナ前ですら日陰物だったものがさらに追いやられている。やりたいこと、夢を追いかけることは罪なことなのか。
24. 団体の経営がかなり苦しい。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(2/26) 566 件の回答

1. 不安しかない公演中止による負債は小さな団体にとって、自殺者も出かねない深刻な問題だと思う。
2. 若手の経験が積みにくい状況だと感じている。また舞台と映像でコロナ対策の厳しさが違う(映像の方がマスクやフェイスシールドがゆるいところも多いと感じている)ことも違和感がある。
3. 公演キャンセルが多すぎる。それに対する国の政策も支援もなく、国会も開かれない。最悪。
4. コロナウイルスの変容、それに対する対処の迅速な変化対応を希望。
5. とにかく感染者を減らすことが、社会全体のリスクを減らすことだと思う。社会の中にしか表現やエンターテインメントは存在できない。社会が成り立っていないと感じる。
6. リスクを考えると、このままでは公演は不可能
7. 先行き不安
8. いつ誰が感染してもおかしくないという状況。公演キャンセルになった場合や降板になってしまった演者にもギャラがいくようになってほしい。
9. 緊急事態宣言が出されなくてもこれだけコロナが流行っているとされたら劇場に足を運ぶお客さんが格段に減るのは当たり前。コロナ対策は必須だし社会的な目から客席数を減らさざるを得ない状況でもある。なのに緊急事態は出されないから一切の支援は受けられない。1人でも無症状だったとしても陽性が出たら終わる。莫大な赤字。辛すぎる。今が1番辛い。
10. 映画館、祭り、その他にも人が大勢集まる事が舞台以外にも多く行われています。その中で、舞台演劇、音楽ライブなどに多くの批判が集まるのは、やはり国民が皆興味があるもの、好きなものには甘く、興味や理解が浅いものは蔑む風潮があるのだなと感じております。ハッキリ言ってクソです。
11. うまく付き合っていくしかない
12. 演劇をこれ以上つukれない
13. 騒ぎすぎ
14. 業界の一部の方向性に疑問を感じている。関係者や観客の安全を第一に判断してゆくべき
15. 本当に続けている意味はあるのかどうか
16. 助成金が、支援のために設けられたと言いながらも、実状にそぐわないと感じます。コロナの感染が出てのキャンセルが相次いでいるのに、その場合に手を差し伸べてもらえないのであれば、意味がないと思います。
17. 芸術団体が何も守られていないと感じる。
18. 閉塞感でいっぱい
19. 公演が打てるかどうか博打ようになってきており、演劇がやりにくい状況になっている。また、公演ができて途中稽古が中止の期間ができてしまったりして、不安を抱えてしまう。
20. 政治家の給料を増やすくらいならこちらに還元してほしい。
21. コロナとの共存を明確な基準を持って考えるべき
22. 制作者としては仕事が増えていることで焼け太りしている面もある。しかし体力と精神的には良くない状況が続いており苦しい。
23. 何に対しても金銭と安全・安心が必要な時代になっているので、補助金や助成金のシステムが作れないなら、金銭が必要のない(とても少なくても)芸術を発信できるシステムを確立してほしい。金銭が必要なシステムを変更できないなら、給付などの措置を早急に、そして納得できる金額で実行してほしい。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(3/26) 566 件の回答

1. この状況がいつまで続くのかということ。おそらく今年まではAFFなどの補助金があり、事業収入がに支払いができるが、来年以降がどうなるのか全く読めない。コロナ禍で離れた観客は未だ戻ってきていない。業界全体が安心して仕事をしていくスキームがあるとよいのだが。
2. また演劇をしても、世間から白い目で見られたり、感染に怯えたり、生で見ることに抵抗を覚えられたり。コロナ禍によって受けた文化芸術の損害は、金銭ももちろんだがもっと大きいものがある
3. 先に希望を感じられない
4. スポーツでは声出しOK、なんでもあり感なのにことさら芸術となると急に締め付けきつくなるのはなんなんでしょうね？
5. 公演中止の保障をすべきだ。そして、公演や団体の規模を問わず、公演促進の保障をすべきだ。
6. もっと素早い対応、簡易的な申請システムがあるとよい
7. キャリアのある立場はコロナ禍を耐え忍ぼう、もしくは共存しようという対応が可能。だが、これから新しく表現活動しようという未来の芸術界を担う立場の人間にとっては非常に厳しい状況。
8. 普通に公演したい
9. このままでは辞める人がさらに増えていくと思う。若い人がこの世界に入ってくれない、非常に危機的状況であると思う。
10. 舞台興行をするという事は、親戚友人仕事仲間からかき集めた何百万というお金をラスベガスで一発賭けをする、という意味です。
11. これだけ陽性者が増えると、座組みの中で誰がなってもおかしくない。だとすると、どんな手立てがあるのか。運を天に任せるだけでない方法を見つけない。とは言え、取り急ぎは団体の金銭的負担の軽減が急がれると思う。
12. 舞台美術家です。コロナ前に比べると確実に公演企画数自体が減っていて、美術の無い状態での公演も増えました。このままでは手で物を作る人がどんどん居なくなると危惧しています。
13. どうして生きていられるのか
14. 生活することに必死になってしまうのと、先のことを考えると絶望する
15. 客は来ない、不謹慎だと言われる、いつ中止になるか分からないなど、不安が大きい。
16. 一年先の出演予定が決まっても、中止になるかもしれない、その際またどう生活する為の資金を得るかの心配、単発の小さな仕事でも、無償でも出演出来ればという自分の価値を下げ続けている現状に悲しく感じています。
17. 演劇界は感染症の認識がだいぶ遅れてると思います。もっと本質的な感染症の勉強をそれぞれにちゃんとした方がいいです。劇場も人数制限や感染症対策の規定を設けるなら金額やキャンセル料など配慮すべき。
18. 小劇場での公演の場合は特に準備期間、稽古期間の時給というのは演者には発生しない。1ステージ毎の報酬と公演でのチケットバックが収入源なのに、そもそも公演が中止されロングランもできない後がない状態では生活ができない。請求は変わらず追いかけてくる。アルバイトをしていた方が生きていける。ただでさえ俳優というのは「好きだから我慢できるだろう」と、押しつけられるが生業が無くなったら何も我慢できない。
19. やっていけない
20. まずキャンセルになった公演に対しての支援を早急に広くするべきです。緊急事態宣言などがなければ対象にならないというのは、現状の政府の感染対策からすればすれば、あまりにも酷い
21. 公演のたびに綱渡りで、直前で中止の判断をしなければいけないのではないかと思います。創作活動する事は、精神衛生上非常に辛い状態です。コロナによりやむを得ず講演を中止しなければならないときに適切な補償を希望します

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(4/26)

566 件の回答

1. やる側と観る側の温度差を感じる。無理矢理やっていると感じる時もある。仕事が決まっても中止になったら収入がなくなると思うと日常生活も窮屈になりストレスが溜まる。健全な創作とは程遠い。
2. 制度を作る人達も、演劇をやってみては？
3. 熱が出たら休む。それだけでいいはずなのになぜ熱が出ただけで公演が中止になるのか。稽古中もマスクをほぼ強要していますがこれがどれだけ体に悪い事かをもっと考えた方がいい。何を守っているのか。役者の健康を守りたいなら過剰な感染対策をやめるべき。
4. チケット代の相場が軒並み高くなっていることがとてもツライ。チケット代を上げないと劇場費、人件費を払えないのはコロナ禍になってより顕著になっているが、チケット代が高い分客足は遠のく。演劇文化離れが著しいと21年、22年は特に感じる。たくさんの人に観て欲しいものを毎回作ろうとするが、チケット代を上げざるを得ない状況、そしてその影響で客席が埋まらない状況は国が文化の根底を支えてくれない限り改善されないと心底感じている。
5. とにかく、仕事が減り、給料も減り、物価は上がり、固定費は変わらないか上がり、生活がままなりませんし、収支のバランスが合いません。消費税・年金等の負担を下げしてほしい。事務手続き等を簡略化してほしい。
6. なぜ自治体で警戒するように注意を促しておきながら補償が全くないのか。無責任。
7. 生きる意味が無くなった
8. 演じる側も観劇する側も漠然とした不安のなかで上演されており、なかなか気持ち切り替わらない
9. 正直、コロナ禍で制作業務は格段に増えており、収入は上がっている。だから、全てを後ろ向きに考える必要もないかなと思う。如何に前向きに捉え、賢く生き抜く術を身につけるかではないだろうか。
10. 普通の仕事をしている人たちと、演劇人のコロナに対する対策に温度差を感じる。
11. コロナが原因で仕事がキャンセルになったら国がその費用を負担するというシンプルな補償が欲しい
12. 演劇関係者で集まっているときと、プライベートの友人たちとのコロナに対する感度が180度違って、何が正しいのか、何を選ぶべきなのか、自分自身の心が分断されていくようで苦しい。演劇以外の友人を失いそう。これはつまり、一般のお客様と演劇人の感覚の乖離にも繋がるかもしれない。どんどん内輪だけで行き来し合う文化活動になりそうで悔しい。
13. やりたくてやっているのに文句は言えないが、政府が支援すると発表している制作があまりにも杜撰ではある。然るべき人間には支援金を早急に支払うべき。
14. コロナで上演リスクが上がり客足も離れている。このままの状態が続けば芸術団体がどんどん潰れていく。
15. 座組の誰が感染してもおかしくない状況で、国からの補償もなく舞台を作ることは本当に大変。
16. いつまでも続くのか…
17. 一刻も早くコロナが終息して、マスクも外してコロナ発生する前のように、気を使わず稽古や公演をしたい。
18. ガイドラインもなく補償もない中、個々の正義感や判断にだけ責任が求められているのは、共同体のあり方として不合理です。
19. 感染拡大の煽りを聞くたびに悲しくなる。コロナ当初と同じでエンタメは不要不急だという認識は全く変わっていないし、国も変える気がないように感じる。若手も全く育たず、こうして文化は衰退していくのだと実感している。
20. とにかく負担、ストレスを抱えながら取り組むのは限界。
21. 重症化した場合のみPCR実施、濃厚接触者は排除(無症状の場合)となることを希望します。
22. 先行きが見えず不安。インフルエンザと同等の扱いに出来るよう治療薬の開発に期待している。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(5/26)

566 件の回答

1. 世の中の動きとあまりにもかけ離れている。市場は冷え込み、顧客は戻って来ず、赤字だけが增える
2. 社会を動かす事を考えると感染者が激増するのはある程度仕方ない部分はあると思います。ただ、増えた事に関心を持つて国民は現在少数だと感じてしまいます。エンターテイメントを提供する側がいくら感染予防を徹底していても、移動中の電車や街中で感染している可能性がかなり高いです。個人のモラルに任せる部分が多い今の政策だと状況が好転する事はないと感じています。
3. 演劇関係者以外の観客がコロナ禍を経て大きく減少しているように感じる。演劇に魅力を感じているからこそそれを伝えるハードルが以前に増してさらに高くなってしまった。
4. 第7波で公演中止に追い込まれた団体にご支援を！
5. いい加減コロナを怖がらないでほしい。コロナは今後もあるものだし、付き合っていくものだと思う。いわゆるただの風邪で何故中止や延期を繰り返さないといけないのか。
6. 今、自分から進んで舞台の活動をしたいとは思わない(既にオファーを受けているものは除く)。中止リスクの少ない映像分野や、他の仕事で収入を確保しながら状況が良くなるのを待ちたい。
7. 第一波から2年たち、まだ中止と補填の話をしている段階なのが本当に信じられない。感染者発生による公演の中止に伴う補填については早急に明確な制度化してほしい。また、コロナ感染者増加していても、経済促進を理由に一般企業などの活動を継続させるという方針なのであれば、文化芸術にも同様の配慮は必要で、感染者がある程度出ても公演を続けることができないと、今後は厳しい。
8. 地獄。
9. 早く補助金の決定が来てほしい。9月公演を中止にしたくない。コロナ禍という言い訳で全ての人が団体をたたける状況と怠けられる状況を何とかしてほしい
10. 役者は本当にきついです。今舞台の稽古中ですが、公演中止を覚悟しながら稽古をするのは辛いです。
11. 公演を中止しても製作費が保障される制度が必要です。
12. コロナによって、演劇活動を応援してくれる人が目に見えるようになったことは、個人的には良いことでした。ただ、コロナ禍を乗り越える基礎体力がない、30代以下の劇団主宰者は苦しいのではないかと想像します。
13. いつまでこの状況が続くのだろう。いやもう以前のエンタメ業界には戻らないだろう。と思う。
14. 経済を回すとういことと、演劇公演を実施するという事は必ずしも同義ではないと考えるが、同じ基準で論じられる。公演を打たないという選択に対してなんらかの助成が欲しい。リスク承知で、助成金を得るために公演企画をたてなければならぬことは重荷である。
15. 俳優や団体間でのコロナ対策の認識の違い、安全策のとり方や誠実さに違いを感じる
16. 今の仕事の脆弱性を痛感、政治の生活への影響を実感。
17. 第七波になって、公演を行う側としてはこれまで以上にリスクを感じている。AFF2などの補助金は事業を行い、攻めて出ることが大きな目的のひとつになっている。しかし、現在の誰が感染してもおかしくない現在の状況では、民間の小劇場のような小さな小屋での集客は、観客の忌避感もあり、難しい側面もある(一方で大きなネームバリューのある劇場は完売の公演が多いのも特筆すべき点だと思う。安心感があるのか?)。また、公演中止や延期のリスクもあるが、その場合の救済の措置はない。攻めても引いても難しい板挟みの状況にある。このままでは、今まで日本の演劇を支えてきた民間の小劇場文化はなくなり、一部の商業演劇と税金で運営される公共ホールの演劇事業しかなくなってしまうのではないか。支援がなくなった演劇文化の先細りを懸念している。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(6/26)

566 件の回答

1. 将来的な不安が拭えない。
2. 公園に関して全てが自己責任になっていて支援も減ってきている中、中止のリスクは高まっていて、昨年・一昨年と比べても今年が一番キツイ。
3. AAFは企画しないと補助金が入らない。だからプロデューサーである私が企画し、申請しないと、周りの仲間たち(俳優やスタッフ)にお金が出ない。お金を回すために企画し申請しています。この時点で金銭面の責任をおうプロデューサー個人の負担は大きいのに、中止の金銭リスクもプロデューサーにのしかかっている。つまり、周りの為にいろいろ推し進めても、公演中止の恐怖と闘っています。もうこの先、一つでも中止になったらしばらく演劇活動は出来ないかもしれない、と思っています。キャンセル支援について、小屋代だけでもいいので、なんとか補助金の制度が改善されたらと願っています。
4. スタッフ、キャストの中に陽性者が出たら全部中止の現状がかなりきつい、劇場にもお客様の足が以前よりかなり重い。この中で公演をするストレスはすごく正直きついです。
5. 公演中止になった場合の金銭的恐怖のため今後演劇を続けていけるのかとてつもない不安にかられている。
6. 気持ちが前を向かない
7. 公演負担がチケット代の高騰につながり客脚が増々遠のき、まともな演劇の存続が危うい。
8. 政策が何もしてきていないと思う。
9. 感染状況は拡大するも、社会の中では緩和された空気であり、内部感染発生から、その後の活動自粛の影響が大きい
10. 統一教会とか騒いでるより、コロナで医療逼迫とか騒いでるより、アメリカやヨーロッパのように柔軟になってほしい。このままだと熱を出すだけで公演中止になります。
11. 生活するのが厳しくて余裕がない。
12. 公演中止にしたいが補償が出ないのでは走るしかなく、中止の恐怖と日々闘っておりもう限界です。来年は舞台をやるのはやめましょうという話になっている。損失も大きく、頑張ってきたが三年目はとても迎えられない。放置することにしたのかと思うほどの無策な政府にも怒りを感じる。演劇という世界を選んだ自分が愚かだったのかと自問自答している。
13. いつまで続くのかという漠然とした不安を感じている。結果として劇場離れが起きており、少し長い上演時間の作品については批判も浴びることがある。とはいえ、誰かはこの演劇に関わることで給料を得ているので、それは仕事として認められない、コロナ禍ではやらないという選択も考えることは難しい。来年にはもう少し落ち着いてほしいとは願うが、恐らくまだまだ混乱は続くのだろう。劇作家協会の丸尾さんがTwitterでも発言されているのを見かける度に頼もしく思うこと多くございます。引き続き声を届けて頂けると幸いです。
14. とにかく文化支援のお金を多くしてほしい、それで救われる人が何万人と出る。
15. 舞台公演の中止がコロナ感染により相次ぎ、舞台関係者は疲弊しています。来年も公演の予定は立てているものの、国からの支援がなければ興行として成り立たないという不安があります。この状態では若い人たちが演劇を継承していくことは厳しく、劇場も成り立たなくなります。演劇という文化を絶やさない為にも支援をお願いしたいです。
16. 公演を行うにあたり、やるべき対策が出揃ったことで、様々な団体の公演が増えているが、中止になる公演も増えている。これから更に多くの劇団が倒れていくのではないかと。
17. 地方では演劇だけで食べていける事もなく、演劇から派生した仕事もコロナで激減。リモートに対する補助金があっても本場の演技表現はリモートで学べないのが分からない人達とか、リモートでリーディングとか価値は無いと思う。のに、そこに群がってやってる気になるのは良くないと思う。そんなだから質が下がるのに。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(7/26)

566 件の回答

1. 濃厚接触者にもなれないので、家族にも負担をかける。会社のように補償がないので、自分がいくら気をつけていてもどうにもならない歯痒さがある。
2. 表現する人への資金が欲しいです。
3. 上演決行するには覚悟を要し、結果は賭けでしかないことは仕方がない事だと思います。
4. 客席数の間引きのため、チケット単価が上昇。より、舞台から離れていく人が増えると予測します。
5. 生活維持できるか 仕事が維持できるのか不安
6. 公演中止による金銭的、人的負担が大きすぎる。一刻も早く治療薬の開発等を。
7. 社会全体の不景気・自粛の風潮で、芸術鑑賞などの娯楽に割くお金や気持ちや時間が、なくなってきているように思う。我々は娯楽の提供を仕事にしているから、仕方ないと思うけれども、みんなが好きなことを満足に楽しめる世の中に一刻も早く早く戻って欲しい。
8. 俳優として、出演先がないこと、また、演劇関係者と知り合う機会がないことに焦りがある。
9. マスクしての稽古がストレス。
10. 演劇団体や劇場の淘汰が行われて、業界全体がシュリンクするのは避けられないと思うので、そこをポジティブに受け止めて活用し、DXやハラスメント防止の御旗のもとに、既得権益者や古い体質の人々との入れ替わりを図って欲しい。
11. 友人知人の公演が続々と中止になっています。それまで積み上げてきたものが一瞬で壊れてしまう虚しさ、その虚しさの中で押し寄せる残務処理と支払いの山…。一個人や一団体が頑張っただけでどうにかなる状況はとっくに超えています。早急に、個人レベルまで行き届いた金銭的サポートが必要です。
12. 生きるの大変
13. 日常生活に制限がないのに公演ばかりが陽性者出る度に即座中止で辛い。
14. いつ中止になるか分からない=いつ収入が無くなるか分からない恐怖で押しつぶされそう
15. 生活への不安が、日に日に大きくなっていく
16. もう来年からは自分で企画する公演を打てないと考えています。
17. 思うように行動出来ず。
18. 陽性者が出たら公演を中止しないといけない流れをかえたい。どう気をつけても感染の可能性はあり、中止になった場合の補償もなく、不安。
19. 実演家と観客の距離が遠くなった。心理的という意味ではなく、イベントの開催機会減少や観客席の静けさが寂しいのである。
20. もう、ダメかと、思うがやらないといけない
21. 新型コロナウイルスに対して思うことが個人によって違うことで、カンパニーによって感染対策等にばらつきが出てしまい不安につながるため、ガイドラインを整えてほしい
22. 補償が少ない
23. 国民のコロナに関する認識がバラバラ。政府や自治体、文化庁などの省庁が「こういう方針」ということとともっと打ち出して、国民が一致した方向性を持てるようにしていただきたい。
24. 行動制限をしてきちんと補償すべき、感染拡大すると経済はまわらない。政府が責任ある対応をとるべき。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(8/26) 566 件の回答

1. 濃厚接触者にもなれないので、家族にも負担をかける。会社のように補償がないので、自分がいくら気をつけていてもどうにもならない歯痒さがある。
2. 表現する人への資金が欲しいです。
3. 上演決行するには覚悟を要し、結果は賭けでしかないことは仕方がない事だと思います。
4. 客席数の間引きのため、チケット単価が上昇。より、舞台から離れていく人が増えると予測します。
5. 生活維持できるか 仕事が維持できるのか不安
6. 公演中止による金銭的、人的負担が大きすぎる。一刻も早く治療薬の開発等を。
7. 社会全体の不景気・自粛の風潮で、芸術鑑賞などの娯楽に割くお金や気持ちや時間が、なくなってきているように思う。我々は娯楽の提供を仕事にしているから、仕方ないとは思いますが、みんなが好きなことを満足に楽しめる世の中に一刻も早く早く戻って欲しい。
8. 俳優として、出演先がないこと、また、演劇関係者と知り合う機会がないことに焦りがある。
9. マスクしての稽古がストレス。
10. 演劇団体や劇場の淘汰が行われて、業界全体がシュリンクするのは避けられないと思うので、そこをポジティブに受け止めて活用し、DXやハラスメント防止の御旗のもとに、既得権益者や古い体質の人々との入れ替わりを図って欲しい。
11. 友人知人の公演が続々と中止になっています。それまで積み上げてきたものが一瞬で壊れてしまう虚しさ、その虚しさの中で押し寄せる残務処理と支払いの山…。一個人や一団体が頑張っただけでどうにかなる状況はとっくに超えています。早急に、個人レベルまで行き届いた金銭的サポートが必要です。
12. 生きるの大変
13. 日常生活に制限がないのに公演ばかりが陽性者出る度に即座中止で辛い。
14. いつ中止になるか分からない=いつ収入が無くなるか分からない恐怖で押しつぶされそう
15. 生活への不安が、日に日に大きくなっていく
16. もう来年からは自分で企画する公演を打てないと考えています。
17. 思うように行動出来ず。
18. 陽性者が出たら公演を中止しないとイケない流れをかえたい。どう気をつけても感染の可能性はあり、中止になった場合の補償もなく、不安。
19. 実演家と観客の距離が遠くなった。心理的という意味ではなく、イベントの開催機会減少や観客席の静けさが寂しいのである。
20. もう、ダメかと、思うがやらないとイケない
21. 新型コロナウイルスに対して思うことが個人によって違うことで、カンパニーによって感染対策等にばらつきが出てしまい不安につながるため、ガイドラインを整えてほしい
22. 補償が少ない
23. 国民のコロナに関する認識がバラバラ。政府や自治体、文化庁などの省庁が「こういう方針」ということとともっと打ち出して、国民が一致した方向性を持てるようにしていただきたい。
24. 行動制限をしてきちんと補償すべき、感染拡大すると経済はまわらない。政府が責任ある対応をとるべき。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(9/26) 566 件の回答

1. 演劇とコロナに対する現時点での日本の体制は合わない。
2. 自力での劇団公演復活はもう無理なのではと思う。
3. withコロナへの準備と覚悟は進んでいるので不安を煽る行政発表やメディア報道をやめてほしい
4. もともと活動していたベテランしか今は興行する体力はないと思います。
5. しゅさ、プロデュース、制作をしています。関わっている演者やスタッフさんの事を思うと、簡単にキャンセルや延期はできません。補助金などを駆使してあの手この手で開催にはこぎつけました。しかし、肝心のお客様が来ない、チケットが売れないという現実があります。テレビで感染拡大をあおられれば、チケットは全く売れません。キャンセルも多数発生しました。補助金で公演はやれましたが、対象経費のみの支給なので弊社に残る売上は皆無、キャンセル、返金をすれば赤字です。コロナ渦の2年、役員である自分の給与はゼロ、多額の借入をしました。もうすぐ返済が始まります。先のみえない日々恐怖しかありません。
6. コロナは仕方のないこととはいえ、芸術への関心が減ってきていることに問題があると感じます。配信公演という便利なツールはあるとはいえ、そもそも演劇という生
7. 公演が中止になったばかりでまだ何も進められない。
8. 主催者の資金が無く、スタッフが低価格でやるしかない状況。
9. 元々海外に比べて日本は演劇や芸術への理解や保障が低く、ただでさえ厳しかったところにコロナが起こった。公演中止等でお金がどうにもなくなり、演劇をやめる人や心を病む人を沢山見てきた。自分も常に不安で悲しい気持ちが続いており、アルバイトにも支障が出ている。こんなのがいままで続くのか。
10. コロナに対する政府の甘さが気になる
11. 演劇を続けるのがあまりに厳しい現状です。稽古中でも感染対策や、お客様へのアナウンス、対応、いつ陽性者がでるか従来より作劇以外の負担が増えています。公演前から助成金の申請や公演中止を鑑みた申請をするのが、大変手間で、規模の大きくない団体ですと、助成金の申請まで手が回らない状況です。個人向け、簡易な形での、給付金や助成の再会を強く望みます。
12. 演劇界と普通の社会とのコロナの気に仕方というか金銭的なリスクが違いすぎる
13. ピークアウトの予測も出来ないまま、国民任せの判断になってしまった感が否めず。伴い、公演開催基準もばらばらで他カンパニーの状況が参考程度になるくらい。メンバーの感じ方も多様で、公演開催か否かを決断することにとってもストレスを感じている。
14. 演劇から離れたら、生活が安定し、メンタルも安定し、演劇ってそもそもあまりにしんどいものだったんだな、と思いました。コロナのこともあります、そもそも演劇界をメンタルや財産を削らずに続けられる環境にしないと、文化として廃れていく一方だと思います。
15. 今はコロナ支援金でなんとか暮らしていますが支援金が切れたときどうなるのか心配ですとにかく
16. 例えば、PCR検査で陽性者がいたら公演中止。発熱者がいたら公演中止という現況の改善が必要かと。中止が必須であるならばその補償制度の充実を願う。AFF2でも、中止に対する補償がないのは改善されるべきと思う。同時に感染対策にルーズな団体も散見される。そのような団体が数字合わせの巧みさで助成を受けたりしているのを聞くと如何なものかと思う。狡猾な人間が得をし、正直者がバカを見る状況に憤慨する。
17. このままでは真面目に活動している芸術団体は潰れていきます

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(10/26)

566 件の回答

1. 演劇活動の衰退を心配している。若い世代に対する舞台芸術の提供の停滞も、とても心配。
2. 最初の緊急事態宣言の後、コロナ禍で活動再開となった2020年秋口から、個人的な感染対策として、公演の稽古初日～千秋楽の2週間後まで、自宅を出てマンションを借りて生活している。既に15ヶ月間と、今後の7カ月間も、マンション生活。現場から自宅の家族へ、家族から現場へ、の感染リスクを考慮して。大きな経済的負担、舞台毎の引っ越しの為の労力負担、諸々かなり一杯一杯。でも何とか続けていきたい気持ちは変わらない……ただ今後いつまでこのような生活サイクルで続けられるのか、不安は尽きない。
3. 演劇の灯を消すな！という旗印の下走ってきたが、今や演劇界の碑が立つばかりだ。
4. 観客と制作側の溝を大きく感じる。まだ力のない団体や、テクニカルスタッフが消えていくのを目の当たりにした。文化芸術への理解や、補助を手厚くして頂きたい
5. 社会全体が落ち着かないと厳しい
6. これだけ感染が拡大すると、まったく無傷で公演できているところはほぼないのではないかと思います。稽古が中断したり、撮影が予定日程にできなくなったり、キャスト・スタッフが変更になったり、演出変更をしたり、枚挙に暇がないとはまさに今の状況そのものです。そこにおいて「今までどおりの公演をやっているだけでは採択しない」「取組を採点して合否を決める」J-LODはコロナ対応の補助金ではないのだなあと痛切に思います。また、自身が感染した際に、責任を感じる必要はないと主催者や劇場、キャストスタッフに温かく支えていただきましたが、感染症発生に対する保証がなにもないことを知っている手前、公演中止を強く言うこともできなかつたですしその後のご請求もしづらい体験をしました。たまたま私には誰にもうつさずに済みましたが、同じような思いをして感染を拡げてしまった座組もあるのだろうと推察しています。
7. 早く三密で「演劇」を楽しめる状況に戻ってほしい。
8. 芸術に関わる個人事業主は特に本当に苦しんでいます。
9. 個人事業者への継続支援金を続けてほしい。また、舞台関係のコロナ対策、上演は、本当に厳しい規則のもと行われているのに、国のコロナ対策は矛盾だらけ。3年も経っているのに、医療体制も整えず、何をしているのかと腹立たしい。
10. 経済的にはもともとどこも安いので、コロナでも実は大して変わりませんが、検査したら陽性者がいっぱい出てきてしまう、一人感染したら確実にうつってしまう第7波はきついです。
11. 会社やお店はコロナ陽性者がでてでももう今は少し消毒すれば、営業しているが文化芸術は一人陽性者が出れば全公演中止。リスクを減らすためとわかってはいるが、精神的にも金銭的にも厳しい。しかも自分のせいで公演が中止になったら精神的につぶれる。
12. 仕事の減少が、コロナだけのせいなのか、単に自分の実力の無さなのか、わからない面もある。
13. 世の中色々変わり、悪いことばかりではないとは思。芸術活動を行う者として、支援策が拓けてきているようにも思う。しかしながら小規模団体にとってはまだまだ狭い門のところもあると感じている。
14. 検査して万全の態勢で初日に向けて準備したところで、ひとりでも陽性が出たらストップ。それは仕方のないことだけれど、せめて補償してほしい。ストップしているのは自分たちだけでなく、まわりを守るため、コロナをなくすためなのだから。
15. 安心安全に活動したい。
16. このままでは演劇が衰退する
17. 自分が芸術活動家であるという自覚と共に、社会の一員なのだという自覚をしっかりと待たなければと思っています。助成金にはとても助けられたので。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(11/26)

566 件の回答

1. 多くの演劇を継続させることを前提とした支援をしていただきたい。
2. 支援金なしでは公演を続けることができなかつたので、そこは大変感謝しております。ぜひ継続をお願いしたく、よろしくお願い申し上げます。また、公演中止の判断をするためのガイドラインは欲しいなと感じております。
3. 歴史や社会に他愛でもっと学ぶべきで、何も感が出ずに周りと同じことをすべきでない。
4. だろうじて上演できているこの状況を取り除くには、もう終息しかないのかなと半ば諦めています
5. 文化芸術、業界全体のあり方が問われていると思います
6. 本番直前マスク有りでの稽古が通常になってしまっているのが残念ですが極まりない。マスクがなければもっと色々な表現を探せたんじゃないかとも思う。
7. コロナの検査基準を見直してほしい。
8. 新しい事業を起こさないと対象にならない助成金は趣旨からかけ離れている
9. そろそろ感染防止のガイドラインをハッキリさせてほしい。必要、不必要なものが入り混じっている。
10. AFF2が本当にAFFより使えない補助金となったため、どうにかしてほしい。その年の予算はその年のうちに、募集は年の途中で交付決定は年の真ん中以降という枠組みの補助金は、公演補助には不向き。継続支援金や公演にとらわれない補助金の施設の方が抜本的対策となりそう。50人の人数制限や任意団体に対して敷いた収益開始届の提出の義務化など芸術団体や首都圏から離れた都市といえない場所での活動機会を否定するような補助金のルールには憤りを覚える。
11. コロナによる活動の場を奪われた役者仲間が辞めていく状況に心から悲しみ。
12. 保証されている方々とそうでない方々がいらっしゃるので保証ウサれてない方々を優先に助けていただきたい。人の生活を助けていただきたい。
13. キツイ。日本では芸術が必要とされていない事に絶望を感じる。本当は今芸術の力が必要なはずなのに。日常から離脱するさまざまな楽しみが必要なはずなのに、それを理解出来ていない。
14. 商業的な、経済の影響だけではなく、文化的損失についてしっかり検証してもらいたい。そして、地域の実情にあった対策を考えてもらいたい。
15. 公演への助成金もとても大切だが、雇用される法人、個人への助成や給付をのぞみます。
16. なんとなくで公演中止にならないよう、ある程度の基準を出して欲しい
17. ガイドラインに沿って稽古を行おうとすると、広い稽古場を抑えなければならず、お金がかかります。ガイドラインに沿った行動をする時に、作品のクオリティを下げずに済む資金援助はとても助かるし、次の作品に取り組む力になります。人の心を豊かにするような演劇作品に取り組み続けたいです。
18. 一公演の中止の損害額がとてじゃないが、負担できる金額ではない。また、得られた収入が激減している。非常に厳しい。
19. つかれた
20. コロナが怖い高齢観客が劇場に戻って来ない。一刻も早い医療の充実と感染の終息、演劇文化の活性化のためのPR、学校公演の公費負担の仕組みをつくってほしい
21. お客様の入るところと入らないところの差が明確になってきた気がします。そして、後者の割合が増えているのが気になります。後は、新しく演劇や団体を始める流れが極端に弱くなった気がします。これは、コロナ前からの流れですが。
22. 今年は演劇活動が出来ると、思っていたのに駄目になりそうで残念です。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(12/26)

566 件の回答

1. 文化の灯うんぬんの前に、個人事業として、会社経営として、事業が成立しないような条件になっていることをまず政府にわかってほしい。感染対策を緩めて上演できるようにしたいわけではなく、損害を一部の人が負うことのない対策がほしいです。しかし、舞台芸術業界自らが、感染対策を緩めて上演できるよう要求するのはやめてほしい(また劇場が危険な目で見られかねない)
2. 家賃も払えない演劇人がいます。自治体から一定の補助があるようですが、国としても考えて欲しい。
3. 仕方ないことと思いますが、いつまで続くのかわからない不安があり、ストレスを感じています。
4. 地域や、団体や、劇場によってガイドラインやルールが違うので戸惑うこともあり、危険と思う団体が公演やライブやワークショップを開催することに関してすごく不安である。
5. 芸術分野における規制緩和の基準を設けてほしい。特に小劇場では一回の中止で劇団の活動ができなくなる。また独自に基準を緩めると批判の対象に遭いやすいのでリスクを避けると興行を諦める団体が増えていく。
6. いつまで同じことを繰り返すのか。何の策もない。感染者が出たらストップ。いちいち感染者をあぶり出す検査をしている。そんなこといつまでもしてたら、何もできなくなるし、お金の負担も莫大なものになる。世の中に疑問を持って、それを問題提起するのが演劇人だと思っていますが、政府や、大衆、マスコミ、文化庁(特にAFF)の言いなりになっているのはどうかと思います。今後特にやってほしいのは、関係者から感染者が出て中止になった場合、国から援助があることです。
7. 公演中止になっても基本的に実働分のみの補填なので、劇場入りしない限りキャンセル代などの補償がほぼありません。無補償でキャンセルされることの経済的打撃の大きさがわかるので、些少ですが自腹で増員さんにキャンセル料を払うこともあります。コロナ禍になってから一番状況が厳しいと感じています。
8. 何が正しいのかわからない
9. マスク強要、検査のゴリ押し、すべてひどい。欧米スタンダードにシフトすべき。
10. お客様との距離を気にせず芝居ができる日が戻ってきてほしいです。
11. 当団体は海外とのコラボレーションをメインで行っているのですが、止めるのか、何とか続けるのか判断するのに勇気と根気が必要である。
12. 中止になるリスクを感じながらも良い仕事をして文化的な火を絶やさないように続けてる方々を見てきていますが、それに比例せず客離れが顕著です。大手の集客目当てのキャストینگ案件では所属している実力派の役者達の力を発揮できる場が減り、内容の質が落ちていくのを感じます。
13. 地方都市での演劇文化の継承はもともと、ほとんど落ちかけの綱渡りだった。その綱が大きく揺さぶられ、落ちていった人たちもいる。悲観ばかりはしてはられないが、楽観視できる要素が一つもない。
14. 虚しさ
15. アーティスト個人に迅速にお金を配ってほしい。公演と引き換えに支援をする、という枠組みでは救えない個人もたくさんいる。支援を受けるためにも煩雑な手続きがいくつも必要で、それはほんとうに弱っている人にリーチ出来るものではないし、結果的に当事者を苦境に追いやっている。とにかく個人、個人を救ってほしい。
16. 稽古場維持費だけで赤字になるので来年、創立58年の自立劇団である当方は解散又は稽古場閉鎖を検討中
17. 難しいところだが、簡単にお金が貰えるとふんでる企画も多い。出しっ放しは良くない。
18. 早く、感染を収束させてほしい。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(13/26)

566 件の回答

1. 自身も、メンバーも感染したが全員軽症であった。シニア演劇の集団で、19名中16名の感染だったにもかかわらず、この結果は不幸中の幸いなのだろう。ほぼ全員がワクチンを3回接種済みだった効果もあると聞く。ならば、今後の感染者確認後の対策、対応も再検討すべきではないだろうか。一律中止しか選択肢がないというのは、コロナ3年の蓄積としてはいかがなものか。
2. 客足、活動を継続できる団体が続々減っていく事がとにかく怖いです。活動の場がどんどん狭くなっているように感じています
3. 演劇公演を企画して、稽古して、いざ本番となったときにコロナ陽性者が出た場合、公演中止にせざるを得ない。経費はほぼ満額かかっているのに、収入はゼロ、何の補償も無い。これでは、上演活動を続けられない。何らかの助成が欲しい。
4. 本当に芸術文化をやっていて良いのかと思う。
5. 国外へ脱出するしかないのでは？
6. 廃業か
7. 中小劇場における若手へのギャランティというものは基本的にチャージバックくらいなものである。稽古期間にはしっかりアルバイトが出来る訳でもないため、なんとか貯金を切り崩しながら生活している。その中で中止や延期となった場合に、今まで削ってきたシフトや交通費などが全て無駄になってしまう。なんの為の犠牲だったのか。なんのための努力だったのか。こんな思いをするのであれば関与する気も失せてしまう。何不自由なく公演が出来る未来がなかなか見えない。
8. 感染爆発が度々続いているので、もう舞台公演に限らず、やれることをやるしかないのかなと。
9. 3年のコロナ禍で何度も演劇活動が止まり、中止になり、もう生きていくことができないくらい生活費にも困っている。演劇を諦めるしかないと思っている。
10. 政府の無能な対策への憤りと、給付金がないことがへのふまんです。
11. 公演中止での不安
12. 中止になった場合、補償がないので確実に赤字になってしまうことへの恐怖がぬぐえません。
13. 観る側も演じる側も、演目が中止になることに大きなストレスを感じている。
14. 演劇に限らず、厳しい状況にある人たちの負担が減るようになっていけばいいと思う。
15. 創作活動を止めたくないという想いと、公演が中止や延期になってしまうかも知れないという恐怖との板挟みで大変苦しい。観客動員数が明らかに減っているにもかかわらず、材料費は高騰し、人件費も従事者の生活の為には下げられない事を考えると、チケット代を上げたり配信や物販で工夫したりして収益を上げようとしても限界がある。
16. 人前に立っての役者、2年以上無し！やはり自分自身の演技力等に不安を感じる
17. 本来、舞台芸術という表現の活動は、自発的な行為だったはず。行政がしっかりしてくれないと出来ないというものではない。しかし、一方で設備や技術によって深みを増すしていた部分は、経済的な要因が影響するので、数年前に私たちが楽しんでいたような舞台芸術を再現しようとするれば、感染症拡大による社会の変化(経済の停滞)に対して自助努力での復興は困難で、公的・金銭的な支援が欲しい。芸術の運動としては、100年分くらいやり直すような感じでコツコツ進んでいけば良い。
18. とにかく、中止の基準を下げてもらいたい。コロナで中止になったら、後からの申請でも本来支払うべき金額位は補助して欲しい。
19. このまま続くのかと思うと不安で仕方ないと感じる。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(14/26)

566 件の回答

1. 2年前に比べたらずっと良い状況だとは思っています。ワクチンがあり、公演をしている作品もたくさんある。ですがやはり見えない不安はとても大きく、もがいて足掻いての日々は疲労が大きいです。
2. 助成金等はとても有難いが、それを担う機関の現場への知識や理解が甘く、利用しづらい。
3. お客さんと作る、舞台は、コロナにもろすぎる。残念でならない
4. 公演への準備、継続をするために不安定な状況、心境で先が見えない
5. 関係者が陽性や濃厚接触者になった時の、団体の金銭的負担が重すぎ、ただでさえ公演直前に公演できなくなるという精神的負担を鑑みると、公演すること自体が自己破産につながるほどのリスクである。
6. 公演自体は予定通り行われましたが、私個人感染者となり降板させられました。降板は当然ですが、コロナに対しての国の施策の不備は問題と考えます。
7. お客さんを劇場に呼びたくても、感染リスク、医療機関への負担を考えると、積極的に声をかけづらい
8. あまりに自分以外の要因(運、コロナの流行時期に振り回される)に振り回される状況がきつい。
9. 出来る対策は全てやっているのだから運任せになりつつあるのが苦しい
10. そもそも政府と分科会の対応が実際に対して不合理的(PCRを抑制し感度の低い抗原検査を重視する、十分な医療体制の確保をせずに行動制限を解除すること等)。そのために感染爆発し死者も増えている状況下で芸術活動を含めた経済活動を促進しようにも無理がある。そして陽性者が出て公演中止にした場合にAAFでも補助がされず補償もないというのは実情に合っていない。また、経済的に成立させることを重視した文化芸術助成はあまりにも取りこぼしが多く、やはり先々この分野の発展には貢献が低減されてしまうだろう。
11. 今後は緊急事態宣言などが出ない状況になるかと思われるので全て自己資金、自己責任になってくると思われます。規制はないが、感染状況が悪くなると客からのキャンセルは相次ぎますがどこも誰も補償してくれず、文化芸術、習い事で仕事をしている私達への影響は今後何年も続くでしょう。しかしAAFや他のコロナの支援金は今年で全て終わりそうでとても恐怖を感じます。
12. インボイスやめろ。頼むから行動制限かけてほしい。経済回せ、文化芸術は自分で選んだ仕事なんだろう？って言われるのはいい加減にしてほしい。
13. 緊急事態宣言下でしかキャンセル事業が助成されないのは大変。
14. 国がコロナをはやく終わらせてほしい。重篤化しないコロナに対して、対応する制度も国民の反応も過剰すぎる。対策を緩めれば批判は避けられないが、長期的に見れば早く脱コロナできたほうが評価もあがるだろうと思う。
15. それでも何でも、できる限りのことをして、踏ん張ろうと思っています。補助金を考えてくださる側もたくさん考えてくださってると思うので、そこに何か、私たちの方でできることがあるなら、本当にしたいです。どうしたらいいのでしょうか？
16. フリーランスで仕事をしていて、以前よりも心身の負担が大きく、守られていないと感じています。衣裳は、組合や協会も無いし、立場が弱いと感じます。
17. 補償や補助が欲しい。このままだと中小の劇団が潰れて行き、大きい劇団しか残らない。
18. 資金力のある大きな団体にばかり補助金を出すのはどうかと思う。
19. 多くな人々が出歩けるようになったと思った矢先の感染増大で、自分は大丈夫と多くの人は思っている。活動、移動を止めることも出来ないし、小さく、家に止まることも出来ない。演劇はいつも目には見えないが、目に見えないところで我々は大きく割り食っている。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(15/26)

566件の回答

1. 感染が広がっているため観客もチケット購入をためらっているように感じました。結局、公演は出演者の中に複数人の感染者が出たため稽古の継続が難しく中止という判断にはなりましたが、上演できていたとしても赤字公演になった可能性はある。作品創作の意義、観客との作品を通しての交流は他に引き換えられないものだと思いますが、上演の時期と感染拡大の時期が重なってしまう事が予想できないため、そうならない事を願うほかは方法がない。
2. 中止や延期への不安を抱いたまま、稽古や撮影に向かわないといけない現状への歯がゆさ。
3. コロナの感染症法第5類への移行をろくにしない、感染状況よりも毒性の強弱を統計情報使って確認して対策を行うことをしない、分科会もやるべきことわかっているのにサボっている。こんなろくでもない政府は解散していいと思う
4. 今回関係者に陽性が出て公演中止になったが、途中中止の場合の補償がない為団体としても個人としても非常に困窮することとなった。陽性者が出た場合の休止判断の明確化及び補償がほしい。
5. 公演を打つための助成金や補助金なのに、他の何かをあるいは無理やり公演を打たないと申請出来ないのはおかしい。事業期間が短か過ぎる
6. 舞台業界は、とにかく幅広い団体への支援が必要です。策がないならばせめてお金での支援をお願いします。
7. 疲れた
8. 治療薬が流通しない限り続くと思うので、国による支援体制が必要。
9. 劇団員それぞれの気持ちがコロナの影響によってばらばらになっているように感じる。元々、顔を突き合わせて話し合っ運営してきたものが、それができなくなり、公演も少なくなり、お互いが何を考えているのか、信頼感、つながりが薄くなってしまった。個人的にもやる気が出ない。
10. 公演中止のリスクの高さを理解されていないことがとても悲しい。公演中止によって、個人や団体がどれほどの損失を被るか現実を知ってほしい。客席での感染リスクが低いことが認知されず、客席が埋まらない。興行するにも中止のリスク、上演できて観客動員少なく赤字のリスク。興行すればするほどリスクばかりが増え、希望が持てない。
11. 文化芸術家活動者に対する支援が薄い
12. コロナ禍になってから、自分の出演作にも人を誘うことが難しくなりました。「人が多いところはちょっと…」という理由で断られてしまいます。映像配信が主流になったことは、唯一の良いことかもしれませんが、音楽の莫大な著作権料など、課題も多いと思います。
13. 的確な基準が何も無い状況で全て自己判断で公演の延期中止を決める事への漠然とした不安が大きく、本来なら演劇と関係の無い事で時間を多く取られてしまい、漠然とした不安が蓄積している。このままでは精神がもたない。
14. この状況で、政治を司る人たちが、コロナについて何も言葉を費やさないことが不満。
15. コロナ禍での公演は、負荷がかかり過ぎていて、続けていくことに困難を感じている。
16. お金やコロナの不安はなるべく無くなって、安心してお芝居できる環境がいいです。
17. 陽性者が出た場合のキャンセルがおそろしくて大人数での公演の企画が博打のようになってしまっているのがとてもつらいです。
18. 突然の中止が頻発しているのに それに対する事前の契約などが無い 第七波になっても行き当たりばったりで 誰にも変えられないんだと期待しなくなっている
19. いつまでコロナを危険視していくのか
20. 体調不良者が出たら中止はやむ無しだが、無症状であれば公演続行できればいいのになと思う。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(16/26)

566 件の回答

1. 生きるのが辛いです。フリーランスへの救済策を下さい。
2. とにかく集客が望まない中、助成金の支援を手広く厚く行って貰いたい。
3. カンパニー内でクラスターが発生した経験があります。毎日の電話、メールに怯え、生活も儘ならなくなり希望が持てない。
4. 演劇界、音楽業界には辛い世の中。
5. 仲間が疲弊していくのに手を貸せない。家族の立場を考えると閉じこもってればいいのかと自身の感染ではない見えない恐怖がある
6. 国としてのコロナ対策を明確にして欲しい
7. 演劇を続けていく気力が薄れている
8. もう、当初とは違う
9. 小さい店の飲食業支援はとてもゆるかったように見うけられた。業種による差別はやめて頂きたい。
10. Q7-2の補助など、すべて2020年までに使ってしまったので、追加で申請できません。できるのかもしれないけど、そのような告知がない。つまり、なんの支援も個人的には得られてない。アーティストをこのような状態にして放置する、それが今の日本の文化レベル
11. 声を上げる力がない
12. 文化助成などの状況が、コロナにより明るみにでたという感じがする。教育機関や公立の劇団やダンスカンパニーが皆無な日本の文化政策はコロナ禍での人材の保護ができなかったように思えるし、一年目は不正受給が多くて、二年目は締め付けが酷いといった印象を受けてる部分もある。スピード感を持って対策に乗り出す姿勢を求める。
13. とにかく国はお金を払わないな、ということ。
14. 若手の自己資金が少ないので、今年に入って20代、30代でやめていく人が多いです。もう少し食い止められないものでしょうか。
15. 国の無策が原因なのに(アベノマスクとか壺(統一教会)らと団結とかろくなことしてないよね)我々がその尻拭いさそられるのってわけわかんない。しかも、納税してるしさ。国葬やめたらどんだけ人間救われると思う？それもわかんないよじゃ終わってるよ。こんな状況で国葬とか、逆にウケる
16. 中止が怖くて公演がうてない、やれるかどうか怯えながらする稽古が辛い。マスクしながらの稽古も難しい。という中で金銭的にきつくなった役者仲間がどんどん業界から離脱していくのがいちばん辛い。
17. コロナで引退したり、死を選んだ人を助ける事ができる世の中であってほしかった。
18. グループ内のコロナ対策への温度差
19. コロナをインフルエンザ扱いにし、PCR検査も必要ないので以前の様な生活に戻すべきだ。
20. 対応が一貫してないように思う。実演家はかなり打撃をうけている
21. 舞台芸術に限らず政府をはじめとする行政機関が指針を示さないところに不満を感じる。
22. 仕事ぐる限りはやりたいと思うが、主催者のリスクを考えると苦しい。また自分自身では立ち上げるリスクは背負えないと感じる。このまま続けていけるのか不安。
23. 上演リスクが大きすぎる
24. 個人単位への特に若い世代への補償が必須です。特に若いスタッフ世代が心身共に潰れてしまいます。
25. 稽古場で感染する事がほとんど。アルバイトを休める様な経済状況ならそれは大きく変わる。
26. 国が伝統芸能だけでなく、ポピュラーな芸能文化に補助金を出すべき、や堂識とずれていると感じる。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(17/26)

566 件の回答

1. 人により信じていることが違うので、対策についてなど話ができない。分断されている、
2. コロナは、大変だし感染の恐怖を抱えながら芝居をしていく事が本当に大変
3. 政府の無策に呆れています。インボイス制度と言い、フリーランスや芸術活動の可能性を潰す気なのだと憤りを感じています。
4. 収益化が可能な大きな団体、イベントだけではなく、小劇場、小劇団(人形劇なども含む)、果ては市民劇団に至るまで、文化活動が行えるようなご支援を願います。資金力のあるところに向けた支援ばかりになり、金がないなら諦めろと言わんばかりの対象を絞った支援は文化の助力となり得ません。対象を広く、判断を早く。
5. 展示に対する補助が少ないのが難儀、入場無料が理由なのは酷い
6. 舞台が軒並み中止になってしまって悲しい。チケットを買うことを躊躇う。
7. コロナを感染症五類にするべき
8. コロナ以前でも芝居で食っていける人はごくわずかだったのでは無いでしょうか？
9. 公演がやれるかどうか、損失を被らないかという不安を解消されないと、先細ってしまうという不安が大きいです。
10. 中止になった公演の団体だけでなく個人の支援をしてほしい
11. 芸術活動への補助をしっかりしてほしい。海外は手厚い。
12. 芸術は生きる力を育む
13. ただでさえ、色んなセーブさせられてるし、収入は、劇団の支援者も減ってきてしまっていて、大変なのと、演劇を観にいけない、演劇をやれない！でストレスだらけ！です。
14. 国はどうせ動きが鈍いのがだから、民意が変わるしかない。コロナが出てもやるべき。
15. 難しいですね。正直、無理をすることはないとは思いますが、かと言って、いつまでも止めるわけにもいかず。
16. 団体によって対応がまちまち。陽性者が居てもその者の稽古を休ませるのみで、告知しない所がある。劇場にお客様が戻ることに、陽性者が減ることを信じたい。集客の難しさ(ノルマ等)と公演中止のリスクが高すぎるため、活動を控えています
17. 辞めずになんらかの形で演劇活動をしたい
18. 芸術家ライセンス制度にして、ベーシックインカムにすべき。
19. 公演すること自体に不安があるのが辛い
20. コロナが始まってから一度しか公演をできていません。助成がない場合は公演を行えません。もし自己資金での公演を企画したとしても、感染によって中止になった場合にはかなりの負債を抱えることとなります。そのリスクを背負って企画するのは正直得策ではありません。このまま解散に追い込まれるのではと考えてしまいます。
21. 他の国では補償があるのに、日本はないのはなぜなのか？
22. 育児しながらの創作活動なので、保育園休園で仕事できない時間が激増しました。その状況でも同じパフォーマンスを求められ、時間が削られたことの補償もない。
23. 積み重ねてきたものが簡単にくずれる。
24. 今後このまま、続けていっていいのかという不安が大きい。
25. 公演中止にしたいくないが、せざるを得ないのが非常に辛く納得もいかない。
26. このような状況下で、演劇は有効だと思いますが、どうしても陽性者を隠したり検査をしない団体が有利になるような状況にあると思います。そのことが演劇が疎まれる要因になると感じます。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(18/26)

566 件の回答

1. 映像が主流となり、生の舞台空間へ向かう意識が低下している。
2. 「この経済規模なら舞台へ特にする事は無い」という国の判断だし、その判断をする人を選んだ自分たちの責任でもあると思います。
3. 公演にで応援している方々に迷惑だけはかけられません
4. 演劇をすることが、とすればコロナを広める行為にもなり得るといのが、どうにも耐え難い。コロナの蔓延に加担したくはないが、その性質上どうしても大声での発声が必要になる。脚本によってはマスクも外すことだってある。演出としては「この世界観でマスクはおかしい」と思ったらそれは外すべきだと思うが、主宰としてはマスクは防疫のための最善策なのでできる限り外したくない。など、葛藤を上げればキリがないほどだ。自分の中のダブルスタンダードをうまく解消しなければならぬが、やはり、一番の感染対策は「家から出ないこと」なので、出ている時点でもうどうしようもない。早くこの罪悪感から解放されたいと切に思う。
5. 困った人が申請する制度を取り毎月給付金を出して欲しい、
6. 補助金は有難い。けど、活動を促進させるには誓約も多いし、振込まで時間がかかりすぎる。個人には活動資金20万円。団体には200万円一律などのもっとスピード型の補助金も欲しい。
7. 演劇は、常に2年後3年後の企画が動いているので、とにかく、先々までの支援を早々に確定していただきたい。
8. もうこの新型コロナに対する過剰な対応を終わりにして欲しい。地方の演劇公演は、都会ほど実施出来ていません。どんなにサポートをしようと、根本的にこの事態が終わらないと、地方の劇団は、公演も出来ず、ただただ解散していくだけの様な気がします。
9. かなり息切れしています。
10. 先の見えない不安
11. トランスジェンダーである自分は、文化芸術、芝居に救われた過去がある。生きがいであったがもう諦めようかと毎日思う。限られた人だけにお金回り、団体から個人へは回ってこない。上の世代は20、30代を無理のない環境で育てる気はないんだろうと思う。20代に身体を酷使し、誰にも相談できず離脱し回復するまで数年かかった。離脱前と環境の変化は見られず、絶望と諦めが強い。ハラスメントについての動きも悪い。講習や稽古だけでも参加、実行できないのが辛い。
12. 公演をやることで 迷惑をかけてしまうのではないかと 拡大させてしまうのではないかと 言う不安を感じております 現場で陽性者が出た場合罪悪感を感じてしまいます
13. 関係者のコロナ感染による中止の場合の助成金が欲しい。
14. コロナをインフルエンザと同じような扱いにして欲しい
15. 文化芸術への国(とにかく偉い人たち)全体の理解と、一人でも発熱者が出たら即公演中止というのをやめないと更に演劇が死ぬ
16. 今まで以上に芝居の現場は厳しい
17. キャンセル支援をしないと、公演活動をするのが不安で仕方ない。
18. 次8派がまた来て緊急事態宣言発表されたら確実に終わる
19. 文化芸術が「不要不急」という枠組みのなかで扱われる現状のなかで、舞台芸術に取り組み続けることへの精神的な負担が一番大きいように感じる。継続していきたくは思いつつも、本当に感染状況が悪く危機的状況にある時に声高に舞台芸術活動を続けるとは言い難い。しかし、言い続けなければ立ち消えてしまうのではないかとこの恐怖が少なからずあるように思う。いかにもともと広くはない舞台芸術の土壌を絶やさずに長く続け、裾野を広げていけるかを考えたい。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(19/26)

566 件の回答

1. 生活が出来ない
2. 公演が出来なくなった人たちへの助成を、なるべく、広く、長く行ってもらいたいです。「コロナ疲れ」で、みなもう、うんざりしているのですが、助成は長続く続けないと基本の演劇活動そのものが止まってしまいます。つまりそれは、日本の文化的財産が消滅してゆくことになります。
3. 舞台は数年先まで難しいと思う
4. 演劇人、そして演劇を愛する人(観客)の双方に応えられる形で、何とか公演中止や延期を逃れる方法を探れないものかと思うが、コロナの危険性には諸説あり過ぎて、判断の難しさを感じ、もどかしい。
5. 絶望
6. 何か新事業をしないと支援しない、今の仕組みは実情と合っていない。
7. 「文化芸術」と国の施策は結びついているのか？そもそも、文化芸術、エンタメに関わっている人口や付帯する職業が正しく認知されているのか？国で守るべき文化芸術とは？
8. 私は劇団関係者ではないのですが舞台芸術は衣食住に比べると生活に必ず必要ではないと思いますが、生活の質の向上や精神の安定など豊かさを語る上では必要だと思しますので、先進国である日本はもっと演芸を守る方向に進んでもいいのではと思っています
9. 何度もホール公演が中止になり300万近い借金を抱えています。私、個人の贅沢のために使ったわけではないのに、なぜ？という気持ちです。
10. とにかく普通に公演がしたい。感染や濃厚接触者になることにおびえて制作している。蔓延防止のために中止したのに、キャンセル料をすべて負担しなければならないのは理不尽だと思う。
11. 考えないようにになりたい
12. 補助金でなんとか保っているという状況なので今後継続できるかがわからないのが辛い。
13. オーディションも行われぬ、業界自体が活性化しない、活動範囲が狭められる、他の道を拓く事が必要、考えなくて良かった様々な事務作業が面倒、ここまでしないと活動できないのかという劣等感。
14. このままでは、よい音楽活動をしていても、経済状況の理由で、演奏者、スタッフ等続けられなくなり、文化が沈んでしまう。
15. 長引くコロナの中でやれることはやろうと必死。
16. 日本は法律より雰囲気支配するので殆どの対策について釈然としない
17. フリーランスに対して、キャンセルをするという事を軽く考えている事業者が多い。うちも大変なので我慢してくれ、という姿勢がまかり通っている。
18. マスクして歌い踊るのが大変
19. お客様の入り感染拡大前と全く変わっており、かつ予測できないケースが多いように感じます。予約も以前より直前のお申し込み・キャンセルが増えている感覚です。お客様の不安の大きさを数字で感じました。引き続き検査や検温、席数の調整を行うこと、公演告知の際のお客様への感染対策の丁寧なご案内は必要だと感じます。それに対しての助成金は継続していただけるとありがたいです。一方、主催側もチケット購入、支払いのオンライン化、キャッシュレス化などデジタルツールを積極的に活用している団体とそうでないと団体の差があるように思います。制作スタッフの労力軽減と感染症対策への大きな影響にかかわるのでこちらについては助成金だけでなく、団体を超えての勉強会などがあると良いのではと思いました社会の状況や常識とずれていると感じる。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(20/26)

566件の回答

1. 職種を問わずストレスがかかり、そのせいでハラスメントが凄い。
2. 団体への助成金も公演促進には有効な面もあると思いますが、フリーランスへの補填に充てられないことが多いため、個人への補填、特に公演中止延期の際の補償が切に必要だと感じます。
3. 欧米並みにコロナの基準値を下げるべきでは？
4. 団体収入・個人収入の設問に対する選択肢で、「増えた」が無いのはなぜですか？ かわらない、または減った、に誘導しようとする恣意性を感じます。その他の設問においても、上演中止があることを前提とした設問になってしまっており、かといってそれらについて公演中止がなかった人でも回答できる仕様になっており、これで統計的に有意な分析ができるのか疑問です。説得力を増すためには、社会調査法の基礎知識を持った人材に協力を仰ぐべきではないでしょうか。そうしないと、外野からみたときにまったく説得力を感じない結果になると思います。(例えば、たしか映画や芸術業界のハラスメントの調査では、荻上チキ氏に協力を仰いでいたと思います。彼ほどの著名人ではなくとも、大学で社会調査法をかじった人であれば舞台芸術業界にもいると思います。)
5. 年を追うごとに状況が悪くなっていることを感じる。わたしたちは切り捨てられている。現状を見つめるではなく「来年には落ち着いているだろう」という楽観に基づいた政治の姿勢だけが最優先されている。まるで「死んだ方が悪い」というような選別の姿勢だ。
6. 今はアーティストやフリーランスなど表に立つかたがめだっていますが、このあと舞台関係の業者やプロモーターの資金難(倒産)や劇場の閉館が進むと思います。元に戻ることを考えるのではなく業界全体が変わる世代交代/改革のチャンスだと思って生き延びたい。
7. とにかく第5類相当にすべき。現在のコロナが二類=結核・ジフテリア、三類=コレラ・腸チフス、四類=狂犬病・日本脳炎などよりも警戒すべきものかどうか迅速に判断して欲しい。
8. それぞれが、それぞれの苦しみの中、芸術の重要性にどうやって気がついてもらえるのか
9. 役者側にやる気があっても、お客様を劇場に誘導できない。どんなに対策をしても不安感を与えてしまっている。これでは演劇を辞める人、挑戦しない人が増えても仕方がない。
10. 芸術文化を大切にす国で在って欲しい。
11. 別の団体が中止になったと聞くだけでしんどくなる時がある
12. 変化への対応が難しい
13. 舞台をするのも、見るのも難しくなり、子どもたちが芸術へ触れる機会が減ってしまうことが心配です。また、舞台当日でも中止になりうる状況で、できるだけ舞台関係者の負担を減らせる事業があると、いろいろな団体が活動を継続できるのではないかと思います。
14. AFF2審査部門と役に立たないコールセンターへの不満しかない。
15. 公演などを企画することに対して恐怖心が起きてしまう。また、いわゆるQアノン支持者などとの分断にも正直苦しめられている。コロナについて正しく公正な評価がなぜここまで時間が経ってもなされ得ないのか、非常に疑問を感じている。
16. コロナ禍になって、人間の本质が可視化されたような気がする。例えば、緊急事態宣言中、飲食店の時短要請がある中で、それを守っていない飲食店へ行っている様子をSNSにアップする役者がいて、個人的にはとても気になりました。コロナに羅漢して辛い思いをしたり、後遺症で苦しんでいる人がいる中で、“コロナはただの風邪だから”と言っていた
17. お金さえあれば、助けられる人がいるのに
18. は、社会の状況や常識とずれていると感じる。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(21/26)

566件の回答

1. 生活ができない
2. もう一度芸術家等(フリーランス)への給付金が欲しいです。
3. 団体ではなく、個人芸術家に支援をしてほしい。団体が寄付金額を開示してくれないケースも多く、自分に支払われた金額が正当なものかわからない。以前、団体から個人に支払われた金額が団体助成金をはるかに下回る金額だったことがある。
4. コロナ対策も、芸術家支援も後手後手で芸術活動している表現者は困窮している。早急に何とかしてほしい。
5. お客様が劇場に足を運ぶことを選択しない流れができてしまうのが恐ろしい
6. 意外と自分の生活のことで精いっぱい、コロナ禍になってから演劇業界の支援金や助成金(AFFなど)について調べたり話を聞いたりしてこなかったなと思っています。
7. 通常社会の行動制限などされていないのに、音楽、演劇業界ばかり一人でも陽性判定されたら中止となり、やたらと厳しい。観客も、たった一度しかないかもしれない観劇のチャンスを失っているのは本当に辛い。
8. 何の保証もなく、感染対策が鈍った人達が多い中で公演をする気も見えない。もっと科学的に国全体がコロナ対策を徹底してほしい。コロナ後遺症は実演家にとって命取りになるものばかり。
9. 文化イベントは大勢の人が関わっています。公演、イベント関係者から一人でも陽性者が出てしまうと、その時点ですべてがストップしてしまいます。このことによるストレスと、今後の展望についてどんどん希望が持てない状況になってきています。
10. 今のところ自己資金で持ちこたえられているが、これ以上状況が好転しなければ事業の計画を立てられない。元々自己資金がない団体はすでに立ちゆかなくなっていると思うし、まわりの優秀なキャストスタッフが演劇をやめることを検討しはじめている。このままでは演劇界全体が先細りになっていくのは明か。素晴らしい作品が生まれにくくなってしまふのは悲しい。上演できるかどうか運のみにかかってしまふことに、やり場のない憤りを感じます。どの団体も対策を講じて進めようと思いますが、それだけではどうにもならない。3年経ってもこれか…と思っています。
11. 観客を劇場に戻したい。
12. 演劇の公演をうつことが博打のようになっている。出演者に陽性反応が出たら中止にせざるおえないが、それまで準備した時間や経費に対して、なんの補償もないのはどうかと思う。
13. 官僚も含めて日本国民全体の文化芸術に対する教養の低さが露呈している。行き当たりばったり、付け焼刃の政策、学校教育の敗北。今、取り戻さないと向こう30年、文化芸術の不毛地帯となり国力の低下は免れない。
14. 早くコロナが終息してほしいが、それまでの感染対策や助成をしっかりとしてほしい。
15. 中止になることを考えたら公演なんかうてない。それで舞台を続けていないことを非難されていると思っている。応援してくれる方の声が重たい。やってほしい気持ちもわかるがやらない苦しみもわかってほしい。けれど水商売的には声なくなったら終わりだなと思うとまた苦しい。悪循環。
16. 関係者にコロナ感染者が出ると即座に中止というのは、本当に困ります。
17. キャンセル対応に追われているにも関わらず報酬は支払われる目処が立たず次回公演を計画する気力もありません。
18. 同じ「舞台芸術に携わる人」の中でも、コロナについての考えが違うのでもやもやする。ちゃんと対応しない人、団体には関わりたくない。
19. いると感じる。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(22/26)

566件の回答

1. とにかく若い芽を育てる事に少しでも手を差し伸べて欲しい。自分は無観客で撮影によるオンラインで芝居が出来なくなった役者様達に少しでも表現の場を提供出来るように色々考えております。しかし、やはり資金が大きな障害になっているのが現状です。
2. 巷では文化芸術活動の支援予算は、2022年度で終了するだろうという噂がまことしやかにささやかれています。劇団などの任意団体では、銀行などの借り入れも容易ではありません。文化予算からの貸付金であっても助かります。いまを乗り越える力を国におかし頂きたいです。
3. もう芸術、エンターテインメントの世界が割を食うのはつらい、むなし
4. 補助金等で公演は実施できても観客がコロナ前に比べて1/4に減っており、戻ってこない。
5. コロナがあることがスタンダードになってきて上演も中止も混在する状況になってきた中で、どの様に舞台芸術を続けていくか、舞台芸術を続けていく社会的意義は何かを考え続けています。
6. これまで割と気楽にやっていたと思うのですが、コロナで状況が厳しくなった分、特に集客で真剣味が増しました。
7. コロナにより今までは見えていなかった人間性がだいぶ浮き彫りになったと思います。昔に戻りたい人ともう戻れない人もいて、コロナのことはさておき、年齢や環境による意識の分断化があと7年くらい続きそうだなと思ってます。
8. 文化支援のみならず様々な情報の周知のされ方がどのように整理されていくべきか
9. 団体が上演に慎重になっている影響で、オファーやオーディションが減っている。公演中止という目に見える形ではなくても、仕事の機会を失っている。
10. 観客が、感染状況によって入りが違うので、先が読めない興行を打つ勇気が難しい
11. 積極的な活動への支援より、キャンセル補償に重点をおいてほしい。
12. 観客のためにはPCRせざるを得ない。そこで感染者がいると公演中止になってしまう。中止に対しての支援をしてほしい。
13. 集客の冷え込みは甚だしい。来場者でも近くにひとがいることに抵抗を覚えている方もいる。この状況を元のレベルまで戻すには想像していた以上に時間を要しそうだ。
14. コロナで大変な時期ではあるが、AFFの補助金のおかげで演者側の報酬が確保できているため、小演劇界は軽くバブル状態なのではと感じる。団体側は600万円になるまで公演を打てるわけで。たとえ中止になってもダメージも軽い。
15. 政府の無策に言葉もない。
16. このままだと演劇界は特に衰退する
17. 検査に協力的な団体ほどバカを見てるので、そこをなんとかして欲しい。基準を設けて欲しい。
18. 結局は社会的な組織にしかお金はいかないし、サラリーマンが強いなあと思う
19. コロナ以前の状況に戻してしまっている(コロナ対策せず)ところと、今もコロナ対策に気を使っているところとの両方があり、不公平感が半端ない(芸術文化は後者)
20. 照明のデザイナーとしてやっていて万が一本番につくスタッフに感染者が出てしまった時、代理をどう探すのか、それをどこまで準備するのか(ダブルスタンバイにしたら当然経費は嵩む)答えが出てないです
21. コロナによる影響と、自身の年齢や境遇による影響と、判断がつけづらいことががしばしばです。
22. 小劇場から商業演劇まで多くの所が公演中止になっていて、本当に胸が痛む。どうにか再演するチャンスを持てる様に補助があるといいと思う。
23. 生活がかかっている方々には死活問題だと思います。支援が必要だと思います。とずれていると感じる。

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(23/26) 556件の回答

1. 感染リスクが低減していない中で、拙速に状況をコロナ前に戻して上演しようという状況にあるのが怖い
2. 学校公演をおもな収入源とする劇団に客演するフリーランスですが、学校からの一方的なキャンセルの場合、キャンセル料の保障がなく、そのため客演に対しても何の保障もない。また、「密を避ける」という理由で、1回で観劇できる人数が少なくなり、これまでは1回公演でできた人数でも、2回、3回と何回も公演することが求められる。1学年ずつ、6回公演もある。上演料は変わらないのに、何回も公演したり、複数日に渡って公演しなければならないなど、劇団にとっても、出演者にとっても、負担が大きい。学校現場の危機意識の持ち方は、社会の状況や常識とずれていると感じる。
3. 生活の不安からくるストレス 作品が出来ないストレス
4. コロナに対するカテゴリーをちゃんとクリアにして、世間の通例としてもらいたい
5. 援助ではなく、感染症法の位置づけの見直しの方を訴えてください。コロナでなければ公演が中止になる事はありません。舞台に立ちたいんです。無症状なのに陽性だから出られない、中止なんておかしい。はやく普通の風邪と同じようにするように声をあげてください。補助金よりもコロナそのものを見直すべきです。
6. 感染状況が芳しくない時期は、どうしても席数を減らさざるを得ないのだが、劇場使用料は変わらない。劇場側に補助金が受けられる仕組みを作り、このような場合は劇場使用料が割安になるようになれば良いと思う。
7. 不要なコロナ対策は早くやめたい
8. 常に何か策を考えていきたい
9. 今年より来年の方が観客という存在がなくなると思う。それが一番怖い。
10. コロナのことで精一杯ではありますが、そもそも観劇をする人が増えればいいなあと思います。
11. 仕事や、公演観客が戻らない中、コロナ対策費がなくなることへの懸念
12. ひたすら無力感。後遺症として脱力感、やる気がなくなりましたね。
13. いい加減にしてくれ。
14. 具体的にどうすればいいのか、までは分からないのですが、公演を行おうとしてる人たちが少しでもコロナのストレスなく公演できる状況になれば良いなあと思います。
15. 無力。
16. 身体が資本である演劇は俳優は休養を取れないし、仮に降板となれば直接収入減少に繋がる。そんな演劇界にとって、コロナ禍は非常に厳しい時代だと思う。
17. お金がきつい
18. 疲れた 演出助手業務における万が一の対応の求め、俳優へのケアなどが重いことばかり 制作さんはもっと大変だと思うけれど、
19. なんとかしたい
20. コロナへの過剰な意識が演劇をはじめとしたエンタメ領域の縮小を持続させている。そのなかで社会的な傾向として、あまりにもこの停滞した状況からの復興への意識が低い。批判の声に過敏になり、自分も含め、責任を取りたくないため、以前の状態に戻そうとする決断をする人がいない。欧米をはじめ、世界での流れにも目を当て、バランスを取った社会状況になることを望む。
21. 安心して、また、支援金詐欺が発生しないように管理してほしい。困る役者が増えます。
22. どうにもならない

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(24/26)

556件の回答

1. 我々演劇界はこの3年間あまりにも自分たちのことしか考えていないように思う。世界的なパンデミック、しかも流行っているのは空気感染・ヒトヒト感染するウイルスなのだ。ただただ、【換気の利かない空間に人を大勢集めている場合ではない】のだ。ほとんどの演劇は照明・音響効果のためにある程度密閉された状況を必要とするので、換気を行いながら本番を上演するのはとても難しい。そこを踏まえて考えれば「パンデミック下での安全な興行は難しい」というのが自然な流れであり、劇場という場は空気感染するウイルスとは相性が悪い、ということではしかない。無理に劇場に人を集めれば、観にきたお客様を感染のリスクに晒すことになり、さらに劇場から社会へと感染を広げてゆくことにもなりかねない。それを、「劇場ではクラスターは起きていない」「演劇は対策を徹底している」と宣言して興行を続けることを自ら選択してきた業界が、今度は「公演中止にする基準が厳しすぎる」「検査をしてわざわざ感染者を見つけ出すから悪い」と言い出すというのはいかがなものか。同じ業界の人間として情けない。この3年で我々が劇場へと誘ったお客様のなかからどれだけのコロナ罹患が出てしまったことだろう。もちろんお客様だけでなく公演を創る我々の中からも多くの罹患を出してしまった。その反省もないまま「規制を緩めろ」などとよく言えたものだ。このままでは演劇界に未来はないと思う。
2. 自分のことは自分でなんとかするしかない。
3. アマチュアがやっきになって予算使い切るためにコンサートしているのは見苦しい。
4. もう生の演劇はなくなってしまうかもしれない。
5. いまの状況は車事故のリスクを恐れて、国民に交通機関での移動を促すようなもの。まわりに幾ばくかのリスクを与えるとわかっていることでも、これまでの社会は必要とされるものは実施してきた。
6. ツライ
7. 表面に現れにくい文化芸術事業者の厳しい状況に、文化庁はじめ政府、行政そして自治体の平時対応が緊急事態に陥っている従事者を苦しめている。平時から、文化庁の文化助成は書類が整いやすい事業主体のある団体に偏る傾向があり、中小事業者やフリーランス、小規模プロデュース等への助成体制にはなっていないのが問題だと思ってきた。また中小民間文化施設等への維持整備に対しても全く助成等公的資金の注入はなされてこなかった、ため、その費用がそのまま施設使用料に転嫁され、中小文化芸術団体、フリーランス、小規模プロデュースの総製作費のうち多くを施設使用料が占めてきた。それに伴い観客の鑑賞料金が高騰し、意図せず文化活動への観客離れが顕著に表れている。中小文化芸術施設に文化支援交付金等を創設し、施設規模に合わせた公金注入で、均一に施設利用団体を助成することにつながることもなり、使用料金を引き下げられるようにすべきだと思うのです。それが団体の製作費を引き下げ、入場料金を引き下げ、より入場者を増やすことで、文化芸術に触れる機会が増える要因となるものと考えます。このコロナのような事態になっても、個別芸術団体への助成をする体制では救うことが難しいと考えます。なにしろ、政府も国も自治体も文化に対しては緊急事態体制になっていないと言わざるを得ません。
8. 1人出れば公演中止。あまりにリスクが高すぎる。これだけコロナが増えていて、なんの対策もない。政府は人口を減らしたいのか？
9. フリーランスは補償の対象となりにくい、いないと日本の舞台芸術は成り立っていない！貧しさでこの職種が絶滅する前に是非援助を！
10. 人の公演やワークショップへ出かけることも躊躇している。
11. 継続が困難
12. 疲れた

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(25/26)

556件の回答

1. 幸か不幸か、公演に影響が出ない時期にコロナに感染しました。私の場合、高熱と喉の痛みが主な症状で殆ど咳はなかったため、これがもし公演準備期間から終演するまでの出来事だったら、性格的に、自分のせいで周りに迷惑がかかるくらいなら不調を隠して検査も受けずに強行して余計に迷惑をかけていたかもしれません。どの立場であっても「自分のせいで迷惑をかけてしまうかもしれない」という不安はかなりのストレスになっていると思います。
2. コロナ禍の問題は国民全体の問題であるから、演劇界といえどもある程度は我慢を強いられるものであろうと考えますが、国民に芸術や娯楽は必要なものでもありますから、小劇団への支援策にも柔軟な対応が頂けたらと思います。
3. 文化庁補助金については、文化芸術活動の継続支援事業のほうが良かった。事務局のほうで一人一人をチェックしたほうが詐欺も防ぎやすいと思う。AFFは個人芸術家まで支援が行き渡らない。
4. コロナ以降伸びた業界と、コロナでやられた業界が明確過ぎる。
5. 感染症の流行に関わらず運営が厳しい創造団体・個人はいたと思うが、この感染症流行でどれだけそういったものが消えていったか、消えていくのかと思うと苦しい。新しく生まれたものもあって、そういうふうに変化していくのが自然だと思っているが、自分の好きなものを守り継いでいきたい。
6. 劇団存続のために、皆が通常業務以外にも出来る事を考え、奔走して、それでも今後の経営が危うい現状です。コロナ禍がいつまで続くのか、未来が見えない状態でいつまで頑張っていけるのか、不安は大きいです。
7. マスクをはじめ、予防策をいつまで取ればよいか、だれが判断するか、目安が欲しい。
8. 持ちこたえられるのかわからない。
9. このままでは生活出来ない。
10. 演劇を続けていくためのモチベーションがとても低くなっている
11. この状況が長期化することにより、観客の収入も減っており、観客人口そのものが減少しつつあると感じる。
12. コロナ禍で新設された文化庁事業の継続を願います。学校やPTAが文化庁事業を多く知ることとなり、学校予算での観劇をしなくなっていく恐れがあります。これで取りやめなどになったら「文化庁による学校観劇環境の完全なる破壊行為」です。事業の継続を強く要望します。
13. 数年内に離職、解散、目に見えている。常に一時しのぎをしている。
14. このままでは日本の文化芸術は世界に大きく遅れをとります。今こそ、適切な支援をお願いしたいです。
15. イベントがなくなり、復活しても仕事ができるか不安です
16. 政府が無駄に煽ってくれたせいで、客足が伸びなやみ、チケット代含め諸々の経費が上がってしまった。経済的に苦しくなっている方が増えているのにエンタメの値上げもしなくてはならない状況に憤りを感じる
17. 自前の劇団の稽古場を自作、借地で運営している。近い将来が心配。敷地面積：138坪 建坪：45坪／鉄骨、1部2階建て 1階：稽古場 33坪(68席の固定客席)+エクストラ席有り 1階：事務所 6坪 2階：フリースペース 12坪／衣装小道具置き場 5坪
18. 緊急小口資金、総合支援資金等は使い終わってしまいました。新たな支援金、給付金を出して欲しい。
19. コロナ前には戻れない。新たな方法で活動を継続せねばならない。
20. 政府は、防衛費や国葬など全く無駄な支出ではなく、市民が文化・芸術を享受できる環境を護るところに税金を使ってほしい。
21. 公演を行うことのリスクを常に考えて準備していくため、小規模の公演でないと難しくなっている

Q10. いまの状況で思うことをお書きください(26/26)

556件の回答

1. 感染があまりにも広がっていて、国や自治体も全数把握をやめたり、行動制限もかけていなかったりしているが、医療現場のひっ迫状況は改善しているわけではなく、人々の気持ちも、特に高齢者は出歩くのを控えたりしているので、公演なども集客は苦労している。文化団体やアーティストの苦境はまだまだ続いているので、そのことへの理解や行政からの支援がもっと欲しい。
2. 次年度公演活動ができるか不安
3. 観客の観劇意欲は失われていないと感じる。上演機会を奪われる役者たちが稽古ばかりしていて悪循環に陥っている。この状況をなんとかしたいが一創造団体の力ではかなわない。
4. 学校公演など多人数の公演を組むことが難しい。
5. 文化を守ろう芸術を絶やさないでいようという思いの人が追い詰められて無理を強いられている。どうして国は、子どもの心を育てていくためにお金を使わないのか。
6. 観客を戻す事、公演中止のリスク。この二つが懸念として大きい
7. 国会議員、省庁の方々には現場の実状を知り、改善する努力をして頂きたい。
8. これ以上コロナ対策を続けると芸術はなくなる。
9. コロナ禍であることを理由に、観客の足が遠退いている。また、補助金が出たことで、キャスト・スタッフのギャランティが上がっている。このままでは団体は次々潰れていくと思う。
10. 世間的には感染の恐怖は以前よりもかなり薄れているが、舞台関係者は稽古、本番を行うために依然感染を恐れている。世間と舞台関係者の間にコロナに対する感覚のギャップが生まれているように感じる。
11. コロナやワクチンの後遺症あり マスクは本当につらい お金は困窮していた時期もあるが正しく生きていればなんとかなる芝居を作る上でコロナあろうがなかろうが資金繰りは難しい 演劇観る人が増えるように団体や国でアピールしてもらえたらなとおもう。個人の限界はある インチキみたいな演劇もあるので淘汰されてほしい
12. 2022年はこの数年で1番全てが動かない。今年が1番キツイ
13. 学校公演主体の劇団ですので、学校が鑑賞をやってくれないとどうしようもない、というのが現状です。鑑賞は戻ってきましたが、1校の公演回数がコロナ前に比べ倍以上になってしまっている現状を何とかしたいと思うものの、学校の判断なので。。。
14. マスクをしていてもソーシャルディスタンスが保てない。
15. 芸術家、フリーランス、音楽家等エンターテインメント事業への補助金やサポートが薄い
16. 借金が膨らみすぎて廃業したほうが良いのか日々悩んでいる。
17. 給付金目当てで中止にしたりしてお金だけもっていった団体や主催者から回収してほしい。本当に必要な真面目にやっている側からすると大変めいわく。
18. 目標が見えない、基準が見えないことが不安です
19. 劇場からお客様の足が、確実に遠のいていてと感じます。配信慣れも怖いところだと思います。
20. 生きるのが大変。何かを創作する、表現することが困難になっている。
21. 世間の目や声を気にして、人とご飯に行ったりもできない状況。一週間の公演なら耐えられても、ロングラン公演となると、息抜きの仕方がなく、かなり精神的に苦しい状況です。
22. 個々にもきちんと援助や保証される制度を作ってくれないと役者やスタッフは死んでしまう

Q10-2. 状況をよくするためにどうしたら良いと思いますか？ (1/13) 539件の回答

重複回答は割愛しています

1. 偏見と過敏すぎることを無くしたい。
2. 補助金の条件の緩和。公演中止した場合の補助を強化。
3. 単純に線引きせずにお金を配ったらどうですか？あと、スター制度なんてものを導入してる時点でコロナがなくなっても状況は良くならないです。
4. 経済政策
5. 申請書類の簡略化
6. 国を挙げて芸術に対して大切に守っていく活動をしたい。
7. コロナを受け入れつつ、興行をおこなっていく。
8. これまでに記したこと。文化と全ての人々の生き生きとしたふれあいなくしては、自由で豊かな社会がうまれます。過去の歴史的な文化、現在の文化、そして未来の文化へと結びつけなくてはなりません。
9. コロナの為に中止となった公演に補助を
10. 現場レベルではどうしようもない
11. 公演中止の劇場費だけでも支援してほしい。感染防止を国民だけに負担させないでほしい。このままでは劇場から離れざるを得ないし、スタッフ人件費も削らないわけにはいかない。リスクばかり計算しながらの作品作りになる。これは演劇を、作るということですか？
12. そもそも収益事業として公演で黒字にすることは不可能に近いので、売上金や手出し以外の資金獲得方法を充実させるべきではないか。
13. 芸術をビジネスにしている人とライフワークにしている人とを、まとめてカテゴライズしないようにしたい。実際はビジネスにしている人たちは生活ができなくなってきているし、ライフワークにしている人たちは実質辞めてしまっているひともいる。しかしその二つの性質は違うものだと思う。
14. コロナウイルスへの認識を、全国民が改めるか、補助金や支援金の拡充をすること。フリーランスや、小規模事業者が利用しやすいものを用意する。
15. お金のためにやる芸術と、お金にならないけど、やりたい芸術のバランスが大事なかなと思います
16. 公演の企画を続けること、声を上げ続けること、継続が重要だとおもいます。
17. まったく見えません。
18. 中止になった際の劇場費の負担を国が行って欲しい。シンプルな補助。
19. アーティストの実情や現場に理解のある人、弱い立場の人間への想像力がある人が文化政策を担う。
20. 政府をまともにする。明確なお金の流れをこちらは求められているのだから、政府もそうあるべきだと思う。
21. 自分たちが声をあげることは当然としてそれらを然るべき行政や団体に届け、理解を深めていく。
22. 劇場費を国で負担して欲しい。そうでないと優れた団体がいくつも潰れてしまう。
23. 公演中止時の劇場費を補償だけでもいいので、申請を簡素化してほしい。
24. 事業を繰り返し行い採算をとることが多いため、積極的に事業を行うための助成金や開催できなかった場合の補償やキャンセルポリシーについて、わかりやすい仕組みにしたり法人格が無くても申請できるように検討して欲しい。
25. 政権交代
26. 状況の変化への明確化と発信の強度さ。

Q10-2. 状況をよくするためにどうしたら良いと思いますか？ (2/13) 539件の回答

1. 誤ったメッセージを広めない、感染やむなしという風潮を変える。
2. 多角的な相談と支援システムが必要
3. 生きてくための支援金が欲しい
4. 公演がキャンセルになった場合の対象を考え直してほしい。
5. もっと支援してくれる制度が欲しい。個人でも団体でも。AFFやJLODは審査が厳しすぎて審査結果までに時間がかかりすぎ。もっと早く、もっと審査基準のハードルを下げて欲しい。
6. 舞台関係者だけでなく、国民全体で文化芸術への理解水準を上げなければ根本の解決へは至らないと思います。お金が必要なのはもっともですが、国民の中で貧困に直面しているのは我々だけではありません。アクションを起こすのは、時と場合、そして、場所と人も選ぶべきなのかなと思います。
7. 弱い団体への補助
8. 何が本当のことなのか、国民はよく知るべきである
9. 業界内で相互に協力が必要。情報共有が足りない。政府へ補償を強く要求する姿勢も足りない。
10. コロナが精神的に風邪並の軽さになるように治療薬の開発
11. 座組のコロナ感染による公演中止の場合にも、補助金が出る助成金を設定していただきたいです。
12. コロナが原因で公演が中止になった際の、経済的補填の制度を整えることが必要。
13. 何より、公演中止となっても一定の補償が必要。
14. 陽性が出たら闇雲に中止にしなければならない状況、また、中止後の救済措置があってほしい。しかし、救済措置をあてにして元々客が入らないような公演を無茶に打てるようになるのも間違っていると思うため、線引きが考えられるとさらに良いのではないかととも思います
15. 国がちゃんとした政治をしてほしい。
16. 国の迅速な対応、薬の認可、賃金アップ
17. オンラインが良い！という発想を止めて、対人間が必要という考え方を持つべき。自分達が正しい考えを持っているという考えを捨てて、人の意見に耳を傾けて、しっかり聞き参考にするべき。小・中劇場のこれから羽ばたいていくであろう現場の意見を大切に、国としてイメージで現場の意見や不満や状況を判断しないことが良くなっている理由だと思います。
18. 観客が安心してチケットを買えるシステム(チケット購入の補助金、コロナ感染で来場できなくなった時に有効活用できるシステム)など。
19. もしかしたら、コロナに対応した新人育成に勤めて、新しい文化芸術様式を作りあげ、いっそ全体的にリセットしても良いのかもしれない。PCR検査をしなくても公演が出来るようにする。劇場のキャンセル料を補助金で条件なしで支払える。
20. 文化芸術に予算を割き、クリエイター・表現者の生活の安全を保障すべき。
21. チラシや領収書などをもとに後払いで、簡単な申請方法なども追加する
22. 中長期的な公的支援。劇場を中心とした①キャンセル費用の補助②検査費用の補助。また団体、法人、個人を問わない「若者」への比較的用途が自由な資金援助。
23. 特効薬ですかね？
24. 団体助成を継続し、公演中止になった場合の助成も充実させるべきである。安心してアーティストが作品作りを出来る環境を整えるべきである。

Q10-2. 状況をよくするためにどうしたら良いと思いますか？ (3/13) 539件の回答

1. 関係者に陽性反応が出れば中止という判断をする劇場/団体/個人への支援
2. ガイドラインを見直すべき。マスクをしながらの稽古は本当に苦しい。意味があるのか…と考えてしまう時もある。
3. 金銭的支援がメンタルの支えになる部分はあると思うが、公演中止の虚無に囚われてしまうとなにも思いつかない
4. 社会は動いてしまっていてリモートでも行える形式にも対応出来ているが、舞台においては出来ない現状を多くの方に認知してもらいたい。
5. 日本のマスメディアを鵜呑みにせず、ちゃんと感染症、ウィルスなどの根本的な勉強をした方がいいです。
6. 日本の芸術団体がまず潤うよう、助成金や支援を促進する。俳優組合を設立する。コロナが収束する。
7. 検査しすぎない、感染人数ばっか報道して不安を煽らない
8. 直接支給の支援を充実させる
9. ロナ以前に実演家に対して払われるお金が少なすぎる。ハイリスクローリターン。そもそも正当な支払いがされていない。
10. 役人が演劇界を本当の意味で理解すること
11. 過剰な感染対策をやめるべき。
12. 国が演劇文化のみならず、芸能・芸術文化に対する支援や促進などを行うこと、そしてこれから芸能・芸術文化で仕事をしたいと思ってもらえる基盤を作ること、未来のために、今を覆して欲しい。
13. 消費税を下げる。インボイスをなくす。
14. 中止になったり、延期になったり、そもそも仕事が減っている状況なので支援金があればありがたいです。
15. コロナ禍で状況が良くなる方法は思い付きません。
16. 学ぶ。社会の仕組み、お金の仕組みを。
17. 国民全体のコロナへの取り組みを変えるべき。海外のようにコロナとどううまく生活するかを考えたい。
18. コロナが原因で仕事がキャンセルになったら国がその費用を負担するというシンプルな補償が欲しい
19. 新型コロナウイルスが世界的に撲滅されない限り、良くはならない。以前は支援金が大事だと思っていたが、最近は支援金に頼れば頼るほど、一般社会との乖離が酷く感じる。
20. 文化庁の人数増加。知識人を文化庁につける。
21. コロナの終息が一番だが、感染対策をしてまた安心してお客様に足を運んで貰えるようにする。その為には助成金や支援が必要
22. 広く、もっと簡単に、たくさんの団体に行き渡る補助金制度があればいいと思う。
23. いまの与党では無理だと思う。
24. 給付金がまったくない中、元手があって成り立つ補助金や借金システムしかないのをなんとかしてほしい。3年も事業規模を国の命令で縮小されている中でどうやって生計を立てればいいのか？給付金をもっと幅広く出して欲しい。フリーランスは事業復活支援もほとんど通らなかった。
25. お金の負担とリスクを減らすことが、結局、文化芸術を絶やさないことにつながるのではないか。
26. 新型コロナを5類に。
27. 演劇界における公演事業補助制度の拡充。またその審査の簡略化とスピード感の両立。
28. 政府による発信。つまり劇場や演劇は問題がないという安全宣言。およびインフルエンザと同等の扱いの明示

Q10-2. 状況をよくするためにどうしたら良いと思いますか？ (4/13) 539件の回答

1. 個人のモラルに任せるのか、政策として徹底するのか、コロナを風邪と同じくらいの病気と定めるのか、どれをとっても何かしらの問題は生じます。国がしっかりと対策を考えて動くのが当たり前ではないかと思います。
2. コロナ禍収束までの助成金継続。
3. 感染拡大の有無を問わず、今後数年はコロナの影響が残り、自力で上演するのは難しいと思う。aff等の支援継続をお願いしたい。
4. とにかく公演中止に補助金を。AFFの要件を少し緩めるだけでできるはず。
5. 国が基準を変えること、マスコミが表面の数字だけで煽る報道をやめること
6. 保証。
7. とにかく予算拡充と、手厚い支援を、とくに若手とフリーランス中心に行っていただきたい。
8. 公演を行う勇気が欲しいです。
9. 政治ではなく科学に基づいた対応を
10. 文化庁や自治体など、窓口の人も審査する側も勉強した方がいい
11. 舞台を中止する基準を変更してほしい。
12. 誰もが参加できる演劇人ネットワークの構築
13. 政府や省庁、政治家に対して、芸術家が意見・要望を出せるルートができたのはいいことだと思っていて、頻繁に、誠実に、実演家たちの要望を細かく具体的に伝えていくことだと思います。
14. エンタメをつくる側は勿論、魅力的なものを相変わらず続け続ける努力をし、且つ、マスコミも無駄に不安を煽り続けない。
15. 無理のない演劇作り、技術や文化の継続。発展よりも停滞する努力
16. インフルエンザと同等の扱いへ変える
17. 事業そのものに助成、補助を出すより、コロナ感染者が出て、中止、延期になった公演をフォローし、公演を安心して行える仕組みがあったほうがよい。
18. 収束を待つ以外の良い解決作が見当たらない。
19. 悪徳事業者を排除し適切に補助金が困っている人に届くようにして欲しい。
20. 中止の支援を充実させて欲しいです。
21. 自助はもう限界です、中止も踏まえ公助をお願いします
22. コロナによって公演中止になった場合も助成して貰えたら、私を含め皆さんの心は少し軽くなるのはと思います。
23. 第三者に感染症対策及び助成金担当の代行をお願いし、自己のタスクから無くす
24. 軽症者向けの薬の許可を早く進められると良い。
25. 日本はもうだめだと思う
26. 長く続いていますますがまだまだ状況によっては公演やWSをやらない選択も
27. コロナと一括りにしているため、判断をPCRに委ねる状態。株の違いで症状も異なり、感染してもなんら日常生活に支障がないいわゆる無症状の人もいる。一律にpcrだけに頼って判断を仰ぐよりも、別の基準が必要だと思う。
28. コロナは風邪と同じ扱いにしてください
29. 創作活動、ワークショップ事業など、自分から動いていくこと。
30. 稽古期間の補償や交通費を出してくれる団体が増えれば少し変わる。

Q10-2. 状況をよくするためにどうしたら良いと思いますか？ (5/13) 539件の回答

1. 感染者が出て公演中止になったときの補償がほしい。審査は厳しくても構わない。
2. AFF制度の見直し。現場の声を再度踏まえて改善頂きたい。当方はAFF、AFF2ともに申請自体は通りはしたものの、AFF2でもしっかり満額頂けるかはわかりません。そういう不安もあり、公演がやれるのかという不安もあるため、中止・延期に関する規定については検討の余地ありと考えます。またコロナ禍による劇場離れ、演劇離れは多く、劇場という密閉された空間で2時間近くも居ることに不安を覚える方も多いかと思えます。そういう方へ向けて劇場が行っている対策などは劇場ごとでもアピールしていくことは必要なのではとも考えます。劇団としては変わらずコロナ対策についてという情報を発信しておりますが、果たしてそれしか出来ないのかと考えることもあります。対策ガイドラインの存在はとても重宝いたします。お客様の安心材料となるアクションが今後も必要と思っております。
3. 自民党の中にもっと芸術関係者が入れれば可能
4. 遠方の親族が出向いてこられないため、配信環境を整えたい。そう言う補助があると良い
5. どうしようもないように思う。連携すべきことが見つからない。
6. やってる人、これから志す人、今も昔も質の向上が無ければ何をやっても無意味。そこをデータや書類だけで見極めずに予算配分をして、1年単位とかの短期ではなく、最低でも2年間の育成プログラムから本番までの補助をしてもらいたいです。
7. まずは、何かをやって失敗してから改善してけ。
8. 劇場代をコロナ関係無く、給付する。
9. ①無観客の公演の推進②但し減収につながるので③無観客上演(配信)の経費負担をお願いしたいです
10. ガイドラインの見直し。情報の古いもの(フェイスシールド、マウスシールドは効果が無いと厚生省も発表しています。)がそのままの認識になっている現場が多々見られます。感染症対策や、PCRの必要性(矛盾点も加味して討議する必要有りと考えます)、中止の場合の補助金、お客様のチケット金額への補助(国がポイントで返還ではなく、団体がお客様へ還元するためのチケット補助金)は必要になると考えます。
11. 公演製作者よりも舞台に関わる舞台音響照明スタッフに支援の手がほしい
12. この数年それをずっと考えているけれども、明確な答えは何もわからない。でもとりあえず、辛い思いをしている人が世の中にはたくさんいるのだから、みんなが他者への思いやりを持って生きられたらいい。
13. 医療機関の充実
14. 収束してくれるしか。そのために政府は仕事しろとしか。
15. コロナ前の元に戻すことを目指したり、風前の灯火の演劇人を助成金漬けで救う焼け石に水より、DXや劇場や稽古場や制度の刷新を図って改革していくことにお金を入れて、演劇経済を回して欲しい。
16. 一個人にも行き届く金銭的サポートの他、団体が再生に向けて立て直しをはかるためには、コンサルなどの第三者のサポートが絶対に必要です。自助努力に任せるのではなく、自分の足で立ち直るための実際的な支援の早急な整備を強く求めます。
17. ある程度のルールに乗っ取った公演の遂行
18. ガイドラインの見直し
19. PCR検査実施の基準の改正、それに伴う観客の皆様への理解、中止の判断後の補助金制度
20. 国に、もっと(演劇界の)状況を理解していただきたい

Q10-2. 状況をよくするためにどうしたら良いと思いますか？ (6/13) 539件の回答

1. ずっと模索していましたが、2年経っても状況が悪化してるなので、もうコロナが忘れ去られるまで、ないと思います。
2. 補助金や給付金で公演を支援してほしい。
3. コロナもインフルエンザのような扱いになれば良いと思う。また、やむあえず中止になった時の補償。芸術を発信しやすい環境があるとよい。あと、周りの方の理解。
4. 健康維持。
5. 国の援助、自治体の援助、コロナの5類への変更。ただの風邪扱いにして欲しい。
6. 感染対策のどこに重きを置くかによって何を変えるかが変わってくると思うが、中止延期による損失が出てしまうと次の行動を起こすことができなくなってしまうため、補助金制度を手厚くするべきだと思う
7. 感染拡大を抑える踏み切った政策
8. 上記と同じ。また、これも国などだが、医療ひっ迫、検査キットが足りないなど、2年半も同じことを繰り返さないでいただきたい。安心感を持てるようになることが、今できる唯一のことだと思う。
9. 個人に対する補償を行う。
10. 日本が演劇を好きになる。
11. 社会のコロナに対する安心感の普及。
12. コロナの報道を安心感をもてるような内容にする
13. せめて劇場費は免除されればと思います。
14. イベント、舞台関係の事業者に補助金をお願いしたいでふ。
15. 国や自治体の理解促進、保障の拡大、対応の柔軟性。また税の負担や経済悪化は演劇だけでなく国民全体を苦しめ続けている。数百兆円規模の不正が出てるのに、説明もせず更に国民に重税を課す政治の抜本的改革が必要。
16. 感染させないための対策
17. 文化庁が事前検査しなくていいと言ってるのに、どの団体も検査させるので、そこを強く伝えて検査をさせないでほしい
18. 国の判断基準をキチンと明言化するか、無理ならばある程度の条件をもってしても検査キットの無料提供を行うなど。
19. 演劇の経済構造の抜本的改革。最早助成金があることを前提にした構造にしていくのか、演劇に関連する別の収入源を何か生み出すのか。あと過酷な稽古日程や、そもそも演劇のためなら何を犠牲にしてもいい、みたいな価値観は捨てるべき。
20. とにかく、コロナが収束しなければどうにもならない。舞台ではコロナの感染者数が多いとキャンセルが多くでてしまう今はそんな状態で頑張るしかないとおもう。
21. 政治を良くする
22. 各団体の情報共有。文化庁はじめ関連各省庁や自治体には机上の理解ではなく現場を知り、則した審査、助成をお願いしたい。
23. 補助金の充実、申請条件の緩和が必要
24. コロナの収束。公演中止時の補償。
25. 来るだけ裾野の広い経済的支援を頂けたらありがたく嬉しいですが、キャンセルや中止や延期など、損失がハッキリ具体的なものへの経済支援は、お願いできれば演劇界も続けていけるのでは……………
26. 劇場への支援が劇団の支援へと繋がるのか？浅はかだが、単に言えばそうなる

Q10-2. 状況をよくするためにどうしたら良いと思いますか？ (7/17)539件の回答

1. コロナの不透明さ、感染力等に常に適切な対応が取り難い事は理解している。国からの補助、と、なると手続きが煩雑過ぎて手がつけれない。県の支援など細かく切り分けて手の届く範囲にしてほしい。
2. 不明
3. キャンセル支援の充実、あるいは実演家が休業しても生きていけるような支援策がほしいです。また、感染症への危機意識が低いお客様も増えてきている体感があり、屋内でのマスク着用や至近距離での会話抑制など、少し前までは珍しくなかった基本的な対策は今も変わらず必要であることを、改めてお客様に周知が必要だと思います。関係者内でも危機意識や感染症知識の差がかなり大きく、これを底上げするような策を常に考え続けています。
4. 文化芸術に対する理解と劇場を安全ですという周知。
5. 舞台公演に対する様々なバックアップと適切な補償を！！
6. 実演家への、申請の簡単な経済支援。国のしっかりしたコロナ対策。医療体制。コロナ感染の際の飲み薬等が流通することは必須。
7. 劇場に来た時のリスク調査を適切な期間にて行って頂き、世間への理解を深めたいです。
8. 国のコロナ対策が、何とも後手後手で情けない。お金を配るのも重要だが、もっと計画的に対応を考えて欲しい。このままでは、コロナ以外の病気で亡くなる人が増えるばかり。経済が良くなるわけではないと思う。
9. 芸術活動が国の文化発展や人の生活に必要なものだとして広く伝わるとうい
10. 国からのキャンセルに対する補償金制度の確立
11. 見たこともない人が演劇を見に行くような、映画のような存在にする為の施策
12. 幼い頃から演劇に触れる機会が増えれば、演劇の価値や認知度は高まっていくのではと思います。
13. ①文化庁は演劇にどのような理解があるのか、偏りが無いのか明確にする。②専門家といわれる方々はどのようにして選ばれているのか。劇場ひとつにしても、大劇場と小劇場ならそこで活動している者達の意見は違うはずなので、幅広い意見を参考にしてほしい。③コロナの影響により変わらなければいけない演劇人達に対し、様々な活動に挑戦出来るよう個人を補償する。
14. 戦時中と同じように、上からきた指示を、何も考えずに盲目的に従わない。
15. 判例に囚われず、時代と状況にあった対応をしっかりと行うことだと思います。
16. 中止公演に対しての補償増(条件をあれこれつけない)
17. 休業補償と中止補償を拡充する
18. 大手がハッキリと指針を示さないと、小劇場レベルだと正しい判断でも非難される。
19. AFF2と同じスケジューリングでAFF3が実施されるなら、事務局はそのまま審査体制や制度も据え置きでそこに改善点だけを加えるというのが現実的な改善策。大手が行えるなら、今から来年の補助金の為の聞き取りと制度設計を行い、11月アタマには募集開始して1月～12月を対象期間とするか、2月～3月から募集して4月～3月までを対象期間とする補助金を設立する。
20. これからは他人を助けることを、みんなで考え話し合う。コロナ前に計画していたことや活動はコロナ禍で全うすることができなくなった現実を受け止め、新しくできる範囲での活動へ切り替える
21. 演劇の教育への進出。芸術全体をどう教育に取り込むか。それを指導する先生を育てる。
22. 困ってる人に手を差し伸べるべき。

Q10-2. 状況をよくするためにどうしたら良いと思いますか？ (8/17)539件の回答

1. 政府や自治体には、演劇業界に限らず、経済状況を改善させるための公共投資をもっと大胆に行って欲しい。そして実体経済が改善するまでの期間に関しては、経済的なことだけではなく精神的な苦痛をどのように緩和できるかということについて、長期的な視点で考えてもらいたい。
2. 助成の継続、特にコロナにより中止となってしまった場合の最低限の補償を考えて欲しい。
3. 文化芸術の必要性を本当に理解認識している政府！
4. コロナに対する社会的な認識。コロナで中止にせざるを得ないのはとても厳しい。
5. 生の演劇の大切さ、大劇場だけでなく、様々な演劇があることを一般に知らせる手立てを展開する。各学校で毎年演劇を見せること。授業で演劇を学ぶこと。
6. 分かりませんが、お金をばら撒くような支援はもう難しい気がしています。かといって、知識や実績のあるところだけに集中するのも問題ありますし、具体的な考えは浮かびません。
7. このような実態調査と、政治家へのアプローチとともに、芸術団体の意識改革、同じ条件で苦しむ他業種との協働
8. 日本は文化予算が低すぎる。軍事費より文化予算を増やしてほしい。
9. 中止基準の緩和
10. 最低限のガイドラインの徹底と、公演中止の補助。
11. 的確な規制緩和
12. コロナを2類から5類にする。
13. 予算が足りないと外注できない事が多くなり、そうなる事でプラスαのことに手をつけられなくなるので、演劇業界ももっとスポンサーや助成金を活用しやすい流れを作るべきだと感じます。
14. コロナの指定感染症レベルを下げる必要があると思う。
15. 給付金支援金の一律給付。適切かつ具体的なガイドライン。
16. 継続支援金の第二弾をなるべく簡素な手続きで実施し、個人にお金を配る。劇場施設に補助金を交付するなど手厚く支援をし、若いアーティストが劇場費の負担をしなくても演劇の創作をできる機会を提供する。その上でキャンセル料支援も手厚くし、上演中止になってもたとえばその作品のアーカイブ映像などに補助金を交付するなどして、とにかく若手のアーティストたちが劇場に集まってコロナ禍を過ごす時間を増やす。個人を支援し、また劇場がきちんと演劇関係者の創作拠点としてその役割を果たせるような施策を実施することが、劇場文化の火を灯すために必要だと思う。
17. 中止時の補償を事前に決める。
18. 専門機関を設ける。
19. やはり、検査の徹底だと思う。演劇人は公演の度に何度も検査しますが、一般の人も遠出をするとき、お年寄りと会うときなど、誤りが無いとは言えませんが、事前の検査を徹底させるべきだと思います。
20. 稽古場の空間、環境が感染対策をするにしても徹底しがたい。公共ホールなどを広く開放して、自治体と連携して文化芸術を推進していく体制を作り上げていくことが本当に必要だと思う。特に大阪ではそうした施設がそもそも少ないので、それを充実、拡大させる取り組みが必要だと思う。
21. 個人への支援と団体への支援の継続をお願いします。
22. まず、死と滅びを覚悟してすべてをあらためる
23. 本当に意味があるのかわからないようなガイドラインをいったん無くして、ウイルスと共存する道を模索して欲しい 401

Q10-2. 状況をよくするためにどうしたら良いと思いますか？ (9/17) 539 件の回答

1. 元々活動費もない生活費にも事欠くフリーランスの人たちに、国からの援助が必要。
2. 経済的保証、ただこのひとことです。
3. AFF3が行われること、また、法人届出設立書のない団体でも申請ができる助成金があること、初めての企画団体でも、今まで実績のある個人が主宰であればその団体も助成金の対象になれる
4. コロナが収まらない限り状況が良くなるとは思えない。マスク着用や手洗い等々注意深く行動していても、そうでない人々がいる限り、感染は免れないと思う。無理だとは思いますが、すべての国民が当たり前の努力をすれば、いずれは状況は良くなると思う。
5. 正しい知識を身に付けて、感染予防と仕事や娯楽(私だったら演劇)のバランスをとっていく。
6. 興業の企画時に保険の様な補償を受けられるシステムがあると少し気が楽になると思う。この度のAFF2などの助成金制度が今後もあると嬉しい。演劇等の芸術活動はお金ですべてが解決できるものではないが、一つでもこういった制度があると頼もしい。
7. 検査、製作費などに補助金があれば、気を付けながら芝居作りが進める
8. 実は悪くはなっていない、本質は変わっていない と感じている。
9. コロナに過敏にならないように社会が変わっていくこと。
10. これからも続きそうなのでウィズコロナで生活できる様な政策を。公演しても責められない風潮にしてほしい
11. 個人個人の体調管理、危機管理、日々の生活の見直しだと思います。それを地道に続けるしか無いのかな…と。
12. 現場の生の声がどうか公的機関に理解されますように。
13. コロナをインフルエンザのように5類にするしかない
14. 公演開催に対する支援ばかりでなく、団体継続のための維持経費に対する支援が必要
15. 中止やお客様の減少による経済的なリスクを減らさないと続けられない。
16. コロナで上演できなかった際の金銭的負担の軽減。
17. 多少の席を空けても成立するようにする支援。継続することが大事
18. コロナが早く解明されて未知の病気から既知の病気になっていくこと。まだ時間はかかるでしょうが。
19. AFF助成の要件ハードルを下げる。
20. 大きい所だけを救うのではなく、個人事業主やフリーランスを助けてほしい。AAFは、大きい所を助ける事で下請けも救う事ができるとありますがそんな曖昧な手助けではなく、直接手助けしてほしいです。
21. 公演の可否判断基準の明確化、メディアへの働きかけ、インボイス中止
22. 陽性者数の把握に関しては完全に破綻してると思います。完全に無くすことはほぼ不可能な以上、With コロナを進めるしかないと思っています。
23. 上演した作品の補助金ではなく、生存するための支援をお願いしたい。
24. 中止公演をあとから申請しても補助できる助成金があればいい。
25. 過剰に臆病になった国民は、どんな政策にも納得しないだろう。マスコミも納得させないような報道をしている。となれば批判覚悟でコロナ対応を緩めるべき。
26. 公演数の上限を欧米の様に週8公演以内に定めて欲しいです。キャスト・スタッフの労働状況にゆとりがないと健康も害しやすと思います。また、キャストにアンダーがいる様に、スタッフも余裕を持った配置をして欲しいです。

Q10-2. 状況をよくするためにどうしたら良いと思いますか？ (10/17) 539件の回答

1. 最低限のキャンセル保証が必要だと感じます。また主催団体が継続して創作活動を行うための保証も合わせて必要だと感じます。また飛行機代やホテル代等、コロナが原因でのキャンセルに対する保証も必要だと感じます。
2. 配信舞台への支援や促進、舞台開催の際の保証や支援、劇場へのキャンセルや中止の際の救済措置
3. 広告費や、劇場費を負担してもらえる企画を国や自治体から提案していただきたい。国の支援で電通使ってもっと幅広い層への訴えかけは出来ないのだろうか？
4. これまでの赤字前助成金制度の見直し。改善。
5. 芸術、文化に関する学校教育の促進
6. 現場の感覚・状況と政策立案の橋渡しとなる意見交換の場と、気軽に議論できるオープンな機会があればと思う
7. 国が、興行者や実演家がコロナ対策にどれほど労力とコストをかけているのかを視察して把握する。「中止になっても国が守る」というスタンスで、主に資金面で、安心して文化芸術活動を続けられる環境を整える。
8. 公平で適切な支援
9. 分かりやすく、申し込みしやすい給付金。
10. それがわからないから困っている。
11. 日本が完全に潰れるか、政治家の入れ替え。先を見越して、日本をどういう国にするかをもっと考えないと。このままでは沈没する。
12. 個人への助成金をお願いします。
13. まずは演劇界のこの状況や悩みを社会に共有すること
14. コロナ利権を無くす。
15. 陽性者が出た場合のキャンセル料の補助金も設定していただきたいです。それから、「劇場で感染する」という初期のマイナスイメージを払拭し観劇を促進するような、GOTOトラベルのような芸術鑑賞支援金が設定されるとありがたいです。
16. きちんと約束 契約を交わすシステムを作って 互いにリスクも納得した上で仕事に取り掛かるようになってほしいと思います。
17. 以前のように文化芸術の継続支援金があると助かります。
18. 金銭的に業界を支えないと舞台は死んでしまいます。すでに解散を決めたカンパニー、廃業した者多数。
19. もっと演劇界に支援金をお願いしたい。それでなくてもコロナ前より集客出来ないのに中止や延期で収入ガタ落ちです。
20. AFF申請の基準をAFF1のレベルに戻して欲しい
21. ヨーロッパのように、自己責任としての無料検査の活用(自宅に検査キットを無料配布)
22. わからない
23. 陽性者が出ての中止を補償して欲しい。誰のせいでもなく、状況のせい。しかも、『有観客、積極的な公演』をあおっているのは国なんですよ？それなのに、陽性者出て中止すれば、ハシゴをすべて外されるとか、ギャンブルでしかないし、陽性者出て私の場合、隠して公演はとにかくやってしまうと思います、それしか補助金をもらえる手立てがないので仕方がないです。公演は年内までにとということで、冬の1番感染が厳しいじきですが。この状況で感染者ださないとか、無理なのになぜそれがわからないのかな。
24. サポートが必要

Q10-2. 状況をよくするためにどうしたら良いと思いますか？ (11/17) 539件の回答

1. 公演を支援するだけでは、個人の貧困に間に合わない状況にあると思います。事業単位ではなく、継続支援金のような個人への給付をしてほしいです。
2. 短期的にではなく長期的に支援してもらいたいです。日本人だからできる芸術があると思ってます。アニメや漫画に優秀なクリエイターは取られているのが現状です。ですが、演劇はあるべき芸術です。歌舞伎役者が無形文化財になるのは、私は歴史が長いだけで腹立たしいと思ってます。ただ、昔のモノを守る事ではなくて、演劇を守る活動を、支援してもらいたいです。
3. ある程度立場と権力を持つ法人格、事業者を通さないと受けられない補償ではなく個人単位への補償と支援。そのための支援・相談機関を作るなど。
4. 国が映画、演劇文化に補助金を出す。
5. 国や自治体が現状でのコロナ対策の抜本的な見直し
6. 国が、感染による中止・延期の費用を補填することが一番だと思います。リスクを考えると活動をやめてしまう団体が多くある。
7. 業界団体なり、文化庁なりがきちんと音頭を取って、中止のフローや形式を整えるよう促すべき
8. 芸術文化協議会を各都道府県に設置しそこで審査できる体制にする
9. 国が文化芸術に関してもっと支援するべき。国葬なんてやってる場合ではない。
10. 個々人の感染防止努力と並行して、医療崩壊しないよう医療体制と検査を拡充をさせること。新たな事業への助成でなく、コロナによる損失はきちんと税金で補償すること。
11. 引き続き補助金などの支援策を必要とする
12. お金を持っている人が文化芸術にもっと寄付する。
13. まずは低予算で使用できる稽古場や会場（小劇場・ブラックボックス）が必要
14. キャンセル料の補償の有無を事前に知らされるべき。契約書を交わす。
15. 税金をもっと芸術家に使ってほしい
16. 政治に対して表現者たちが声を上げにくいという今の日本の窮屈さを解消してゆくことが急務じゃないでしょうか。スポンサーがついていようが、政治に対して思ったことを表現できれば、日本の場合は特に、国民は表現者たちに背中を押されて行動に移す、という事がもっと生じると思います。結果、感染対策や文化激術に対する行政の熱や精度が向上してゆくのではないのでしょうか。
17. 演劇界、文化界だけでなく、幅広く演劇界の危機を知ってもらうために国や文化庁だけでなく、各自治体からの支援も強固していただきたいです。
18. 「関係者の事業継続支援」「キャンセル補償」「延期サポート」などがあれば、救われる救われる人がたくさんいると思います。よろしく願いいたします。
19. 芸術家支援金の増強
20. 個人、新人、復帰者でも使用しやすい支援策に。前払い支援、申請が簡易なもの。公演実施が目的でない、研究稽古や知識をつけるための講習にも利用可能な支援。
21. 徹底した検査 隔離で対応できないものか？ 中止は避けつつ 配信などでフォローできないものか？
22. 報道の仕方と国民の理解

Q10-2. 状況をよくするためにどうしたら良いと思いますか？ (12/17) 539件の回答

1. コロナの基準を変えて、感染の有無に関係なく仕事ができる様にするべき。
2. 難しいとは思いますが中止の基準がなんらかで定まっていれば
3. 文化に対する積極財政支援
4. 文化庁の継続支援(2020)、AFF1(2021)があったおかげで主催公演が実施できたことは間違いない。金銭的な支援がある状況は、不安に立ち向かいながらも公演準備を進める活力に成り得る。第7波での相次ぐ公演中止の現状を鑑みても、引き続きAFFに準じた助成金の仕組み(法人格を有しない任意団体も対象とした)を継続してほしい。
5. 政府の支援です。そのための意見発表の場を作り続けることと、ロビー活動だと思います。願ってもこの3年間、何も改善しなかった。トンチンカンな助成金はどこかで中抜きか、関係者に流れてのではないかとさえ思う。実際に名前も聞いたことない団体が獲得し、実績のある団体が落とされるのを何度も見て来た。もはや絶望しかないので思いつかない。
6. 芸術団体やフリーランスを支援する仕組みを作りたい。
7. 政治に文化を
8. 難しいとは思いますが日本人一人一人がコロナを怖がり過ぎず心穏やかに過ごすこと。ギスギスしていると免疫力も落ち悪循環に陥ると思っています
9. 公共施設のガイドラインの意味ない厳しさを改善してほしい。
10. どんな環境下でもストレスを少なくする方法があれば…
11. 劇場へ行くことに対する偏見がまだまだ根付いているので「劇場で座って観ているだけならば感染はしない」と周知したい
12. 新しい活動の場を探す、作る、啓蒙、皆で考え行動する。
13. キャンセル料は必要、という概念をお互いにもつこと。
14. 団体としては、コロナの影響を受け、舞台芸術関連事業から8割がた撤退をしました。経営リスクがあるからです。劇場などのアセットを持っている事業者はいたしかたない部分はありますが、そうではない事業者が、なぜ経営リスクがあるにも関わらず舞台事業を続け、いざ公演中止になった場合に「文化芸術業界特有の」支援を求めるのかとても不思議です。業界団体として声を上げることは必要とは思っているものの、その求める手段として業界向け支援を本アンケートの選択肢に挙げることで、違和感を感じます。それは今まで舞台芸術業界に多いリベラルな人たちがさんざん批判してきた組織のしがらみによる政治なのではないでしょうか。
15. まっとうな補償。PCR検査の日常化や、緊急事態宣言の発出を含む、まっとうな感染症対策。
16. 感染者数に対して重症化の人数は圧倒的に少なくなっているため、感染者数ばかり報道するあり方を改善してほしい。コロナ死者数を特別扱いしない社会全体の雰囲気改善。
17. 過剰なコロナ対策や検査のしすぎを止める。業界全体での互助会的な保険制度を作る。
18. AFF、J-LODlive、鑑賞・体験創出(再興)事業など、出た当初はよかったが、今は救うべき相手に届いていないと感じる。状況が改善されないのに制度が噛み合わず、今年は赤字になりそう。抜本的に見直して欲しい。去年よりも今年、そして来年の方が危機的状況。
19. 情勢が良くなるまで、作り手側のモチベーションを落とさないための施策や、世間一般への演劇へ向けられる目をどうにか変えられないだろうか
20. 感染防止グッズの無料配布
21. 再演の機会を支援込みで作って欲しい。

Q10-2. 状況をよくするためにどうしたら良いと思いますか？ (13/17) 539件の回答

1. 下請けの機関はプロとして契約している筈なので、省庁は精査した上で適当かどうかの判断をして委託先を決めたい。不正防止策と迅速な支援が並行して出来ない事は無いので、ただただ正しくあれば良い。
2. 正直それを考える元気が出ない。
3. 公演中止になった場合、なんらかのかたちでの支援金があると公演を計画しやすくなると思います。
4. 単純なエンタメやアート以外に、社会奉仕を目的とした形での公演やイベントを実施することで、収入が得られるような仕組みが必要。
5. アーティストへ直接の支援
6. 国や自治体が国民に経済的にも医療的にも徹底的なサポートする対応、消費税などの減税、給付金など、国民が安心して暮らせる環境を構築して欲しい。芸術に触れる余裕すらなくなってしまう棄民政策をやめて欲しい。
7. とにかく陽性＝中止という判断が早くとめられるとよい。医薬品の対応を急いでほしい
8. コロナ禍での自分の生活を安定させるために何が必要なのかを今一度考えてみる必要があるかなと感じました。
9. 症状がないなら検査しなくても良くして欲しい。また、振替ができるようなシステム作りや、助成金などの申請をもっとシンプルにして欲しい。
10. 徹底した検疫、全国民定期PCR、病院関係者を休ませられる期間を与えて報酬を増やす。全国民にもコロナ収束まで定期的に給付金を出し続ける。消費税を廃止して経済を上向かせる。このまま何もしない、無駄なことばかりを続けるの続けたら、本当に日本の文化は衰退する。
11. 文化、芸術業界はテレワークで出来ないことがたくさんあります。感染を予防したり、感染者が出た場合でも最小のリスクで中止を回避できる準備をしたいと思うことがたくさんあります。ですが、それには費用が当然掛かります。コロナ対策に活用できる人件費や需用費など、国からの支援がでるとギリギリの体制から少しでも感染対策や中止にさせない対策ができると思います。
12. 俳優業は今現在もプロとして活動している場合は経験年数での補償を出してもらおう。
13. キャンセルになった際の負担を恐れることなく事業が計画できる環境(キャンセル補償)が確約されれば、少なくとも事業計画は立てることができる。また、コロナ関連にかかわらず芸術活動に対する助成をもっと広く充実させることで、創作環境にゆとりが生まれれば、もっと有効な感染対策や代役を用意しておくなどのキャンセル対策ができるようになるとおもう。
14. GotoEat、Travellのようなものが適用されると嬉しい。日本のエンタテインメント文化をより発展させてゆく努力が必要だと思う。
15. キャンセル料支援の実施
16. 客席での感染事例のエビデンスを出してほしい。満員電車とコンサートホールで違いはあるのか？文化発信をするフリーランスを支えてほしい。
17. 補助金申請の緩和、簡略化。大きな金額でなくとも、やり方次第では作品作りは出来ます。その手助けをして欲しい。
18. 地道にやっていくしかないと思うが、地域限定のチケットの県民割などの仕組みがあればいいと思う。
19. 舞台芸術を鑑賞する費用が映画くらいになっても運営していけるだけの仕組み、枠組みが必要と思っています。
20. ライブ配信等にかかる著作権の煩わしさを簡潔化してほしい
21. 若手が苦しんでいる状況を可視化するため、公的調査をしてほしい。

Q10-2. 状況をよくするためにどうしたら良いと思いますか？ (14/17) 539件の回答

1. 舞台を継続するためにコロナ陽性者を減らすためには、まず何をしたらいいのか、もっと掘り下げて対策と補助を考えてほしい。劇場の舞台上での換気も含め、これから劇場を作る時には ドームなどのような、天井ごと開閉することが出来たり、外気をしっかり取り入れることのできる大量の換気システムを舞台近くにも設置するとか、そういったこれからのことも考えてほしい。30年近く舞台のオケピで演奏仕事をしていたが、頭上からの唾液の飛沫、演者の汗が降り注ぐなどは日常茶飯事であり、大量の埃も含め 劣悪な環境なので、もう少しオケピの広さを取るとかそこで演奏する人数を減らす、飛沫が飛び散る場所にはなるべく座る人がいないようにするなど工夫を重ね、日程もキチキチでなく、人間的に免疫力が低下するほどの強行日程を組まないようにするのも手かなとも思う。 個人への給付金があれば、自己研鑽にあてられるので、少し安心する。
2. 経営側である公演団体のリスクだけ下げる『チケットバック制』などの排除。そのために演劇界への補助や貸付の充実が必要ではないかと思う。
3. 関係者へのしっかりとしたヒアリングと育成のための枠組み。
4. 国を挙げての支援。海外研修も含めた実力の底上げ
5. 今からでも芸事はフリーランスであり、フリーランスとは何かを知るような教育をした方がいい
6. 地域だけでなく、業種等による不公平感をなくすことが大前提
7. コロナによって見えてきたものはたくさんたくさんあると思います。ハラスメントの問題や業界の人間の過重労働や頼りどころのなさ、助成形式の良し悪しなど、それまで見過ごされてきた弱い点がこの機に浮き彫りになったのであれば、「回復してよかったね」と前の状況に戻るのではなく、各自が携わっている立場から発覚した点について対処していくことは今後にとって良いように思います。
8. 学校現場については、社会の状況に合わせて、不要な規制(観客数など)は撤廃する。自治体からの補助金などにより、キャンセルの際も上演料を保障する。
9. 生活保障 助成金申請に対する再考
10. 治療薬の促進、コロナに対する世論の状況
11. 検査をやめる。5類以下にするように訴える。
12. 劇場側に補助金が適用できるような仕組みを作ること。
13. 政府とマスコミはコロナに対して正しい情報を出してほしい
14. コロナに対する国の対策をどうにかしてほしい。現在のままだと観客も足を運びにくい状態で減るばかり。
15. 無料で見られる演劇祭のようなものの企画。
16. コロナの位置付けの緩和
17. ひたすら前向きに!!
18. 第二類から 第五類への移行。
19. アンダー、スウィングを作品ごとに設け、いざ罹患した役者が居たとしても公演を継続できる環境を整える。その報酬、また、罹患した役者への補償を支援する仕組みを整備する。
20. 公演中止になった場合の補助がほしい
21. 言ってもしょうがないことだが本当に早くコロナ禍が終わることを願っている

Q10-2. 状況をよくするためにどうしたら良いと思いますか？ (15/17) 539件の回答

1. 政治や社会へ一人一人が関心を持つ。主体性を持つ。他者への想像力を持つ。「演劇が悪者にされている」という意味不明な被害者意識をなくす。悪者かどうかではなくどうしたら感染症の拡大を防げるのかどうか、という議論のテーブルにまだ我々は一度もつけていないから。
2. 舞台関係の公的雇用を増やす。
3. 失われた信頼はもう戻らない
4. 観客が観に来るハードル(料金など)を下げる
5. 受け入れて生活を戻す。そこに至れない方々に特別な生活枠を用意するべく考えたらいい。
6. 政治のリーダーシップを持った決断
7. コロナ経口の特効薬開発、団体個人への補助金、演劇の授業、観劇など小さい頃から体験する
8. 文化芸術に対する継続的な支援策。
9. 上にも書きましたが、民間中小文化芸術施設への事業規模に合わせた公金を注入し、経済的負担を軽減して上演を促すこと。そして書類申請に助成ではなく、文化芸術に従事している証明ができる事業者団体、法人等に属する従事者には公的給付金を交付してほしい。フリーランスや個人で公演等を中止した団体等にもキャンセル料等助成をすべきだと思います。
10. キャンセル料、動員不足の支援金を考え欲しい。
11. 国や行政が文化活動のことをもっと理解してほしい。
12. コロナを治めるための政策を。
13. 公演費用等の補償。フリーランス事業者への援助。困っている弱者事業者を更に圧迫するインボイスの即時撤廃！
14. 前回の半分でも、1/3でも良いので、「事業継続給付金」をもう一度行ってほしい。
15. ヨーロッパ並みの芸術家支援
16. 迅速なキャンセル支援の確立と拡充。観客への観劇習慣の促進。
17. 自衛するにも限界はあるので、結局は自然と収束するのを待つか、有効な薬が認可されるのを待つしかないのかなと感じています。
18. ただ希望を捨てずに明日を見て行く事だと思います。
19. とにかく経済を回す
20. ネットでの宣伝に力を入れるなど、今の状況でできることをやっていくだけです。
21. 新しいガイドラインをどんどん更新してゆくゆくはなくしてほしい
22. コロナへの特別視をインフルエンザ同等程度まで和らげて欲しい。
23. 雰囲気や情でなく、科学的な根拠に基づいた対策が適切になされること。芸術文化分野だけでなく社会生活を送る人みんなの疲弊が減るようにしてほしい。
24. コロナ禍を早く収束させられればと思いますが、この状況が長引くなら、個々の努力だけでは厳しいと思わざるを得ません。行政の保護が必要と考えます。
25. コロナに対する予防策が、世間的に、インフルエンザ並みの扱いでよいとなる日を待っています。
26. とにかく、活動が持続できる施策を！
27. 来年以降もしばらくaffはあり続けるべきだと思う。日本の芸術を守り発展させるために！
28. 国が支援するしかないのでは？

Q10-2. 状況をよくするためにどうしたら良いと思いますか？ (16/17) 539件の回答

1. 劇団、俳優、スタッフへの精神的・経済的負荷が多く、辞める人も沢山出ている。団体ではなく個人へのケアや補償制度を充実させてほしい。
2. コロナ禍において、劇団は文化庁事業にかなり助けられました。プロジェクトの皆さまの働きかけもあってのことだと思えます。感謝しています。国や行政に演劇教育や芸術鑑賞をしっかりと予算化していってもらえるよう、引き続き訴えかけていっていただきたいと思えます。未来を創るのは子どもたち、子どもたちに税金を使う国を目指してほしいと願うばかりです。
3. 助成金申請手続きの簡易化。インボイス制度の中止。国の文化費増額。文化芸術関係者へ継続的な支援金給付。
4. 個人実演家への支援をお願いしたいです。続けられる才能のある実演家が辞めざるを得ない状況になっています。
5. 劇団員を増やし、公演回数を増やし、観客を増やす増やし経済的な部分だけでもなんとかしたい。
6. 新たな支援金。事業復活支援金などを継続して出してほしい。
7. 文化・芸術に携わる人たちが声をあげなければ。
8. 国の予算の使い方をもっと改善して、医療や福祉、人々の暮らしを守ることに使ってほしい。
9. フリーランスへの持続化給付金をまたやってほしい
10. 補助・支援を持続してほしい。
11. コロナという感染症対処の根本的な見直しが必要だと思います。
12. 特に小学校鑑賞行事実施への支援策が必要。公的助成があれば公演回数を増やすなどして、多人数の学校での公演が可能になる。
13. 学校などに複数公演を込めるように支援してほしい。
14. 人数の多い小学校での公演が難しくなっている。これまでなら2ステージか1ステージで実施できていた学校が、大人数集まることを避けるために2、3ステージを希望しているが、どこも複数ステージをする予算がない。劇団側が、格安で引き受けることで成り立っている状況。しかし劇団は公演自体が激減しているので、このような対応は長く続けられない。国から複数公演に対する補助金を出してほしい。また、公立の幼稚園保育園はコロナによる公演の延期日が予算の関係で年度をまたぐことができない。年度内で延期できればよいが、そうできないときもある。そうするとキャンセルせざるを得なくなりキャンセル料が発生するが多くの公立園はキャンセル料を払える余裕がない。なので観たいけれどお願いできないという園がいくつもある。コロナの状況を鑑みた鑑賞行事予算の対応を行政側からしてほしい。
15. まだ、補助金を必要とするので、補助金の簡略化と継続を希望。
16. 国会議員や省庁の方々と、私共現場の人間との意見交換会を定期的に開催して頂きたい。
17. 自粛に伴う職業差別のない補償。
18. 劇場の利用料金を下げる措置が必要かと思えます。海外のように、文化にお金が使えらるならば、劇場やライブハウスなどのハコに支援をしてほしい。
19. どちらの感覚も理解出来るため、対策が思いつかない。
20. 良質な演劇製作者、教育者の育成
21. 国が支援をするべき
22. 今までと同じことをしていてもダメだとは思いますが、次の手をどうするか、悩んでいるところです。
23. ライブハウス、ホール、劇場などの楽屋、控え室の空調管理の徹底。
24. 補助金やサポート体制を一度だけでなく継続的にして欲しい
25. 国からの支援金。給付金。

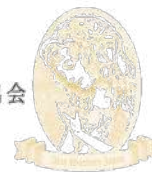
Q10-2. 状況をよくするためにどうしたら良いと思いますか？ (17/17) 539件の回答

1. 中止にした理由や努力している証拠が必要だとおもう。
2. 基準をはっきりしてほしい
3. 適切なガイドラインを都度更新。囚われすぎも曖昧すぎるのも、不安の要因だと思います。
4. 公演できる場を広げたい。皆さんに見てほしい。そして、芸術は無駄なものではないと知ってほしい。今の世には娯楽が必要だと思う。
5. 企画者や劇場を支援して、そこからスタッフや俳優に還元される仕組みがほしいです。今のままだと、演劇界はかなり厳しいです。

演劇は生きる力です #演劇緊急支援

<https://www.engekikinkyushien.info/>

Arts Workers Japan
日本芸能従事者協会



参加団体

ARCT
(公財) 現代人形劇センター
小劇場エイド基金
全国児童・青少年演劇協議会(全児演)
日本演劇学会
(一社) 日本演出者協会
(一社) 日本劇作家協会
日本児童・青少年演劇劇団協同組合(児演協)
日本新劇製作者協会
(協組) 日本俳優連合
(一社) 日本舞台美術家協会

演劇支援プロジェクト SAVE THE THEATRE
(公社) 国際演劇協会日本センター
全国小劇場ネットワーク
(一社) 全国専門人形劇団協議会(全人協)
(一社) 日本演劇教育連盟
(一社) 日本エンターテイメント連盟
(一社) 日本劇場技術者連盟
(公社) 日本児童青少年演劇協会
日本新劇俳優協会
(公社) 日本舞台音響家協会
(特非) 舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM)

(公社) 教育演劇研究協会
(特非) シアター・アクセシビリティ・ネットワーク
全国演劇鑑賞団体連絡会議
全国舞台テレビ照明事業協同組合(全照協)
(公社) 日本演劇協会
(一社) 日本芸能マネージメント事業者協会(マネ協)
(公社) 日本劇団協議会
(公社) 日本照明家協会
(特非) 日本青少年音楽芸能協会(青音協)
(一社) 日本舞台監督協会